0044016000

0044016-000

a３７２－６９

新しい学習指導の計画

栃木師範男子附属小中学校教育研究会・編

技報堂

中学　１・２・３年用

１９４８

AHF

新しい学習指導の計画

納本

中学1,2,3年用

栃木師範男子附属小・中學校
教育研究會編

株式會社 技報堂刊

栃木師範男子附屬小・中學校
教育研究會編

新しい學習指導の計畫

（中學一二三年用）

SCAN

株式會社 技報堂刊

372
69
a

131162

まえがき

新しいほんとうの教育は，人間の眞實な良心の恢復にその出發點をもとめなければならない。だから眞に人間性の生長と發展とを念願とする新教育は，まず私たちに自主性の確立を條件として要求している。

もともと人間は，自然的な，そして歷史的な，さらに現實の社會的な環境の中でそだてられるのであるが，しかもみずから心身の統一體として意識し，自分で考えてはその目的をたてて逆にこの環境にはたらきかける。

すなわち，環境に順應することによつてつくられながら，なお環境そのものを創造していくものと考えられる。

かくて教育の眼は，環境としての社會構造にむけられ，そのひとりびとりをして，より眞實で，より美しい社會の構成員にまでしあげる使命をもつとともに，さらに協働による鄕土文化の育成を起點として，新世界文化への公路をひらくこととともなるのである。

だから教育は，それ自身が民主的な社會構造のうちに，正しく位置づけられ科學的に運營されなければならない。

それから新教育は，兒童中心の教育でもある。そこでは兒童の生活經驗をもととして，いわゆる〝必要と興味〟とが助長され，問題が解決されていく。それは教權にむちうたれてきた封建的な束縛から解放されて，兒童が目的的な存在となり，兒童の活潑な自己表現が中心となつて，革新的な行動的な，創造的な教育となる。そして兒童の生活活動が組織化され，その心身の發達に應じてつくられた教科課程は，さらに具體的に，ここの兒童の實態と，ここの地域の季節や，風俗，習慣など，一切の社會的事情をふくめた環境の實態とに關連をもちながら，學習指導の計畫がたてられ，學習の實際がすすめられるのである。

それは，まさに教育における主客の轉換でなければならない。

かくて新教育ではいろいろと新しい方法がとりあげられていく。しかし新教育の新教育たるゆえんは，それら幾多の新しい方法をして可能ならしめるとこ

ろの根底的な教育精神にあるのであつて，断じ單なる方法て上の革新に終らしめてはならない。子どもたちを友として敬愛するところの民主的な指導者は，まつたく新しい教養と，良心的な自己反省によつて，本質的に人間改造のできた知性ある信仰の人々でなければならないと思う。

かかる意味において私たちはいつも生活の頂點にたつている。それは完成された，固定的なものではなく，たえず動き，つねに生長しつつある〝いま〟のそれである。

私たちはいつも，かく省みてはみずからをふかめ，ともに語つては互に高めあつて行こうとしている。かつて教育生活におけるひとつびとつの足跡を，客觀的にかえりみるために私たちは，いくたびかそのありのままを公開してきた。そのたびごとにいささかでも世に資料を提供し，かつ批判を得て自己の教育的な生長につとめてきたのであるが，いままた，たからぎ研究紀要，第三輯として〝新しい學習指導の計畫〟を刊行した。ここにひろく諸賢の御批判を，せつにお願いしてやまない次第である。

昭和二十二年八月

栃木師範學校男子部附屬教育研究會

目　次

まえがき …… 1
指導計畫立案の方針 …… 5
中學一年
1. 國語科學習指導年次計畫 …… 10
2. 社會科學習指導年次計畫 …… 14
3. 數學科學習指導年次計畫 …… 18
4. 理科學習指導年次計畫 …… 26
5. 音樂科學習指導年次計畫 …… 41
6. 體育科學習指導年次計畫 …… 49
7. 圖畫工作科學習指導年次計畫 …… 55
8. 職業科農業學習指導年次計畫 …… 63
9. 職業科工業學習指導年次計畫 …… 76
10. 職業科家庭學習指導年次計畫 …… 84
中學二年
1. 國語科學習指導年次計畫 …… 91
2. 社會科學習指導年次計畫 …… 95
3. 數學科學習指導年次計畫 …… 98
4. 理科學習指導年次計畫 …… 105
5. 音樂科學習指導年次計畫 …… 114
6. 體育科學習指導年次計畫 …… 122
7. 圖畫工作科學習指導年次計畫 …… 128
8. 職業科農業學習指導年次計畫 …… 136
9. 職業科工業學習指導年次計畫 …… 147
10. 職業科家庭學習指導年次計畫 …… 155
中學三年
1. 國語科學習指導年次計畫 …… 162

2. 社會科學習指導年次計畫…… 167
3. 數學科學習指導年次計畫…… 170
4. 理科學習指導年次計畫…… 175
5. 音樂科學習指導年次計畫…… 195
6. 體育科學習指導年次計畫…… 206
7. 圖畫工作科學習指導年次計畫…… 216
8. 職業科農業學習指導年次計畫…… 223
9. 職業科工業學習指導年次計畫…… 232
10. 職業科家庭學習指導年次計畫…… 240

◇指導計畫立案の方針

(1) この學習指導の計畫は，どのようにして生まれて來たか。

新しい教科課程は，新しい指導要領を盛しるべとして，この新年度に發足した。四月はじめ，新しい教科課程に衣がえした學校が，子供たちをむかえてまずつきあたつたことは，學校に於ける子供たちの一日の時間的なくらし方をどうするか，ということであつたと思う。そこで最初に，どこの學校でも，何時にはじめてどんな工合に振鈴して行くかという　日課時限や，それとからんで，時間割などが問題にされて新教育の一應の枠組が考えられたのである。

ところが，さて，次の問題は，きめられたその枠組で，なにをどんなふうにやつていくか，ということであつた。ここでは教科内容や，それについての學習指導の計畫や，學習指導法のことがらが取上げられたのである。しかしこれは，新しい教科課程運營上の最も大切な問題の一つであつて，一朝一夕にきまることでもないし，又學習指導要領や教科書もまだ揃つていないなどと，これを解決する上にいろいろと困難があつたのである。われわれも，同じ道を行くものとして，同樣にこの困難に出會つて惱んだ。或る教科はたよるべきなにもないままに，いわゆるくふうで學習が行われたり，或る教科では，ようやく手に入つた數少い教科書か，學習指導要領などが利用されたりした。しかし，幸い今は曲りなりにも學習のすすめられる程度にいろいろ揃つて來ていることはうれしいことである。われわれは，上のような困難の時に，ぜひ，なにを，どんなふうにやつていくかの見通しを持ちたいと考え，又一般的に示された學習指導要領を，この鄕土の，この子供たちのものにしたいとの念願から，新しい教科課程にもとづいた，われわれの各科學習指導の計畫を立ててみたのである。まことにこのような惱みの中から生まれたもので，まだまだ不充分な試案であるが，一應この鄕土の實情に卽して，この子供のために，なにを，どんなふうにやつていくか，の要求にこたえようとしたものである。不備の點は實驗の記錄と反省とによつてよりよいものにして行きたいと考えている。

(2) この學習指導の計畫は，どのようにつくられているか。

學習指導計畫の一般的な立て方については，學習指導要領（一般篇）にくわしくのべられているので，ここでは〝新しい學習指導の計畫〟で特に考えられたことを記すことにする。

（イ）配當時間

(A)　小學校の指導計畫の場合

○小學校案の中の，作業單元や題材に對する實施時間は，下の表のように，その教科の特質を考えて，鄉土の季節との關係に於て配當した。これは，季節による寒暖や，日照時間の子供への影響と，季節的・時期的に考慮される教科の要求とによつたものである。

○しかし實際問題として，下の表の示すように，一年の間に何度も教科配當の時間が變わることは，あまりはんさで困るのではないかとの心配も起るのであるが，これは特別教室や專科教諭の時間などを考慮に入れた，週のプログラムの編成活用によつて，むしろなんでもなく解消する問題である。

◇教科時間配當表 (試案)

季節時間（週數）		春季時間（10）	夏期時間（5）	秋季時間（9）	冬期時間（8）	年度末時間（4）	計（36）
始と終		4.12—7.5	7.7—9.20	9.22—11.29	12.1—2.14	2.16—3.17	
授業可能の	月	四 五 六	七 八 九	一〇 一二	一二 一	二 三	
	週	2 4 4	2 3	1 4 4 4	2 2	1 3	(216日) 36

○この36週は，學習指導要領(一般篇)の35週に對するもので，1 週の餘分を見込んでいる。

○4.12—7.5 とは4月12日から7月5日の意味である。

學年	教科	季節時間 春(10) 四	五	六	夏(5)	秋(9)	冬(8)	年度末(4)	合計 本校	合計 文部省
一年	國 (5)	6 3	16 4	16 4	25 5	54 8	40 5	20 5	177	175
	社 (4)	10 5	16 4	16 4	20 4	27 3	40 5	12 3	141	140
	算 (3)	4 2	8 2	12 3	15 3	36 4	24 3	12 3	111	105
	理 (2)	4 2	12 3	12 3	10 2	18 2	8 1	8 2	72	70
	音 (2)	4 2	8 2	8 2	10 2	18 2	16 2	8 2	72	70
	圖工 (3)	4 2	12 3	12 3	15 3	27 3	24 3	16 4	110	105
	體 (3)	4 2	16 4	12 3	15 3	36 4	8 1	16 4	107	105
	總 (22)	36 18	88 22	88 22	110 22	216 24	160 20	92 23	790	770

學年	教科	季節時間 春(10) 四	五	六	夏(5)	秋(9)	冬(8)	年度末(4)	合計 本校	合計 文部省
二年	國 (6)	10 6	20 5	24 6	30 6	54 6	56 7	24 6	218	210
	社 (4)	10 5	20 5	16 4	20 4	27 3	32 4	20 5	145	140
	算 (4)	10 5	20 5	16 4	20 4	45 5	32 4	12 3	155	140
	理 (2)	6 3	12 3	12 3	10 2	18 2	8 1	8 2	74	70
	音 (2)	4 2	8 2	8 2	10 2	18 2	16 2	8 2	72	70
	圖工 (2)	4 2	8 2	12 3	15 3	36 4	16 2	16 4	107	105
	體 (3)	8 4	16 4	12 3	15 3	36 4	16 2	8 2	111	105
	總 (24)	52 26	104 26	100 25	120 24	234 26	176 22	96 24	882	840

學年	教科	季節時間 春(10)	夏(5)	秋(9)	冬(8)	年度末(4)	合計 本校	合計 文部省
三年	國 (6)	50 5	30 6	63 7	48 6	24 6	215	210
	社 (5)	50 5	25 5	36 4	48 6	20 5	179	175
	算 (4)	50 5	15 3	36 4	32 4	16 4	149	140
	理 (2)	30 3	10 2	18 2	8 1	8 2	74	70
	音 (2)	20 2	10 2	18 2	16 2	12 3	76	70
	圖 (3)	20 2	15 3	36 4	24 3	16 4	111	105
	體 (3)	40 4	15 3	36 4	8 1	8 2	107	105
	總 (25)	260 26	120 24	243 27	184 23	104 26	911	875

學年	教科	季節時間 春(10)	夏(5)	秋(9)	冬(8)	年度末(4)	合計 本校	合計 文部省
四年	國 (7)	60 6	30 6	72 8	56 7	28 7	246	245
	社 (5)	50 5	20 4	36 4	48 6	24 6	178	175
	算 (4)	50 5	15 3	36 4	32 4	12 3	145	140
	理 (3)	40 4	15 3	27 3	16 2	12 3	110	105
	音 (2)	20 2	5 1	18 2	24 3	8 2	75	70

年													
	圖工 (2)	20	2	10	2	27	3	8	1	8	2	73	70
	體 (3)	40	4	15	3	36	4	8	1	8	2	112	105
	自研 (2)	20	2	10	2	18	2	16	2	8	2	72	70
	總 (28)	300	30	120	24	270	30	228	26	112	28	1010	980

學年	教科 ＼ 季節 時間	春(10)		夏 (5)		秋 (9)		冬 (8)		年度末 (4)		合計 本校	合計 文部省
五年	國 (6)	50	5	25	5	63	7	56	7	20	5	214	210
	社 (5)	60	6	20	4	36	4	48	6	16	4	180	175
	算 (4)	50	5	15	3	36	4	24	3	16	4	141	140
	理 (3)	40	4	10	2	27	3	16	2	16	4	109	105
	音 (2)	20	2	5	1	18	2	16	2	12	3	71	70
	圖工 (2)	20	2	10	2	27	3	8	1	8	2	73	70
	家 (3)	30	3	10	2	27	3	24	3	16	4	107	105
	體 (3)	40	4	15	3	36	4	8	1	8	2	107	105
	自研 (2)	20	2	10	2	18	2	16	2	8	2	72	70
	總 (30)	330	33	120	24	288	32	216	27	120	30	1074	1050

學年	教科 ＼ 季節 時間	春(10)		夏 (5)		秋 (9)		冬 (8)		年度末 (4)		合計 本校	合計 文部省
六年	國 (6)	60	6	25	5	54	6	56	7	20	5	215	210
	社 (5)	60	6	20	4	45	5	40	5	16	4	181	175
	算 (4)	50	5	15	3	36	4	24	3	16	4	141	140
	理 (3)	30	3	10	2	27	3	24	3	16	4	107	105
	音 (2)	20	2	5	1	18	2	16	2	12	3	71	70
	圖工 (2)	20	2	10	2	27	3	8	1	8	2	73	70
	家 (3)	30	3	10	2	27	3	24	3	16	4	107	105
	體 (3)	40	4	15	3	36	4	8	1	8	2	107	105
	自研 (2)	20	2	10	2	18	2	16	2	8	2	72	70
	總 (30)	330	33	120	24	288	32	216	27	120	30	1074	1050

○教科の右下の(5)(4)などは，文部省配當の週時間の最低を示した。
○3 5などは本校の週配當時間を示した。

○本校の總時間は，文部省のものよりも，何れも多くなつているが，指導計畫の配當時間は，35週として，文部省のものと一致させている。

(B) 中學校の指導計畫の場合

○われわれの中學校は現在手不足のため，教科配當時間の充分な季節的考慮が出來ない實情にあるため，止むを得ず此の度の計畫としては，學習指導要領(一般篇)の最低時數のものを取つて，配當時間の基礎とした。

○なお一年間を通しての週數は，次の表のように考えて立案している。

月	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一	二	三	計
週數	3	4	2	3	0	4	3	4	3	3	4	2	35

(a) 各科の指導計畫の形式

これは形式的に一つに統一することを考えず，各科の特質に應じて立案することとした。なおそれについて，その科で特に必要とする立案の趣旨などつけ加えて記すこととした。

(ハ) 指導計畫一覽表

一年間を通しての學習內容について見通しをつけ，さらに各教科相互の連絡を明かにするために，學年毎に作業單元又は題材と學習要項とを記して指導計畫の一覽表とした。

中學一年

國語科學習指導年次計畫

◆學習活動の要項をどんな考え方によつてあげたか。

○國語を正しくよく話し，かつきくことができるとともに，また正しくよく讀み，綴り，書く能力を持つようになること。

（學習指導要領一般編——教育の一般目標）

○こんごの國語教育は，國語教育の目的において，內容それ自體の受けいれという受身の立場から，自己の思想感情を正しく，力强く，美しく，またおもむき深く表現し，みずからまた理解する機能そのものの養成という生徒みずからが，みずからの道を創造していくということをめがけて。

（つごうにより前期用だけ）

◆どのようにつかつていつたらいいか。

○學習は計畫通りにすすめようと意識的にもつていくと指導者の意識に左右されて，自主性をもつた學習がいとなまれない，これはまことにこのましくないことである。

○生徒の生活より離れてはならない。教育的意圖をもちながらも，生徒の興味と關心をそらすことなく，生徒の發達に應じて，たのしい學習としたい，もちろん學習は生徒の生活であるから。

月	季節と行事	生徒の生活	題目	時	學習要項	備考
4	入學式	中學生となつてほこりのある生活にはいる	中學生になつて	2	○感想文を書く ○自分の境遇と事實に卽した抱負等を述べる	
	さくら					
	花見		第一歩	4	○めいめいで分擔して演出してみる ○みぶりをつけて特に發音發聲に注意する ○反復していることばのいい方等をくふうして强弱あるいは緩急などについてもくふうする ○多人數でする時のくふうをしてみる ○感想文をよびかけの形に書き直してみる	4
	學友會編成	學級役員の問題に關心をもつ				
	苗代					
	かえる					
		級友ともそろそろ顏なじみ	世界をつなぐもの	6	○少年赤十字とはどんな團體か ○どんなことに努力しているのか	2 社會科

		になつてくる			○それはなぜか等について話合う ○團員の主な行事としてどんなことを考えているか		
	身體檢査				○國際親善のための團體にどんなものがあるか調べる，つとめや仕事や規約などについて ○ザメンホフとはどんな人か ○なぜ國際語としてエスペラント語を作ろうと思いたつたのだろう		
		休時間などは小學校の頃の思い出話をしあう生徒の群れがある			○本文を脚色して劇として演出してみるといい ○この文の中で一番心にぴんときたところはどこだろう ○それはなぜか		
	葉ざくら				○ノーベルの人となりについて ○ノーベル賞はなぜつくられたか ○どういう人におくられるのだろう		
					○全體について感想を發表しあう文にする ○傳記についてどういうふうに書けばいいか考える		
	天長節				○尊敬する偉人の傳記を書いてみる		
				雨にもまけず	3	○宮澤賢治についてその作品，風の又三郎，どんぐりと山猫等の作品により話合う ○いくつかをまとめてくぎりをつける ○なぜこのようなことを言つているのか ○賢治の精神にふれていく ○次に自分の感想を記しそれを互に話合う ○この作者の他の詩や物語りを讀む ○自由詩と定型詩のちがいを學ぶ	1 農業
		春もさかりをこしての自然を鑑賞する					
	家庭訪問						
5	たんごのせつく				1	○詩をつくつてみる	
				おはよう	4	○今までに心をうたれたことばを思い出してみる，それはなぜだろう ○生きたことばとはどんなことばかということについて話合う ○學校や家や通學の途中での人のいつたことばをノートしておく ○思考感動と一體となつたことばの味をとらえる ○韻律を生かして讀むにはどうすればいいか ○雨にもまけずとくらべてみる ○詩のうたつている情景を頭に浮べる ○散文にしてさし繪を入れる ○山村暮鳥について話合う	2	
	創立記念日						
	八十八夜						
	つばめ						1
	若葉						
	茶つみ	青葉もきれいに出て家に歸つて茶つみをする生徒もある					
				昆虫記	4	○ファーブルとはどんな人か ○實驗のやり方のこまかい點に氣をつける	2 理科

	春季遠足	教先生を迎える			○いつどこでどんなふうにやつたのかその結果はどうであつたか ○二度目の實驗はどうか等いくつもの實驗はどういう關係があるか	
	父兄會				○母性愛によつて本能と智力とはどんな差があるか ○西洋的な表現方法をつかむ	
	教育實習		私の研究	2	○實驗の記錄をしてみる ○こまかに具體的に書く ○それについて話合う	
	花壇の手入れ	よい季節なので遠足や運動會が催される	潮目	3	○海へ行つたことについていろいろ話合う ○潮目について話合う ○でてくる人物についていろいろ調べてみる ○潮目という現象について説明の文をぬき書きしてみる	2
	小運會					
	體格檢査		日記から	4	○日記の書き方について話合う ○自分の日記を讀んでその内容と本文の内容また表現方法についてどこがどうちがうか ○天體のふしぎさについて研究したことを話合う ○文の中でおじさんと作者の話合いを對話の形の文にしてみる ○國語第三學年上のあさがほの花を讀む ○確かなもの永遠なものということについて話合つてみる ○つづけて日記をつける	2
	麥の中耕					
		若葉の景色青葉の庭	初夏の道	2	○初夏の道を散歩してその間に見たり聞いたりした景物の特徴をとらえてうつしだす ○二點優れた作品を印刷してそれを推敲する	
6	入梅	梅雨になつてじめじめした日がつづく	初夏の奈良	4	○奈良の繪はがきを集めてそれを見ながら話合う ○家の人から聞いたことなども大いに參考になる ○初夏の奈良を作者が歩いた順，場所の景色と井泉水の心持とを考える ○奈良の動植物について本文の中からぬきだして話合う ○井泉水のことについてその作風をしつかりつかみながら文表現を學ぶ ○繪に表現してみる ○自分の旅行日記を紀行文に書く ○井泉水の著書を見る	2
	さみだれ					
	田植え					
	麥刈り					
	魚つり	農家の生徒は特に多忙な家事を手傳う				
	朝顔の手入れ					
	校醫檢診					
	農繁休業		りすを育てる	6	○各自動物を育てた經驗を發表しあうそれを作文する ○りすについて話合う ○文を最後までしつかり讀み通す ○文を讀んでどのへんのところに心をひかれたか	3 理科
	養蠶					
	ほたる	靜かな初夏の氣分にひたる頃となる				
	夜店					

					○科學的な觀察の文としての表現を學ぶ	
7	たなばた		りすを育てる	2	○表現されたおもしろいことばをひろいだしてみる ○動物への深い愛情から生まれた細かい觀察についてぬき書きしてみる ○二葉亭四迷の犬ころなどを讀んで感想文を書く	2 理科
	田の草取り	教生先生を送りそして迎える				
	教育實習		學校のかえり道	2	○事件の時，場所，人物その經過感想を述べる ○發表會を開く	
	お盆		末ひろがり	4	○狂言について話合う ○太郎冠者がどんなことをしているか ○どこがどんなふうにおもしろかつたか ○すじをしつかりたどつてみる ○むずかしいことばを今のことばにあててみる ○敬語をひろいあげてみる ○らんぼうにいつていることばをあげる ○大名のせりふの中に表れた大名の心持のうつりゆきをみる ○この文のかなのつかい方と現代かなづかいとを比較する	4
	水泳	暑さは本格的になつて夜は遲くまで夕涼みするものもある				
	夕涼み					
	夏休み		涼み臺	5	○寺田寅彦について調べる知つている人に聞く ○生き生きとしたいい表わしのしてあるところはどこかそれはなぜだろう ○隨筆について話合う ○科學者らしいものの考え方科學者らしいめんみつな觀察がよく表われたところはどこか ○文中の涼み臺と緑臺について ○作文してみる	2 理科
			ことしの夏休みには	2	○想像，豫想すること期待することを論理的にまとめる ○それについての鑑賞批評をする	

社會科學習指導年次計畫

計畫の特色

(1) 基本的な特質

○中學校の計畫は，小學校の場合とよほど趣きを異とする。先づ生徒は，自然的な季節行事の影響も受けるが，それよりも，時々刻々と生起する社會的な問題などの關心が增大して來る。したがつて，生徒の生きた興味や欲求の中心は，豫測することが非常に困難となる，その上，さうした生徒と教師との話合いが，學習の單元や學習活動が決められて行くとすると，指導計畫は，非常な幅を持つたものでないと，實際に利用されないことになろう。

○なお，第二に考えられることは，中學校社會科の面からであるが，小學校のそれにくらべて學習內容は，相當に，いわゆる知的なすすんだものとなつている。したがつて，あまり細かに斷ち切られて行くことは好ましくないこととなろう。

○そこで指導計畫は，生徒と教材のこのような實狀の上に立つて，當然，大幅の機動性に富んだものが生まれて來ることになる。

(2) この計畫の要項について

(A) 單元の配當は，上のような趣旨から，一應は七學年～九學年の三箇年間にわたることも考えられるが，實際問題として一年間を一期間としてその中に七學年分，八學年分，九學年分というようにしてあてはめることとした。したがつて一年間の中にどの單元が，どこで行われても差支えないわけである。

(B) 表の單元の欄には，學習指導要領の單元名のほかに，參考單元名と豫定時間とをあげた。教材の排列では，主題を學習豫定の順序に從つてあげ，學習活動の例では，豫定された代表的なものを，出來るだけ數少なく記すことにした。備考では關係單元や關係教科と一應考えられる季節的，生活的な單元實施の時期などを參考までにあげてみたが，ここにはなお，將來調査された，學校や家庭，鄉土の學習參考となるような施設や備品圖書などが記入されることがのぞましいと思われる。

(C) 更にこれが試案であるということや，これからの教育のあり方としての立場から，反省欄がもうけられ，たえず案が更新されるようにされてほしいものである。

單元（時間）	教材の排列	學習活動の例	備考
單元一（35） 日本列島はわれわれにどんな生活の舞臺を與えているか	(一) 鄉土の自然環境及び產業の發達狀態 (二) 日本列島の地理的位置と文化の發展 (三) われわれの生活舞臺としての日本列島の地勢環境 (四) 日本の氣候の特色とわれわれの生活との關係 (五) わが國土の開發 (六) 東北日本諸地方の自然環境，資源の產業の特色 (七) 中央日本諸地方の自然環境　資源，產業の特色 (八) 西南日本諸地方の自然環境，資源　產業の特色	(一三) (二三) (三四) (四三) (五三) (六〇) (六) (一九) (二〇) (三二) (四二) (五二) (四八) (六七) (四) (一九) (二九) (四〇) (四八) (五七) (六三) (一) (一四) (二七) (三五) (四四) (五五) (六一)	○連絡 七學年　單元　四，五 八學年　單元　一 國語（別目） 理科（鄉土の氣候） 國史 ○一應考えられる實施の時期 4月頃から5月頃
單元二（25） われわれの家庭生活はどのように營まれているであろうか	(一) 現在の日本の家庭の過去からの發展と他國民から受けた影響 (二) 日本の家庭生活の特色 (三) 社會狀態の變化によつて日本の家庭はどのように變わつて行くか (四) 日本の將來の家庭生活はどのように向上されるだろうか (五) われわれの國民生活の將來と家庭生活	(八) (四) (一) (一) (一〇) (一八) (二九) (五四) (一六) (一五) (二八) (三三) (四七) (五五)	○七學年　單元　六 九學年　單元　三 家庭（男らい家庭生活） 體育 ○1月2月頃になる
單元三（25） 學校は社會生活に對してどんな關係をもつているだろうか	(一) 社會の發展に對する配慮 (二) 學校の組織と機能 (三) 學校生活の改善	(九) (四) (二六) (四二) (一) (一三) (二八) (四六) (二) (一五) (三五) (五七) (四) (二〇) (三九) (五八)	○職工 國語（中學生になつて） 學校自治會 ○6月から7月中旬頃にかけておこなう

○新しい學制はわが國の再建にどんな意味を持つているだろうか	(一) 新學制はなぜ實施されたのだろうか (二) 新學制とはどんなものか (三) 學校生活の改善		
單元四（40） わが國のいなかの生產生活はどのように營まれているであろうか 單元四と五とを一しよにして ○われわれはどのようにして，產業や生活のたてなおしをしたらよいだろうか	(一) 鄉土農村の生活 (二) わが國の農業の特色 (三) わが國の平野の利用と生活 (四) わが國の山地はどのような生活舞臺を與えているか (五) わが國の海岸の人々はどの程度まで海に生活資源を求めているか (六) わが國のいなかの家や村の姿 (七) わが國のいなかの生活の改善 左の場合は下のものをはじめに扱う (一) 戰爭は各種の產業はどんな影響を與えたか (二) 又國民生活にどんな影響を及しているか (三) 賠償地と講和はどうなるか	(二) (六) (一一) (一四) (一五) (一六) (二三) (三三) (三六) (三九) (五〇) (五六) (五九) (六三) (六四) (六七) (七〇) (七四) 七五) (八〇) (八三)	○七學年 單元 一 八學年 單元 一・二 數學（色々な測量） 理科（庭の草木） 體育（住居の衞生） 農業 七學年 ○9, 10 月から 11 月上旬頃おこなう
單元五（30） わが國の都市はどのようにして發達して來たかまた現在の都市生活にはどんな問題があるか	(一) 都市の昔の狀態 (二) どうして近代都市はその姿を變えたか (三) わが國は近代工業の發達に必要な，どんな天然資源を持つているか (四) わが國の近代的商工業地の發達 (五) わが國の都市生活の特色 (六) わが國の都市生活の改善とそれへの協力	(五) (八) (一四) (一六) (二一) (二四) (二九) (三〇) (三三) (三七) (四〇) (四五) (四六) (五〇) (五七) (五九) (六三) (六五) (六九) (七〇) (七四)	○七學年 單元 一 八學年 單元 二・三 理科（私たちの科學一八） 理科（水のはたらき） 工業 體育 ○11 月から 12 月にかけておこなう

— 16 —

單元六（20） われわれは餘暇をうまく利用するにはどうしたらよいだろうか	(一) 餘暇の利用やリクリエーションとはどういうことか (二) リクリエーションの必要なわけ (三) リクリエーションの種類や方法 (四) 自分のリクリエーション (五) リクリエーションの改善 (六) より多くリクリエーションの機會を生み出すくふう (七) 公共機關と團體のリクリエーションに對する責任 (八) リクリエーションの活用についての心がけ	(一) (二) (五) (六) (七) (九) (一二) (二一) (二三) (二六) (二七) (三五) (四二)	○七學年 單元二 體育 音樂 ○2, 3 月におこなう

— 17 —

數學科學習指導年次計畫

立案上の留意點及び使用について

○環境との相關作用によつて個人の生活が發展する，そして教育の營みがその生活の擴充發展に根ざすとすれば私共は生徒の生活の中に時々刻々に進展する教育の生きた體系を見つめつつ最も適切な環境を作り，唯一無二の條件の構成に當らねばならない，この考えに立つて案を作つた。

○「季節と行事」について……子供の生活と相俟つて作業單元の生れてくる根據となるものについて記したが中學校は環境的なものが多く直接關聯が少ない。

○「子供の生活」について……心理的要求と社會的要求の一體的觀點から生活を辿つてみた。

○「作業單元」について……季節と行事，子供の生活の二者を指示される單元（教材指導內容）との相關から必然的に生れるもので，これには國定教科書の子供の生活，素材の取上げ方が重要な參考となり，鄉土色を生かしつつこれに做つた。表現については低（生活題材）中（生活題材文化題材）高（文化題材）の考えに從がつた。

○「時間」について……文部省の指定時數による。

○「學習活動要項」について……飽くまで要項である，然し活動を通して單元の目標が達せられるようできるだけ考えた，實施については除去，補充，變更綜合適切な處理が望ましい。計算練習は表現の都合上まとめたが反復練習するようくふうして使用する學習指導要項と相俟つて教材の全學年系統を明かにしつつ運營することが望ましい。

（教材一覽表を點付する豫定であつたが落した）

○「指導目標及單元との關係」について…　單元の內容を考えて觀念的なものと能力的なものとに便宜分けた。

○「連絡及び備考」について……更にこの上に運營上綜合された學年單元の生れるものもあるであろうことを豫想しつつ。

（8.25 現在資料）

——（今日の　この生徒の　この生活が　最も充實するために）——

月	季節と行事	子供の生活	作業單元	時	學習活動要項	指導の目標及び單元との關係		學習效果の判定法	連絡及び備考
						觀念的	能力的		
4	入學式	新制中學一年生としての希望と誇りを有する	中學一年にになつて	1	○力だめし（小六までの主要計算につき） ○學習の反省と今後の見通しについて話合つてみる	○計算其の他の基礎能力について實態調査をする			
		食糧問題と社會不安に對する關心は非常に大きい	主食の統計	9	○縣を中心として主食作物に關する調査をし，統計にして研究する ○食糧問題から主食作物を中心に話合う ・食糧問題の研究を進めて縣を中心とする調査計畫を立て問題を決定する ・主食作物の作付面積と收穫高 ・人口と主食との需要關係 ・輸入食料について ・食生活の改善について ・耕地の變化及び利用狀況について ・以上を縣町村等について調べ表や圖表に表わし考察する ・統計からの研究について話合つたり研究發表したりする	○社會現象を統計的に考察する態度 ○作付面積の意味	○適切な統計のかき方 ○統計表からの考察能力 ○1ha 當りの收穫高を表わす能力 ○キログラム單位 ○指數計算	○統計作製の技能はどうか ○統計から社會事象を判斷する能力はどうか	○農（十一月） ○理（氣象） ○體（食物と衛生） ○國（報告）
		大きい割に子供の認識は不足であるこの際適切な指導は極めて重要である							
					○15頁～24頁 ・四則計算の復習，概算について		○計算能力，概算能力の向上		
			計算練習	2					

（五年）4 7 六年 4 3

5	葉 若 健康週間	求単用いるれ 欲り使ついるに般 なのにて機ものし生こに 的とし械心のこ通なる的こ 大機ても追あ的めて高社重あ 知械率求るを目理会要る 理教も度見験標実へ的 が一やて態る合は重 常簡ついに無で際活と	力さと仕事の大きき	16	○仕事のやり方やその時の力の様子について體験に基づく話合いをする ○話合いから基本的な仕事のやり方を分けて，それについて力の移り方大きさを研究してみる ・物を引くとき，押す時の力 ・物を引き出す時の力 ・ゴム（ばね）ではかりを作り調べる ・板の上でそのまゝ引つ張るところを入れて引つ張る ・測定値について研究する ・摩擦について習う ・力と重さの割合から規則性の發見につとめる（正比例） ・實驗式を作る ・關係をグラフに表わしてみる ・グラフや實驗式を基にして問題を解く ○物を持ち上げる時の力 ・てこを使つて重さと加えた力の關係を調べる ・規則性の發見につとめる（反比例） ・實驗式を作る ・てこの種々の場合について考える ○自轉車の回轉數，速度 歯車の歯數と回轉數 人數と仕事の日數等，其の他の事象について比例，反比例を考察してみる	6 3	○單一機械に對する理解の初歩的な力の觀念 ○靜止摩擦運動摩擦滑り摩擦轉がり摩擦 ○比例の觀念 ○摩擦係數比例定數 ○てこの特徴について ○てこと仕事の量 ○反比例の觀念 ○函數關係の理解	○ゴム秤バネ秤の機能をしくり知ること ○測定値の處理 ○比例グラフの作製能力 ○實驗式の作製 ○てこについて出し得る力の大きさの規則性 ○實驗式の作製 ○てこの計算能力 ○比例，反比例や簡単な式計算技術	○秤の正しい使用が身についているか ○實驗の態度について見る ○比例の意味を理解しているか ○日常生活へどの應用はうか ○實驗の態度について見る ○規則性を見出しているか ○反比例の意味の理解と生活への應用はどうか ○計算能力	
6	時の記念日 運動會 農業休み		力さと仕事の大きき（續）	8	○車を使つて物を持ち上げる時の力 ・單滑車の場合の仕事と力の關係について調べる ・複滑車の場合の仕事と力の關係について調べる，規則性を見出す ・滑車の問題について解く ○重いものを動かす時の力 ・車地の働きについて調べる ・輪軸について實驗してみる規則性を見出す ○回轉能について習う ○以上について計畫，方法，記錄のとり方，研究，道具の作製，研究發表等に注意しつゝ學習する ○纏めた考察や研究發表を通して仕事と力の關係を理解する	6 3 6 3	○滑車の特徴 ○單滑車，複滑車，定滑車，動滑車の理解 ○滑車と仕事の量 ○輪軸の特徴の理解 ○仕事の量 ○回轉能の意味	○滑車により得つるさ出し大きの規則て力のその性 ○力の算出能力 ○輪軸により得つるさ出し大きの規則て力のその性 ○力の算出能力	○實驗の態度について ○規則性を見出しているか ○算出能力テスト ○實驗の態度について見る ○規則性を見出しているか ○計算能力テスト	○中一工業
7	夏休み	夏休みを前に、夏休みの計畫に胸を躍らせている生徒に對して種々の計畫を立てさせるべき正しくよう健全に過ごさせる必要がある	計算練習 種々の問題 夏休みの研究	3 7 2	○71頁～80頁 ・分數，比，等式，概算の問題珠算練習等について ○81頁～90頁 ・種々の統計，力と仕事，曲車等の問題について ○夏休みの研究について計畫する ・てこの實驗 ・星座（北極星）の研究 ・計算練習			○四則計算の習熟	○計算能力（確度，速度）	

8	夏休み		夏休みの研究		○夏休みの友に従つて研究する ○教科書の例の研究 ・てこの實驗 ・星座の研究 ・計算練習					
9	二百十日		夏休みの研究發表	2	○夏休みの研究の發表交換話合い				○研究態度内容，發表について考察する	○中一工業
		形と圖の表現については小學校以來極度觀念的か斷片的に體驗している 展開圖も大分慣れている この際，圖の表わし方を纏めて知的なものとして指導しておきたい	形と圖の表わし方	14	○形の種々の表わし方について調べる ・針穴寫眞機，電氣スタンドの笠等今まで製作したものについて種々の表わし方を話し合う 簡單な形についての表わし方を調べる 三角形，四角形，五角形，六角形基本立體について形と大きさの決定條件を考えて表わす	5	○圖形の要素の理解	○圖形の要素から圖形をかく技術	○圖形をかく技術があるか ○圖形の要素が理解されているか	
					○複雜な形について表わし方を調べる ・物の形とその影について話し合う ・投影圖の原理を研究してみる ・平畫面，立畫面，側畫面，平面圖，立面圖，側面圖について習う ・地球について位置の表わし方等を投影から調べる	5	○投影の觀念 ○側畫面平畫面，立畫面，平面圖，立面圖側面圖の觀念	○投影圖の原理 ○複雜な形の表わし方	○原理が判るか ○見取圖，投影圖をかく技術	
	彼岸									

10	運動會		形と圖の表わし方（續き）	12	○基本的な投影圖のかき方について習う ・物の形とその影について原理を調べる ・等角投影圖法で表わしてみる ・種々な基本立體の組合わさつた形について投影圖で表わしてみる ・投影圖から實形を求めてみる ・學校中心の案内圖や縮圖を作る ・道具や品物について見取圖をかいたり投影圖をかいたりして表わす ・投影圖や見取圖を讀む	5	○投影圖法の原理 ○投影圖法の理解 ○投影圖法を日常に應用する態度を養う	○點の投影線の投影のかき方 ○讀む能力 ○案内圖縮圖をかく能力 ○簡單なもの見取圖投影圖に表わす能力	○點の投影が正しくかけるか ○實長を求める能力があるか ○見取圖投影圖を讀む能力はどうか	
	農業休み									
11	麥まき		形と圖の表わし方（續き）	16	○計測や圖による直接の測量について研究する ・精測 －測量の方法を體驗を基にして話合いする ・計器使用上の注意について ・測量の方法について 平板測量の初歩について實測しながら習う（三角形を基礎とする） ・仰角，俯角，勾配について習う －概測	4 3	○直接測量の指導 ○平板測量の意味の理解 ○三角形の決定についての理解 ○仰角俯角勾配の觀念の理解 ○歩測，目測による概測の理論	○計器使用能力 ○測量技術 ○作圖技術 ○計算能力 ○概測の技術 ○測定値の處理	○數量的に觀ているか ○計器使用が身についているか ○正しい測量が可能であるか ○測定値の處理は正しいか ○仰角俯角勾配の意味を理解しているか ○基線照査線	
	遠足									

					• 歩測により測量 • 目測と縮圖による測量				の理解はどうか	
12	防火 多休み		形と圖の表わし方（續き）	2	○複雜な形をしたものゝ體積計算	4	○體積計算の基礎觀念	○計算能力	○計算力	
			計算練習	3	○四則の計算練習					
			種々の問題	7	○投影圖，縮圖に關する問題を解く			○實際問題の解決能力		
1	正月	新學期で計畫的な暮し方について時間的觀心を持つている 寒いもので寒暖計す有意義な話合いも思われる	正の數負の數	12	○寒暖計，時間，時計の針，距離方向等の主體的な觀方から負數の考え方をする ○負の數の記號の意味，絶對値について習う ○數圖表をかいて負數の位置を明かにする ○加法のきまりを見出し話合う ○計算練習をする ○減法のきまりを見出し話合う ○計算練習をする ○加法の連續計算，加法減法の混合問題について計算する	1 2	○負の數の觀念 ○絶對値の觀念 ○負數の位置の觀念 ○結合法則の觀念	○正の數負の數の記號 ○正項　負項 ○數圖表をかく能力 ○法則の適用 ○加法，減法の計算能力	○負の數の考え方があるか ○正項の理解と適用能力はどうか ○負の數の位置が正しいか ○計算能力 確度 速度	
2	舊正月		正の數負の數（續き）	16	○逆數について習う ○乘法のきまりを見出し話合う ○計算練習をする ○三數以上の積の練習をする ○除法のきまりを見出し話合う ○計算練習する ○乘除の混合問題について練習する	1 2	○逆數の觀念理解 ○對象の法則配分の法則の理解と適用	○乘法計算に習熟（新教材） ○符號絶對値の決定 ○除法計算に習熟（新教材）	○計算能力をテストする ○精確度，速度 ○基礎法則を用いて簡便に計算する能力はどうか	中三　數學
3	芽生え 彼岸 終了式	○樂しい一年間も終る，何事につけまとめてみたり記念にしてみたりしたい	計算練習	4	○正の數，負の數に關する四則の練習をする ○力だめし			計算能力向上	○計算能力 確度 速度	
			種々の問題	4	○正の數，負の數に關する問題について解く					

理科學習指導年次計畫

指導計畫をどのようにたてたか

○問題形式の小單元は　必要と關心との焦點を拾いあげ學習の第一段階を主體的に展開しようとした。

○單元の配列は，季節に關連づけていつたが，小單元においては季節に適つていないものもあるが，他教科の學習と密接に連絡して進めるようにした。

○學習活動については　學習指導要領による一學年間六單元の學習活動內容は豐富で，今の生徒たちは，困難と思われる點もある。そこでこれを組みかえることも考えられるが參考書が少なく教科書が唯一のものである現狀として與えられた教科書を最高度に活用して，できるだけ教科書の順序や內容とタイアップするようにした。なお教材の多いための時間の不足は生徒の實力に應じて取捨選擇して負擔過重にならないようにしたい。

○時間の配當は　上に述べたような主旨と事情に基づいてわりだした。

○指導の目標重點は　效果判定，その活動の材料ともなるようにした。

○備考は，指導上の注意，連絡事項，參考圖書，映畫等の一部をあげた。

——(參)は參考書　(映)は視覺教育案內映畫　(國)は國語以下これになろう——

(八月二十日現在の資料による)

月	季節と行事	單元(時間)	學習活動	指導の目標重點	備考
4	始業式	○理科學習をどのように進めたらいいか (1)	○中學一年の學習をどのように進めたらいいか話しあいをして計畫をたてる	・中學生となつて誇りのある生活に滿ちている時自主的學習態度を養うようにする	・氣象觀測 (農) ・春 (映)
	入學式			・計畫的學習態度を養う	・春の呼聲 (映)
	(一年生)	1 空氣 (26)	・鄕土の氣象についていろいろ今迄に氣のついたこと古來からの俚諺について調べ話しあいをする	・自然に親しみ科學的な自然現象を觀察する態度を養う	・山羊の世話をはじめる ・繼續觀察の意義を理解してねばり强く研究するようにする
	學級役員選擧	○鄕土の氣象はどんなだろうか (2)	・鄕土の天候，氣溫，氣壓，風向，濕度，雲量などを分擔し觀測して野帳や表に記入していく	・學習班の一員としての責任ある學習態度を養う	・火と空氣 (理) 小學五年
	お祭		・觀測はどのようにしたらいいか時刻，場所等について研究する	・整理の困難を克服する態度を養う	・氣象觀測の實際 (參) ・氣象の話 (參) 誠文堂新光社
	遠足	○氣溫はどのようにかわるか (4)	・水銀寒暖計，アルコール寒暖計はどのようにして作るかその構造を調べる	・溫度計の構造はどうか又その取り扱いをどうしたらいいか體得する	・氣象觀測の講話 (參) ・天氣豫報論 (參) ・地人書館
	播種期		・目盛はどのようにしてきめるかくふうする		
	保護者會總會		・いろいろな溫度計の特徴を調べ話しあいする		・常に天氣に注意する態度に導く
	父兄會		・溫度計の見方，扱い方について研究し話しあいをする	・實驗觀測の學習は忍耐强く	・この學習は一年間を通じてしなければならない部門が多いから常に注意する
	天長節		・一晝夜の氣溫の變化を調査研究する ・一年間の氣溫の變化を調査研究する ・平均氣溫はどのようにして出したらいいか調べる		・調査は計畫にもとづいてやる
			・井戸水の溫度を比較してみる ・氣溫はどうして變るか調べる		・精密な調査をするようにする
		○空氣は何からできているか (5)	・空氣の重さを測定する ・物質とはどのようなものか話しあいする	・空氣の性質について調べる ・合理的なてんびん (天秤) の使い方を體得する	

	身體檢査		• 物質の三態について調べ理解する • 空氣の中にはどんなものが入つているか調べる又それはどのようにして調べられるか實驗してみる • 酸素のはたらきについて實驗し調べてみる	• 酸素のはたらきについて理解する • 壓力はどのように利用されているか調べる • ポンプの理について理解する	• 理科 3　火 • 理科 5　草木 • 理科 17　微生物 • 理科 9　海 • 紙玉てつぽう（理） 小學四年
		○空氣はどのように壓力を及ぼすか（5）	• 空氣の壓力はどのように利用されているかいろいろ經驗や見聞について話しあう • 空氣を利用した機械について調べ話しあいをする		
5	八十八夜 たんごの節句 創立記念日 大掃除		• 氣壓と溫度壓力との關係について實驗する • 氣壓計の構造とその取扱い方について調べる • 氣壓を毎日測定して天候とどのような關係があるか調べ話しあいをする • 風はどうして吹くか調べる • 風向風力を測つて記錄し鄕土の風向と天氣との關係について調べてまとめる • 風の力をどのように利用しているか調べて話しあいをする	• 道理にしたがい進んで未知のものを探ろうとする態度を養う • パスカルの法則を理解する • 器具を使う能力を高める • 氣壓と天候とどのような關係があるか理解する • 記錄を整理する • 科學者の仕事の尊さをしる • 風の起るわけを調べる • 風力階級に關心をむける	• ポンプ（理） 小學五年 • 理科 9 海 • 農業と連絡してとうもろこしかぼちやの播種をする單元 5 草木のところで學習であるから注意する • 理科 2　水
	立夏 ひよう（雹）	• 空氣中の水蒸氣はどんな現象をしめすか（5）	• 水はどのように蒸發するかいろいろの條件のもとで實驗してみる • 濕度はどのようにしてきめられるか • 濕度は私たちの生活にどのように影響しているか調べて話しあいする • 雨や雪はどうしてできるか調べる • 雲はどんなものかしらべいろいろの雲について觀測し天候との關係をしらべる • 雲の形，色，動きと天候とどんな關係があるか經驗を發表したり觀察して研究する	• 濕度と私たちの生活について調べる • 自然界の物と現象とを觀察する能力を養う • 雲と天候の關係についてしらべ理解する • 風や空の模樣を見て明日の天候を判斷する	• 生物の生態について常に注意の目を開く • ひよう（雹）の降る頃であるから注意する • 雲の科學（幻）
	小滿				• 氷雪霜については多更に觀察する • 理科 15電氣

	單衣		• 雨量を測る • 雪や霜はどのようにできたものであるか調べる • 物がしめらないようにするにはどうしたらいいかくふうする		理科 4　食物 理科 12　家 理科 17　微生物 理科 7　植物
	春ご（かいこ）の飼立	• 天氣豫報はどのようにしてできるか（4）	• 測候所を見學し天氣豫報のできるまでの仕事のすじ道についての話をきく • ラジオ新聞等による天氣概況や天氣豫報の研究をする	• 天氣豫報のできるまでの仕事を理解する	• 氣象觀測器具の規正をする
	苗代		• 天氣圖の見方を學びラジオをきいてかいてみる • 高低氣壓，不連續線とはどんなものか天氣圖をみながら研究する	• 天氣圖の見方を理解する • 日常使われる氣象用語の理解をする	• かえるの生態に注意する
	かえる	• 日本の氣象はどのような特徵をもつているか（3）	• 日本の大きな氣象の變化について調べ話しあいをする • 季節風，梅雨，颱風等はどうして起るか調べ話しあいをする • 交通，產業はどのように氣候に支配されるか調べ話しあいをする	• 日本の氣象の特質を調査研究する	• 日本の氣象（社） 中學一年 • 理科 9　海 • 理科 16　交通通信
	小運動會		• 鄕土の氣象について測候所の話や經驗を發表しあい農作物の豐凶にどう關係するか調べ話しあいをする • まえがきを讀み今迄の經驗を發表しあい學習計畫をたてる	• 天候はどのように產業に影響するか理解する	• 海流が氣候に及ぼす影響は單元 9 海で學ぶ
		2　水（20）			
6	芒種	○水はどうして大切か（3）	• 水についての傳說や濁水でこまつたことなどについて調べ話しあいをする • 水の用途を調査する，家庭で使用する水，社會で使用する水について • 動植物にどのくらい水が含まれているか調べる • 私たちの體中の水のじゆんかんについて調べその重要さを理解する	• 水の重要性について理解する • 動植物は水がなくては成長できないことを理解する • 自然界の氣象を觀察する能力を養う	• 農業と連絡
	時の記念日				• 夏の天氣（理） 小學五年 • 理科 5　草木

	衣服の虫干 食品の貯藏 入梅 多忙な農事 田植 夏至 農休み か（蚊）	○家庭で水をどう利用しているか (6)	• 家庭で使用する水の用途を調べ話しあい表につくる • 毎月の使用水量の記錄をとり調査する • 近在の天然にある水の分布それらの水の使用狀況について調査する，天水の水の量の季節による消長の調査をする • 自分の家の井戸水の季節による增減の調査をする • 井戸の分布，深さ水量，水温，水質の調査をする • どんな井戸がいいか調べて話しあいをする • 井戸の構造とその種類特質について調べ話しあい學校や自分の家の井戸とくらべてみる • 水道山へいきその淨水施設について調べる • 淨水法の種類にどんな方法があるかしらべ表をつくる • 飲料水としてどんな水がいいか調べて話しあいをする • 洗濯にはどんな水がいいか又それはどんな意味か調べる	• 水の科學的利用について理解する • 井戸のなりたちについて理解する • 飲料水としてどんな水がいいか理解する • 硬水軟水について理解する	• 理科 18 からだ • 水の生活科學（參）柏葉書院 • 食品の貯藏（家）中學一年 • 夏（映） • 入梅に入り濕度が增し不衞生になり勝ちであるから注意する • 入梅の候の氣壓配置について注意する • 理科 10 土 • 食物と衞生（體）中學一年 • 暑さも增し生水を飲みたがる時飲食物に注意する • 理科 7 着物 • とうもろこしかぼちやの掛け合わせを農業と連絡する
7	公開研究會 半夏至 小暑	○水は何からできているか (4)	• 水の蒸りゆうはどのようにしてするか調べる • 水の性質にはどんなものがあるか調べて話しあう • 水の分解合成の實驗をする • 物質は何からできているか分る構造について話しあう	• 水の成分を知る • 實驗觀察をする態度を養う • 物質構造についての理解をする	• 雷の多いころとなる雷雲のようすに注意する • 理科 15 電氣
		○水にはどのようなはたらきがあるか (4)	• 水の力はどのように利用されているか見聞したことや經驗したことについて話しあいをする	• 水の性質について理解する	• 理科機械 • 理科 16

	雷 たなばた 自由研究發表會 水泳 土用 傳染病 大暑 夏休み	○水害防止はどのようにされているか (3) ○夏休みをどうくらしたらいいか (1)	• 腐敗 腐蝕 溶解 侵蝕 水蝕 海蝕等の水のはたらきについて生活經驗の中からひろいあげて話しあいをする • 動植物は水によつてどのように變化していくか考察する • 水は產業上どのように利用されているか • パスカルの原理について實驗する • 水の重さによる壓力について實驗觀察する • 水は今後どう利用しなければならないか話しあいをする • 水害について見聞したことを話しあう • 鄉土に治水工事をするようなところがあつたらどうしたらいいか調査研究する • 森林保護，植林はどうして大切か調べ話しあいをする • 水の衞生をどのようにしなければならないか話しあいをする • 一學期の學習の反省と夏休み中の研究計畫をたてる • 山羊のせわを夏休み中どのようにするか相談する	• 調査の學習態度を養う • 水の偉大なはたらきを理解する • 水害防止對策について理解する • 水の衞生についての理解を深める • 自主的な學習計畫となるよう導く	交通通信 蒸氣機關 蒸氣タービン は三年でやる • 食物（理）小學六年 • 物理（3）高等學校用 • 時間の關係に深入りしないで自由なる研究とする • 自由研究發表會があるからよくまとめるよう指導する • 山羊（音）中學一年 • 理科 空氣 • 理科 9 海 • 家庭科災害の豫防 • 農業 豐作と凶作 • まとめの段階であり今迄の實驗觀察測定調査事項を整理する • 休み中の觀測については話しあつておく • 夏休みを利用して日光，足尾方面の旅行をし，高山植物，川のでき方はたらき，發電所溫泉等を調べるといい

9	二學期始業 二百十日 水泳大會 彼岸 秋分 自由研究發表會 名月 虫の音	○夏休みをどうやつてきたか (1) 5 草木 (20) ○植物はどのように成長かしている (3) ○植物のからだはどんな構造になつているか (2) ○植物はどんなものをどこから取り入れるか (10)	• 夏休み中の研究について發表しあう • 植物はどのようにして生きているか知つていることを話しあう • 研究計畫をたてる • 種はどのような構造や形やその中について調べる又どんな養分が入つているか芽を出す力はどこにあるかいんげんまめだいこん等について實驗して調べる • 發芽はどのような條件でするかしらべて話しあいをする • 土，水，光，溫度，空氣等は發芽の條件とどのように關係があるか實驗してしらべる • 芽の伸びる方向，伸び方について實驗觀察する • 根はどのようにしてのびるか觀察する • 細胞のふえ方についてしらべる • 根またはむらさきつゆくさのおしべを檢鏡して研究する • 根の構造について檢鏡する（とうもろこししようぶ） • 莖の構造をしらべる，ほうせんか，とうもろこし，へちま等を橫切りし切片を作り觀察，檢鏡して觀察力に記入する • どのような細胞組織になつているか調べる • 葉の構造を調べる，檢鏡し，表皮，氣孔，水孔，毛はどのようになつているか調べる • 植物は土から何をとつて育つか又肥えた土と肥えてない土について研究する	• 自主性のある研究計畫を作る • 合理的な目標のもとに實驗計畫を立て各班の自由研究としたい • 根氣よく謙虛な態度で研究する • 物質は細胞組織からできていることについて理解する • 葉や莖の合理的な構造を理解する • 植物はどんな養分などのようにしているか調べて理解する	• 自由研究發表會に備えて研究整理をする • 農業と連絡實驗に使用する種をまく • 生物學のてびき力書房 • 生物の研究はどのようにしたらよいか（參）日本出版社 • たい風のある頃である氣壓配置を研究する • 野邊の一日（映） • 春の呼聲（映） • 稻の話（映） • 秋の山野（映） • 秋（映） • 農業に連絡 • 食べられる野草（幻） • 理科 17 微生物 • 動植物，顯微鏡，實習，摘要（參）丸善 • 生物實驗法（參）三省堂 • 顯檢生物學（參）顯査學會 • 動物を食う植物（映） • 花と昆虫（映） • 事前の計畫をよくしておく
	大掃除 自由研究發表會		• 窒素，りん，カリ肥料の必要なことを水耕培養する • 根のどんなところからどのように養分は體へ入るか檢鏡する（例 大根，白菜の種） • 根から吸收された水は莖や葉のどこを通つて昇るかしらべる • 莖の組織の檢鏡圖を細部にわたつて圖にかいて記錄する • 組織の名稱とそのはたらきにいつてしらべる • 葉はどんなはたらきをしているか知つていることについて話しあいをする • 炭酸同化作用とはどんなはたらきか實驗する（例 やつで，かぼちやの葉） • 水草（例も）の切り口から氣ほうの出るのを見る實驗をする • 葉の組織とそのはたらきについて調べる • 葉の蒸散作用についてしらべる • 葉の吸收作用についてしらべる，種子，葉，花等の呼吸作用について實驗する • 落葉や紅葉はどのようにして起るかしらべる	• 肥料の合理性について理解する • 檢鏡した結果を細部にわたつて記錄する • 根から入つた水分はどのように體の中をまわるか • 檢鏡の結果を細部にわたつて記錄する • 根から入つた水分はどのように體の中をまわるか • 顯微鏡の使い方を體得する • 葉のはたらきを理解する • 合理的な考えのもとに實驗計畫をたてるようにする • 自然の調和ある現象を觀察する態度を養う	• 根のついたものとつかないものとの差に注意 • かぼちやの葉の向きなどに關心を向ける • 秋の空の特徵をつかむ氣壓の配置等 • 葉につゆの玉がついていることに注意する • 落葉紅葉の頃になつて又特に注意する
10	更衣 研究會（社會科） 秋祭	○植物はどのようにして殖えていくか (2) ○品種改良はどのように	• 花の構造を觀察する • 種はどのようにして分布しその子孫をひろめようとしているか研究する • 細胞はどのようにして分裂するか，酵母やかびの殖え方について檢鏡する • 有性繁殖と無性繁殖はどうちがうかについて調べてみる • とうもろこし，かぼちやの遺傳について研究する	• 植物の繁殖の方法について理解する • メンデルの法則を理解する	• 秋の山野（映） • 種子の散布（映） • 日頃庭の草木に注意をむけ種子の散布などを觀察する • 理科 17 微生物 • 農業で研究している生物かけ合わせと連絡して學習

	運動會	されているか (3)	• メンデルの法則についてしらべる • 品種はどのようにして改良されてきたか知つていることについて話しあいする • 染色體とはどんなものでどんなはたらきを持つか • 品種改良の方法を調べて話しあいをする	• 品種改良の方法について理解する	する • 農業の接木やさし木が三月にあるがその時あわせで研究するようにする
	神嘗祭	4 食物 (30) ○いろいろの食物の中で何が大切か (5)	• 食物の教科書のまえがきをよむ • 食物と榮養について知つていることを話しあいする • これからの學習計畫をたてる	• 導きの段階として食物と榮養について興味と關心を向ける	• 家庭農業へ連絡 • 食品化學 (參) • 食物と榮養 (參) 櫻井芳人著
	稻刈り		• 乳の成分には何が含まれているかを調べる • 牛乳から脂肪の分離をする • 脂肪を檢鏡しブラウン運動を調べる • 脫脂乳からカゼインを分離する • 酸性アルカリについてその反應を調べる • 乳糖を作つてみる • 牛乳の中に灰分のあることを調べる	• 乳の成分を理解する • 體にどのような榮養をおくるかについて檢討する	• 乳兒の發育について注意をむける • 山羊の乳について同じように研究するといい • 古代日本人の食生活 (參) 大八州出版社 • 成長と榮養 (參) • 家庭科と連絡 • 生活環境の中から集める
	農事多忙	○脂肪とはどんなものか (2)	• 牛乳の榮養價について考察する • 私たちの知つているあぶら類を全部あつめてみる • あぶら類の共通の性質について調べる • あぶらを檢鏡する • あぶらは何にとけるかいろいろなものについて實驗してみる • どんな元素からできているか調べる • せつけん作りをするどんなあぶらでどのようにしたらいいのができるか研究する	• 脂肪の種類と性質を理解する	• 農事多忙の頃であり特に榮養に注意しなければならない • 山羊が發情期に入る、農業と連絡し掛け合わせする
	農休み				

11	明治節	○炭水化物とはどんなものか (3)	• 炭水化物（澱粉）あつめをするそれについていろいろ知つていることについて話しあいをする • 糖類にはどんなものがあるか研究して表に作る • いろいろあつまつた澱粉を檢鏡し圖にかいてその特徴をつかむ • もやしを作つてあめ作りをする • 炭水化物にはどんなものがあるか調べる • それらはどうして炭水化物だといふことがわかるか研究する	• 炭水化物を檢鏡しその特徴を理解する • 炭水化物にはどんなものがあるか調べて理解する	• もやし作りは前から準備して溫度に氣をつけてする • 飴作りを研究的方法でやる • いろいろな原料を使つて作る特にもやしを入れる溫度に注意する • 化學 (3) 高等學校用
	多至				
	霜	○たんぱく質なとはどんなものか (2)	• たんぱく質あつめをするいろいろ知つているものを模面にかいたりもつてきたりして話しあいをする • 豆腐作りをする • 燒ふを作る • たんぱく質はどんな元素からできているか調べる • たんぱく質は何によつて分解するか調べる • たんぱく質の種類をあげてみる • アミノ酸醬油とはどんなものか研究する	• たんぱく質をあつめる • たんぱく質はどんなものに一ばんふくまれているか調べよ	• 豆腐作りの要點を豆腐屋でできくようにするのもいい • 霜の頃であるよく霜のでき方などを調べる • 霜のできるまで等の自由研究をするのもいい
	紅葉	○食物はどれだけの熱を出すか (1)	• 仕事と熱とどんな關係があるか調べる • 1 カロリーとはどの位の熱か又どうして測るか • 食物の成分はどれだけの熱を出すか調べる • たんぱく質脂肪炭水化物は1gについてどれだけの熱量をだすか調べる	• 熱量とはどんなものか理解する • 食物の中でどんなものが榮養價値があるか理解する	• 理科 14 機械 • 理科 3 火 • 食品榮養價要覽 (參) 第一出版社 • 食品の貯藏の時期常に注意して觀察する
		○どれだけ食べたらいいか (2)	• 家の食事について何カロリー位一日にとつているか調べて話しあいをする • 一日にどのくらいの熱量がいるか見聞したことについて話しあいする	• 食物のカロリー計算の方法を理解する	• 私たちの生活から遊離した食物の學習とならないよう

			• 一日にどのくらいの食物を食べたらいいか配給量などを考えあわせて計算してみる • 榮養失調はどのようなときに起るか研究してみる	• 榮養失調はどのような場合に起るか理解する	に注意する • 現今のひつ迫した食糧事情をよく考慮する
落葉		○食物の成分のはからだのなかでどんな役に立つか (5)	• たんぱく質脂肪炭水化物はどんな役に立つか調べる • 三榮養素はそれぞれどのように變るか調べる • それらの榮養素が不足した場合はどういうことになるか調べる		
新嘗祭			• たんぱく質を一日にどれだけたべたらいいか食物からどのようにとつたらいいか毎月の食事をくらべて考察する • 灰はどんな役に立つかどれだけ必要か調べる	• たんぱく質脂肪炭水化物の役目を理解する • たんぱく質の重要性について理解する • 無機質のはたらきを理解する	• たんぱく質食品の取り方については日頃特に注意をむける • 紅葉落葉について調べる
體力測定			• 灰分の不足は體にどんな障害が起るか調べる • 一日の食事の中にどのくらいカルシユウムがあるか計算してみる		
氷がはる		○ビタミンはどんな役に立つか (3)	• ビタミンについて見聞したことについて話しあいをする • 脚氣はどうしたらなおつたか • 鈴木博士の仕事の尊さを理解する • 私たちの食事の中にビタミンはどれだけ入つているか • いろいろのビタミンのはたらきとそれらのビタミンはどのような食物に含まれているか調べる	• ビタミンはどのようにしてわかつてきたかについて學者の仕事の尊さを理解する • ビタミンのはたらきを理解する • いろいろのビタミンのはたらきとそれらを多く含むものについてしらべ表をつくる	• いろいろなビタミン錠を集めたりするのもいい

12	防火	• 食物の貯藏加工はどのようにするか (3)	• 食物の貯藏加工をどのようにしているか調べて話しあいする • 食物の貯藏加工をどういうわけでするか考察する • 食物の貯藏の方法をあげその特徴をしらべる • 食品の加工にどんな方法があるか又その特徴を調べる	• 食物の貯藏の方法について理解する • 合理的な食物はどのようにしてえられるか	• 理科 17 微生物 • 理科 2 水 • 冬の天氣（理）小學五年 • 農業と家庭と連絡
	綜合研究會				
	多至	• 食生活の改善をどうしたらいいか (4)	• 粉食の利害得失について研究する • 調理と榮養について研究する • 飲食物と衞生について考察する • 食生活の改善をどうしたらいいか話しあいするそして論文を書く	• 食生活の改善についての具體案をたて實踐する • 科學的考えのもとに合理的な食生活がなされているか檢討する	
		3 火 (22)	• 火の學習をどのように進めたらいいか話しあう	• 火の人間生活上の意義を理解する	• 防火について話しあい注意をする
	自由研究發表會	• 火は人間生活にどのように利用されてきたか (1)	• 大昔から火はどのように考えられどう利用されてきたか本を讀んだり老人にきいて調べ話しあいをする • 火をおこす方法はどのように進んできたか調べる	• 熱ぼうちよう（膨脹）について理解する	• 寒風のふくころ天氣圖をかいてみて氣壓の配置等を調べてみるといい • 理 14 機械 • こんろと湯わかし（理）小學四年
		• 熱はどんなはたらきをするか (4)	• 溫度は物の性質とどんな關係があるか調べる • 物體は熱によつてどう膨ちようするか物質の三態について實驗研究し表にまとめる • 水はどのように溫度の變化に對して膨ちようするか研究する • 熱量とはどんなことか調べる • 比熱，熱容量とはどんなことかいろいろの物質についてその比熱を調べ表にする • 融解熱とはどんなものか氷の融解について實驗する	• 機械や器具を使う能力を養う • カロリーについて理解する • 比熱について理解する	• 家庭と連絡 • 理科 4 食物 • 今迄の氣象觀測の整理と反省をする • 山羊のせわに氣をつける • 休みの自由研究題目をきめる
	多至				
	多休み				

1	正月 小寒 雪 自由研究發表會 大寒	○薪木炭はどのように使用されているか (3)	• 家庭において薪木炭がどう使用されているか調べて話しあいする • 家の熱源燃料にはどんなものがあるか調査する • 各家庭の燃料消費量を調査する • 薪や木炭はどのような手順で私たちのところにわたるか調査する • 炭焼きがまの見學をし經驗談をきく • 木炭と薪との比較研究をする • 木炭の發熱量の測定實驗をする	• 薪，木炭の重要性と燃料の節約に留意しなければいけないことを理解する • 木炭の作り方を理解する（農業で作るのをよく研究する）	• 食べものに氣をつけるようにする • 山羊のせわに氣をつける • 雪と熱（映） • 雪國の生活（映） • 多（映） • 雪の降るのをみて雪をよく調べる • 農業で作った木炭について調べる
		○燃料にはどんなものがあるか (3)	• 燃料にはどんなものがあるか經驗していること見聞したことについて話しあいをする • 固體，液體，氣體燃料にはどんなものがあるか調べる • 燃料の三態の使用上の利害得失について研究して表にする又どのように利用されているか調べる • 石炭乾りゅうの實驗をする • 石炭はどのように利用されているか調査する	• 燃料の種類を理解する • 固體，液體，氣體燃料の利害得失を理解する • 整理する能力を養う • 石炭の利用について理解する	• 氷のはり具合をよく調べる • 農業家庭と連絡 • 雪國の兄弟（幻） • 理科 11 地下資源
		○熱はどのように傳わるか (2)	• 傳導對流ふく射はどんなものでそれぞれ熱の移り方はどのように違うか實驗し研究する • 熱傳道の割合を調査する • 冷藏庫や魔法びんの構造について調べる • 熱の移り方はどのように違うか實驗し研究する	• 熱の傳わり方を理解する	• 理科 7 着物 • ふく射はわかりにくいから注意する
		○燃料を有效に使うにはどうしたらいいか (5)	• 家庭においてこんろかまどふろのたき方をどのようにくふうしているか話しあう • こんろかまど等の種類構造を調査する • どのようなこんろかまどの構造が一番合理的か研究する	• 燃料の合理化にどのように努力しているか又どうしたらいいか理解する • 合理的かまどこんろについて調査研究する	• 燃料と生活（參） • 燃料讀本（映）

2	立春 節分 酷寒時 紀元節	○火災豫防はどのようにしたらいいか (4)	• 燃料の節約はどのようにしたらいいか研究調査する • 御膳のたき方を實習して研究する • 火事がどんな時，起つたか經驗や見聞したことについて發表しあう • この村の數年間の火事の原因件數損害の調査をする • 家庭での火の始末の調査をし調査結果について話しあう • 消防施設の調査（家庭學校社會）をする • 火事と天氣の關係を研究する	• 研究物を整理する態度を養う • 燃料についての理解をする • 火災豫防はどのようにしたらいいか調査し實踐する	• 家庭と連絡 • 酷寒時である衛生に注意 • 三月の展覽會學藝會にそなえて計畫し研究等は着手する • 理科 12 家
		6 動物（18）	• まえがきをよみ，動物の學習をどのようにしたらいいか話しあいをし計畫をたてる	• 動物と植物とのちがいを理解する	• 動物大辭典（參） 小野田勝造著
		○動物と植物とどこが違うか (1)	• 動物と植物とはどうして見分けるか研究する • 下等な生物にどんなものがあるか調べる • 動植物の分類をしてみる		• 生物のてびき 湯淺明著 • 理科 5 草木
		○動物はどのように進化してきたか (3)	• ダンウインの「種の起源」をよんだり聞いたりして調べ話しあいをする • ダーウイン以後進化學はどのように進歩してきたか研究して話しあう • ダーウインの傳記を調べて發表しあう	• ダーウインの進化論を理解する • 科學者の傳記などを好んでよむ態度を養う • 科學者の仕事の尊さを知る	• 家菅の歷史物語（參） 圖ヶ關書房 • ダーウイン（參） 改造社 • 農業と連絡
		○動物はどのような生活をしているか (2)	• 動物の生態について調査研究する • 人の生活と動物の生活との相違を調べる	• 動物の生態について理解する • 生態學上よりの見方を養う	• つばめの愛情（映） • 動物の冬越（映） • 海の動物については理科單元の海で學習する • 昆虫記（國） 中學一年 • 昆虫記（參） 岩波文庫
		○人の生活に役立つ動物	• 役立つ動物にどんなものがあるか發表しあう	• 人間の利用している動物の種類及び部位について理解	• トンボの世界（映） • アリチヤン（映）

公開研究會	にどんなものがあるか (3) ○動物の飼育にどんな注意が必要か (2)	・衣食住の面でどう役立つているか調べる ・家でどんな動物を飼育しどのようにせわしているか話しあいをする ・山羊のせわの經驗について話しあいをする ・動物を飼育する意味を考察する	する ・生きものをかわいがり育てる態度を養う ・山羊のせわの觀察記錄をまとめる	・蟻 岩波叢書 ・蟻の生活 (映) ・リスを育てる (圖) 中學一年 ・蟻の一生 (映) ・蚊の一生 (映) ・もんしろ蝶 (映) ・蜜蜂 (映) ・ずい虫の生活 (映) ・うさぎの觀察 (理) 小學四年 ・にわとりのせわ (理) 小學五年	
3 桃の節句 父兄會 展覽會 學藝會 春雨 草花の播種 彼岸 春分 卒業式 終業式	○品種をどう改良しているか (4) ○人生に有害な動物にどんなものがあるか (3) ○理科學習をどのようにしてきたか (1)	・種蒔場を見學して話をきいたり改良品種をみせてもらう ・山羊のかけあわせをする生れる子はどんなだろうかを話しあいする ・メンデルの法則について研究する ・遺傳子はどんなはたらきをするかしらべる ・有害な動物にどんなものがあるか調べて話しあいをする ・有害なわけと防止の方法について調べて話しあいをする ・のみしらみなどの外部寄生虫およびさなだむしジストマのような内部寄生虫ならびにそのなかだちをする動物について保健の立場から話しあいをする ・一年間の學習のまとめと四月に立てた計畫と照合して反省する ・次の一年生に引き繼ぐものはよくわかるようにしておく	・品種改良について理解する ・メンデルの法則について理解する ・有害な動物の種類と有害なわけと防止法を理解する ・外部内部寄生虫の種類とはたらきを理解する ・防虫法を理解する	・ソデルの法則改造社 (參) ・ひよこの誕生 (映) ・遺傳學史講 (參) 篠遠喜人著 理科 5 草木 (教) 植物の遺傳と連絡してしらべる ・鮭 (映) ・山羊の子が生れる頃である生れたら親とくらべる ・科學雜誌 (參) ・十二指腸虫 (映) ・人體寄生虫 (映) ・理科 8 からだ ・理科 17 微生物 ・氣象學習事項を整理する ・山羊の引き繼ぎは確實にする

音樂科學習指導年次計畫

立案の趣旨

○音樂教育目標を達成するために兒童生徒の發達，環境，學習目標を考え合わせて立案することとした。

○學習目標の要項は文部省で單元として發表されているのでこれにならつた。

○題目のとり方は單元の項目をとると系統的學習は出來るが兒童，生徒の心情に合わない活動が多くなるので主として歌唱教材の題目をとつた。そして學習の場では目標達成のための種々な活動が行われるようにした。

○學習活動の內容は歌唱，鑑賞，器樂，作曲を中心としてその特記すべき要項だけあげた。

○單元との關係とは學習活動の目標が單元のどれになつているかということをかいた。

○他教科との連絡は備考欄にあげた。

○學習結果の考査は音樂學習の特質から毎時行われているので特別あげなかつた。

○この計畫の他に音樂科單元各項目の學習系統案というべきものがある。例えばリズム，メロデイ，ハーモニー等の學習系統案，鑑賞の學習系統案，器樂學習系統案，創作學習系統案，音樂の形式，構成，音樂史等の系統案等この系統案がいつも年次計畫の基本となつている。

月	季節と行事	題目	時間	學習活動	單元との關係	備考
4	始業式 入學式 櫻の花 草花（すみれたんぽゝ等）が咲く ちようちようがとぶ 日毎に暖かくなる 天長節	春が來た	4	○「春が來た」歌唱 C.$\frac{3}{4}$ ・三拍子のリズム練習 ・視唱によつて旋律を習う ・第二十小節に注意する ○「フルート協奏曲＝長調（モツアルト）」鑑賞（レコード） ・モツアルトについて ・協奏曲について ○器樂 ・ピアノオルガンの基礎練習 ・自分の好む樂器を一つ選んで練習 ○作曲 ・作曲用ノートを準備して系統的に作る	1の(1)歌唱及び演奏技術の向上をはかる 1の(2)表情的技術を習得させる 2の(1)リズム，旋律，和聲及び形式を綜合的にとらえる力を高める 2の(3)音樂の歷史的發展についての理解を持たせる 2の(2)音樂の要素，形式，構成に對する知的理解を高める 1の(2) 1の(4)創作への興味を增大させ旋律小曲等の作曲を行わせる 1の(1) 1の(2)	
5	野山は綠になる 新憲法實施記念日 鯉のぼり 木の葉遠足 創立記念日 よく晴れた日が續く 修學旅行	カツコーワルツ 雲の色	5 4	○「カツコウワルツ」の歌唱 F.$\frac{3}{4}$ 2合 ・視唱による ・主旋律と副旋律をはつきりと區別して認識させる ・曲の形式を研究させる ・リズムと速度を正しく歌唱する ○「アベベルム（モツアルト）」の鑑賞（レコード） ・合唱の美について ○器樂 ・個別指導 ○作曲 共同批正 ○「雲の色」歌唱 C.$\frac{4}{4}$ 2合	2の(1) 2の(2) 3の(1)音を感覺的にとらえることを通じそれの意味する內容及びそれの持つ情操を理解させる 1の(2) 1の(1) 1の(4) 1の(1) 2の(1)	
6	草木は全く綠となる 麥がみのる 時の記念日 入梅 田植 麥刈り 農繁期 夏至	めいめい小山羊 眞珠	2 3	○「めいめい小山羊」の歌唱 D.$\frac{4}{4}$ ・諧謔的な氣分を充分に歌い出させる. ○「眞珠」の歌唱 d.$\frac{4}{4}$ ・短調であることに注意 ・日本的な旋律を生かしてなだらかな感想をもつて歌う ○「子供の情景（シューマン）」鑑賞（レコード） ○器樂 自由練習 ○作曲 主題を與へて	1の(1) 2の(1) 3の(1) 1の(1) 1の(4) 2の(1)	
7	七夕 夏季日課開始 公開研究會	眠りの精	3	○「眠りの精」歌唱 F.$\frac{4}{4}$ 2合 ・視唱によつて合唱する ・主旋律を生かすように副旋律を歌わせる ○「眠りの精（ブラームス）」鑑賞（レコード） 「アリア（バツハ）チエロ」鑑賞（レコード） ・バツハやブラームス ○器樂 自由練習	1の(1) 1の(2) 2の(1) 3の(1) 2の(3) 1の(1)	

	水泳			○作曲　夏やすみ中の採譜，作曲について	1の(4)　2の(1)	
		にじ	3	○「にじ」の歌唱　F.$\frac{3}{4}$ 2合	1の(1)	農（氣象）
				・視唱する	1の(2)	
	夏の旅行			・ブレツスの所のリズムを誤らないようにする		
				○「歌劇カルメン組曲」鑑賞（レコード）	3の(1)	
	（山へ海へ）			・ビゼーについて	2の(2)	
				・カルメンの歌劇について	2の(3)	
				○器樂　夏休み中の練習曲をきめる	1の(1)	
				○作曲　採譜の實習	1の(4)　2の(1)	
9	二百十日	濱千鳥	3	○「濱千鳥」歌唱　D.$\frac{3}{4}$	1の(1)	
				・レガートの歌い方	1の(2)	
				・發想を十分につけて歌う	1の(3)	
	自由研究發表會，展覽會			○「ピータースキーの街へ」鑑賞（レコード）	3の(1)	
				・バスの歌い方シヤリアピン		
				○「ヴイオリンソナタ」鑑賞（レコード）	3の(1)	
				・ヴイオリンとピアノについて	2の(2)	
	夏季日課終了	ローレライ	5	○「ローレライ」歌唱　C.$\frac{6}{8}$	1の(1)	
				・ハ長調終止形練習（合唱）		
	後の岸			・旋律，リズムで誤られているところを正す	2の(1)	
				・發想に注意して合唱する	1の(3)	
	十五夜			○「ローレライ」鑑賞（レコード）	3の(1)	
				・正しい合唱の歌い方		
				○器樂　夏やすみの練習曲を發表する	1の(1)	
				○作曲　夏やすみ作品の發表	1の(4)	

10	稻刈り	年も豊かに	3	○年も豊かに歌唱　D.$\frac{2}{4}$ 2輪	1の(1) 2の(1)	農
	運動會			・輪唱の歌い方を理解させそのおもしろさを味わせる	2の(2) 1の(3)	
	十三夜			○「ハンガリヤ行進曲（ベルリオーズ）」鑑賞（レコード）	3の(1)	
				○器樂　練習目標を設けて練習する	1の(1)	
	木の實ひろい			○作曲　簡單な輪唱をつくつてみる	1の(4) 2の(2)	
		旅愁	3	○旅愁の歌唱　D.$\frac{4}{4}$	1の(1)	
	紅葉			・視唱による	2の(2)	
				・基本的な複合三部形式を理解させる	1の(3)	
	空は澄んでくる			・發想を十分につけて歌う	3の(1)	
				○「家路（ドボルシヤツクの交響曲「新世界」ラルゴに使用せる民謠）」鑑賞（レコード）	2の(3) 3の(2)人間的土臺の上に立つて各國の音樂の民族的特徴を理解させる	
				・ドボルシヤツクについて		
				○器樂　各自の樂器を持ちよつて合奏をする	1の(1)　2の(1)	
11	麥まき			○作曲，自分の作品を發表する	1の(4)	
		子守歌	3	○「子守歌（シューベルト）」歌唱　G.$\frac{4}{4}$	1の(1)	
	明治節			・視唱による	1の(3)	
				・こまかい發想に注意し靜かな氣持を歌い出させる	2の(1)	
	部落まつり			・ブレツスを正しく指導する		
				○「ロンドンデリーの歌」鑑賞（レコード）	3の(1)	
				・悦樂の時間	1の(1)	
				○器樂　音樂會の爲の練習	1の(4)	
				○作曲　みんなで批判しあう		
		荒城の月	4	○「荒城の月」歌唱　h.$\frac{4}{4}$	1の(1)	

				・讀唱（短音階に注意）	2の(2)	
				・日本音階的な旋律の動きを十分歌い出させる	1の(3)	
				・設想を十分につけて歌う		
	公開研究會			○「中央アジアの高原にて（ボロディン）」鑑賞（レコード）	3の(1)	
	秋の遠足			・管絃樂について	2の(2)	
				・ボロディンの作風	2の(3)	
				○器樂　音樂會の爲の練習	1の(1)	
				○作曲　自由作曲（詩を與へる）	1の(4)	
12	防火	あられ	4	○「あられ」歌唱　B. $\frac{2}{4}$ 2合	1の(4)	
				・讀唱による		
	多季日課開始			・スタツカート，節分音の歌い方練習	2の(1)	
				・輕快に歌う	1の(3)	
				○「チゴイネルワイゼン（サラサーテ）」鑑賞（レコード）	3の(1)	
	自由研究發表會			・悦　樂		
				○器樂　音樂會の爲の練習	1の(1)	
				○作曲　自由作曲（詩を與へる）	1の(4)	
	寒くなり霜がおりる	多の星座	3	○「多の星座」歌唱　C. $\frac{4}{4}$	1の(1)	
				・讀唱による		
				・rit フェルマータ atempo の歌い方	1の(2)	
	音樂會			○器樂　音樂會出演の練習	1の(1)　1の(2)	
		音樂會		○演奏　合唱，器樂	1. 2. 3.	
				○鑑賞		

1	正月	跳け足	3	○「跳け足」歌唱　G. $\frac{2}{4}$	1の(1)	
				・讀唱による		
				・リズム正しく歌う	3の(1)	
	寒入り			○「今樣（古謠）」鑑賞（レコード）	3の(2)	
				・日本的旋律について		
				○器樂　練習の目標をきめる		
				○作曲　自由作曲の會を開く		
	大寒	妹に	3	○「妹に」歌唱　C. $\frac{4}{4}$	1の(1)	
				・讀唱による		
				・速度や曲想の變化に注意する race		
	雪正月			○「セレナーデハ長調（モツアルト）」鑑賞（レコード）		
				・セレナーデについて		
				○器樂　個別の自由練習をする	1の(1)	
				○作曲　正月にちなんだ作曲をする	1の(4)	
2	麥踏み	麥踏み	3	○「麥踏み」歌唱　二陽，$\frac{2}{4}$	1の(1)	
				・讀唱による		
	立春			・陽音階の構成について理解を與える	2の(2)	
				・中途からの曲想の變化をよく歌わせる	1の(3)	
	紀元節			○日本音階と日本民謠について研究	3の(2)	
				○「日月潭の搖歌」の鑑賞（レコード）	3の(2)	
				・臺灣民謠について		
	春のきざしがうかがわれる			○器樂　打樂器によるリズムの研究	1の(1)	
				○作曲　日本的な旋律の作曲	1の(4)	
	父母と先生の會	ヴオルガの舟引歌		○「ヴオルガの舟引歌」歌唱　Es. $\frac{4}{4}$ 2合	1の(1)	
				・音程の訛聲に注意して讀唱させる	1の(2)	

			2の(1)		
			3の(1) 3の(2)		
			1の(1) 1の(4)		
			1の(1)		
			1の(2)		
			2の(1) 3の(1)		
			3の(2) 2の(3)		
			1の(1) 1の(2) 1の(4)		
			1. 2. 3		
公開研究會		3	ひなまつり (學藝會) 遠山の雪が段々消えてくる	・カノン風の歌い方，美しさを得させる ・聽きの變化による效果的な表情の技巧を習う ○「ヴォルガの舟引歌」鑑賞（レコード） ・ベスの歌い方について ロシャの歌について ○器樂　自由練習 ○作曲　批判しあう	○「ぼだい樹」歌唱　Eb. $\frac{3}{4}$ 3合 ・觀唱による合唱 ・リズムを正しくし軽に三連音をうまく歌う ・美しい合唱をする ○「ぼだい樹」鑑賞（レコード） ○「未完成交響樂」（シューベルト）鑑賞（レコード） ・シューベルトについて ・交響樂の形式構成について ○器樂　獨奏出來るよう ○作曲　記錄を整理する ○演奏　合唱，創作發表 ○鑑賞
			ぼだい樹	5	
			彼岸		
			修了式　學藝會		

體育科學習指導年次計畫

立案の趣旨

○四季を通して運動場に展開される子供の遊びから糸口を求め，運動の特質を考えて季節的に配當した。

○季節行事，設備，運動場の調子や子供の生活卽ち子供の遊びと密接に關係を保ち，去年の體力測定の結果も題材選擇の上に考慮した。

○方法は子供の實狀に依つて考えられるのであるから，全くの概略である民主的體育の方法について工夫して行きたい。

○目標となつている平均記錄は本年五月の測定の平均であるから無理なく到達めざしていいと思う。

○どこまでも當校を主に立案した試案である。實施した上での反省を備考にでも記しておいて，體育目的達成のためのよりよき來年度立案の素材ともなれば幸甚である。　2,29　鹽入生

月	季節と行事	子供の生活	題材	時間	學習活動	備考
4	始業式 入學式 天長節 花見		徒手體操	6	○基礎體力に培い保健上からも必要であることを自覺して一つ一つの動作を確實に行う	
			短距離走		○全力を傾注して走る ○スタート，呼吸，一走の姿勢等を工夫研究する ○男　100m……16秒 女　100m……17秒 を目あてとする	
	身體檢査		ワンアウトボール		○打ちよい投球をする ○愉快にやるが喧騒にならないようにする ○機敏，協同，判斷力をねる	
	氣候よろし ほこり立つ		ダンス		○表現技術の研究 ・自然運動によつて基礎的な身體をつくること	
			體育の目的		・生徒の生活と結んで體育の心身兩面に持つ目的を究める	
			住居の衞生		・教室，家室，部屋屋敷等の衞生的見地からの檢討改善手入れ等を工夫研究する	社會科
			測定		○身長體重胸圍	

5	創立記念日		徒手體操		○準備，整理の運動としても必要であるから習慣になるまでつとめる ○緊張と弛緩のリズムを體得する	
	はなまつり		繼　走		○走距離は約 150mとする ○團體の爲に努力する ○コーナートツプのことを學ぶ	
	遠　足		ソフトボール		○投球法を充分工夫練習する ○勝敗にこだわらずルールを守つて愉快に行う	
	新　綠		ダンス		○表現技術の研究 ・自然を生活環境から取材したものを創作的表現にみちびく ・例　よろこび，希望	
	體力測定					
	運動場の調子よろし		各種運動の解說及び運動練習法（1）		○基礎體力の養成，段階的發展的練習法について	
			病氣の豫防	12	○結核，近視，トラホームの豫防法の工夫と實施	
			測　定		○體質檢診 ○體力測定 ・100m　・幅　跳 ・懸垂屈び，野球ボール投（男） ・排球ボール投（女） 2000m（男）1000m（女）	
			小運動會		・距短離競爭 ・球　投 ・ダンス	
6	小運動會		脚懸け上り，回轉		○低鐵棒で長短兩懸垂を學ぶ ○高鐵棒でも出來るようにする ○回轉は前後兩方を行う	
	時の記念日		幅跳び	9	○より多くとぶための工夫をこらす ○4 m（男）　3.4m（女）を目ざして跳ぶ	
	舊の五月節旬		上段跳び		○初めに立三段跳を行う ○跳ぶ調子を知る ○漸次助走路を長くする	
	農繁期		ソフトボール		○主として女子が行う	
	麥　刈		ベースボール		○能力等分のチームを編成しておく ○チームワークと基礎技術をたえず向上させるよう努力する	
	さつま植え		ダンス		○作品の創作 表現技術の研究の結果と作品として構成する	
	田植え		運動の解		○努力とホームとスランプについて	
	入　梅					
	梅　雨					
	夏　至					

	雨降り多く運動には適しない		說及び練習法（2）			
	病氣が多い		衞　生		○疾病豫防 むしば，傳染病，消毒 ○食物の衞生及國民榮養 ○體重及體溫の測定	理科…食物の貯藏
7	梅雨あけて急に暑くなる		逆上がり回轉		○高鐵棒で一節，二節の逆上がりを習う ○腕立回轉は特に前方を習う ○逆上りと脚懸け上がりとを連續してみる	
	夏季特別時間割		ソフトボール	6	○狀勢の判斷を誤らぬようにする	
	水　泳		ダンス		○作品創作 ・各自創作したものを鑑賞して創作に役立てる	
	終業式		水　泳		○平泳，速泳の特にばた足あおぎ足を習う ○救助法水泳の習得	理…水の働き
			病氣の豫防		○急性傳染病の豫防	
			餘暇の利用		○健全娛樂とスポーツについて	社會…音樂
8			水　泳		○友達と練習する ○小學生を指導する	
			旅　行			
			測　定		○體重測定	
9	二百十日		け上り		○各瞬間に於ける鐵棒と體の位置について研究する ○高鐵棒でも習う	
	始業式		障害競走	12	○100m. 9個の低障害をおく ○障害物の跳越し方と踏切と着地步數等の研究	
	展覽會		ハンドボール		○ボールを持つて步かない ○亂暴しない ○チームの標識をはつきりする	
	夏季時間割		ダンス		○生活環境から取材した題材にて表現技術の研究（スポーツ，自然）	
	殘暑あり		マンシツ マンシツプ		○主としてその實例について話しをきゝ又話しあう ○そして實行にうつす	
	氣候よく		衞　生		○摩擦と衣服の衞生について	
	お彼岸					
	十五夜					
	氣候よくなる					

10	スポーツシーズン		跳び上り下り		○高さ約 30cm の跳箱を用う ○跳力をつよめ身體支配能力を高め敏捷性を養う		
	秋の農繁期		競走		○能力別組分けに依り專ら走力を養う ○走距離は150mとする		
	さつま掘		高跳び	12	○斜め又は正面とびをえらぶ ○110cm（男）100cm（女）をめざす		
	稻刈				○跳べる高さを反復練習する		
	麥蒔		スピードボール		○フライボールは手で操作しグランドボールは足で處理する		
			バレーボール		○12人組位にして行う ○トッスの練習を充分にする		
	運動會		ダンス		○作品創作の研究 荒城の月，旅愁		
	快晴續き絶好の運動日和である		運動衛生		○體育としての運動における衛生的方法の反省		
			衛生		○運動時の姿勢 ○體重，呼吸の測定		
			運動會		○100 m競走，障害競走，ダンスリレー，球技		
11	明治節		跳び越し		○高さ約120cmの跳箱を縦にして用う ○腕立跳び上がり下りを行う ○腕立て跳び越しをらくにできるようにする ○逐次ホームをととのえる		
	國民體育大會開かれる			12			
	村祭		サッカー		○基礎としての蹴り方の工夫練習 ○パスの機會と方向の研究		
	遠足		バレーボール		○サーヴの練習をする ○連動について工夫研究する		
	紅葉あり		ダンス		○生活感情から取材して創作研究 ・想い出，愁い		
	寒さ急速に加わる		國際競技		○オリンピック競技會，極東競技會國內大會等の切抜を集める ○その大要の話をきく		
	體力測定		衛生		○寄生虫病の豫防と手當について學び實行する	理科，農業	
			遠足				

12	多季時間割		跳び越し		○高さ約 80cm の跳箱を横にする ○腕立越上り下りを行う ○腕立開脚跳越しを行う ○らくに跳越せるようになつたらホームを考える		
	終業式						
	木枯し強くほこり立つ		バスケットボール	12	○準備としてダッチボールを行う ○あまり多く歩かず長く一人で待つていないこと位にして行う ○チームの標識を明らかにする		
	校庭は霜どけでぬかる		馬遊び		○數人づつくみ，跳び乘りをして遊ぶ		
	多休み		ダンス		○作品の鑑賞 ・專門の舞踊の鑑賞 ・鑑賞者の態度		
	多至		體育史		○日本體育史の概要を調べる，體重，脈搏の測定		
			精神衛生		○性格異常，精神病その他		
1	正月		轉回		○腕立前方轉回を行う ○マット上で倒立姿勢より前轉する ○助走の後高さ約 60cmの跳箱の上兩手をついて前へ轉回する		
	始業式		バスケットボール	9	○シート競爭を行い基本をつくる ○パス競爭を行い基本をねる ○ポートボルを準備的に行う		
	寒に入り		なわ跳び		○その場とびに各種の變化を工夫して見る ○長くとぶ競爭をする		
	厳寒となる		押し合い		○個人ですもうを行う ○團體として，圓外に押し出し引き出しを行う		
	寒休み		社會體育		○學校體育以外の體育の一つとして社會體育について研究する	社會	
			看護法		○簡單な內科，外科の看護法	社會	
2	節分		倒立		○交互に補助して倒立する ○補助の仕方を工夫する ○獨りで倒立して歩く		
	立春						
	紀元節		長距離走		○約2000mを走つてみる ○短距離走法とのちがいを研究する		
	晉業會			9	○女子は 1000mを走る		
	雪降り多し		雪遊び		○雪中の歩行，鬼事 ○雪投げ，雪あて ○スキー，スケートについて學ぶ		
	寒さまだ强し		ダンス		○創作發表會		
			家庭體育		○家庭體育の重要性を學ぶ		

			畢業の衛生		○疾病別疾患の傾向を調べる	
3	學藝會 初午 終了式 遠さやつと和らぐ 彼岸		年度末試合 體育的反省	9	○學級，班，紅白運學區等の對抗ゲームを行う ○種目は既習題材の中から適當に選ぶ ○全部の生徒の機會均等を考慮する ○體育的效果を反省する ・體格，體育，體質の向上の模樣 ・精神的方面への影響 ・衛生的生活の向上	

圖畫工作科學習指導年次計畫

立 案 の 要 旨

○子供の學習は季節と行事，子供自身の興味，生活の實態，各教材の目標などがうまく融合して始めて學習指導の效果があがる，さうした立場から各項目を圖工の特殊性によつて愼重に決定した。

○季節と行事は子供の學習意慾や興味の誘導に非常に大切なものであるから圖工の立場から特に重要な關連行事をあげた。

○季節と行事から子供の生活がどう進展し，どんな事に特別な關心をもつかどんな生活實態を展開するか子供の生活を素直にながめてその內容とした。

○中學校に於ては各教科の獨自性，各教科の目標が非常にはつきりとするので子供の生活からの出發より教科の目標からの出發が强いので子供の生活の項目を省いた。

○季節行事，子供の生活，圖工の目標からどんな學習素材によつて學習活動することが大切か，つまりどんな學習內容が生れるかをあらゆる點からながめて學習素材の項目にあげた，題目でなくどこまでも學習活動の內容から生れた一ツの素材であると考えた。

○學習活動は各單元のもつ目標を子供自身から達成するための自發的な活動と考えて，重要な生き生きとした實際活動を具體的に記した。

○單元は文部省試案の單元をとり，それに獨自の單元を少し考え，量的には試案に示された比率によつて決定した。

○學習目標は特に重要な點のみをあげて一般的な圖工の目標は出來る限り省略した。

○連絡注意は各教科と細部にわたつて再三打ち合せて系統的な縱と橫の關連をはかつた。

○考査の判定は大別された方法のみで細かい具體的な內容は省略した。

○行事とにらみあわせて時間的な增減を學習素材とは密接な關連をはかつた。

○一年間の細部にわたつて授業時數を綿密に計算して，それにもとづいて各學年共授業總時間數を考えた。

○寒，暑さを考えて單元の配當を愼重に決定した。

月	季節と行事	子どもの生活	學習素材	學習活動	目標及び單元との關係	連絡と注意	效果判定
4	始業式 入學式 櫻開く 花見 天長節 選擧		○繪の話 (2) ○工藝の話 (2) ○建築の話 (2)	○洋畫，日本畫の大要について話す ○繪の鑑賞の仕方，構圖色彩等について話す ○鑑賞用掛圖で鑑賞しながら話し合う ○繪のねうちについて ○工藝一般について ○日本工藝の內容について話す ○日本のこれからと工藝について ○貿易と工藝について ○益子燒きや日光土產竹細工について ○建築の歷史について ○建築物の種類について ○日本家屋洋風の特質 ○法隆寺，日光東照宮の建物 ○間取り，設計，庭園など	○美術常識の單元 ×繪畫の表し方構圖などの廣い常識を理解さす ×教養を高める ×常識を廣くする ×美術に對する關心を高める	○社會科 藝術と生活 ○家庭科	
5	護齒日 新憲法記念行事 遠足 端午の節旬 創立記念日 後援會總會 健康週間		○色彩の混合 (2) ○手と足の描寫 (2)	○減算混合 ○加算混合 ○混合實驗 ○自分の手友達の足などの鉛筆による精密，描寫 ○肉體感，質感軟らかさなどに特に注意して感じを出す ○握る手，開いた手，力の入つた手など自分でモデルを考えてかく ○鉛筆をしつかりと流揚につかつてかげなどをよく研究して	○色彩の單元 ×色彩感覺をねらせる ×混合に對する理解を深める ○寫生による描畫 ×精密描寫になれさせる ×寫生の態度を養う ×描寫力を正確にする ×人體の表現になれさせる	○理科	○色彩調査表による ○記述尺度表
6	時の記念日 入梅 保護者會總會 創立記念日 麥刈り 農繁期 田植 農休 夏至		○電氣スタンド (6) ○基本圖案（圖案法） (2) ○道具の手入れと修理法 (1) ○ガラス工作（自由作） (4)	○電氣スタンドの設計，製圖をする ○材料を考える桐，竹，金物などを中心として ○桐の枝は輕くてよいし竹は自由で面白い ○形，大きさは自由，丈夫で輕く ○笠もつくる一圖案，模樣 ○陳列まで考える ○圖案の基本として易しい圖案例を示す ○點線を中心として——圖案化—— ○四角，三角，圓などを中心として ○自然物の便化を中心として ○圖案の發展——應用—— ○實用化 ○自由なものをかいて見る ○鉋，鋸，のみ，小刀等の工具を中心として道具の手入れをする ○刀の大きくかけたのを修理する法 グラインダー，金砥，荒砥 ○研磨法——中砥，仕上げ砥 ○手入れ保存——油ひき ○鋸の齒のつけ方——ヤスリかけ ○空びんの切り方 いろいろの切り方を工夫する ○廢物になつた樣な窓ガラスのかけたのをガラス切りで切斷する技術 ○自分の好きなものを作る 鏡類，幻燈機，双眼鏡その他自由なもの	○目的きまりの單元 ×製作の意慾を高める ×工作技術を養う ×電氣に對する理解を深める ○圖案の單元 ×圖案の表現力をねらせる ×構成力を養う ×創造力を高める ×色彩の應用力をねらせる ○工具，備品の取扱い方 ×工具に對する關心を高める ×工具を大切にする習慣を養う ×保存，修理の方法を理解する ○材料ありの單元 ×工夫考案力をねる ×利用更生の力をねらせる ×ガラス工作技術になれさせる ×創造力をねる	○工業 電氣 ○家庭科 ○工業 ○理科	○記述尺度表 ○記述尺度法 記述尺度表 記述尺度表
7	七夕 土用		○靜物 (2)	○果物，野菜器物を組み合せた靜物の寫生	○寫生による描寫		一對比較法

				○構圖，モデルの組み方を自分で工夫する ○どんな構圖が安定で美しいか ○形，色彩を着實に	の單元 ×觀察力をねらせる ×描寫力を正確にする ×靜物の構圖表現になれさせる		
	一學期終了 夏休み		○表紙圖案(2)	○夏休みの友を中心とした表紙圖案をする ○表紙の考え方 ○繪と文字 ○美しい表紙の意味 ○意匠と技術，いろいろの表し方	○圖案の單元 ×表紙に對する理解と關心を高める ×構成力をねる ×創造力を高める ×色彩感覺をねる		一對比較法
9	二百十日 二學期開始 始業式		○夏休みの製作物について(1)	○夏休みの製作物についての反省と作品鑑賞 ○陳列の方法と見方 ○作品製作の苦心	○鑑賞の單元 ×鑑賞力を高める ×研究心をねる ×造作意慾をねる	○理科 工業	
			○風景寫生(1)	○初秋の風景寫生 ○水彩畫又は鉛筆畫としてはつきりとして行う ○季節と色彩の變化 ○遠近と構圖一濃い色．近い色	○寫生による描畫の單元 ×觀察力をねる ×描寫力を高める ×自然の愛好心をねる		順位決定法
	水泳大會 研究發表會 展覽會		○夏休みの研究發表會(2)	○夏休み中の研究發表會(學級で) ○工作品，科學的研究物 ○ラヂオ，電氣，創案品など ○話し合いと反省 ○これからのこと	○鑑賞 ×鑑賞力を高める ×發表力を高める ×研究心をねる	○全科 社會科	
	彼岸		○空罐の工作(2)	○空罐をうまく利用して工作品をつくる ○變形，展開を基にして	○材料ありの單元 ×考案力をねる	○理科 ○工業	記述尺度法
	十五夜			○實用品——水筒，灰皿など ○科學的模型——電車，自動車，トランス，モーター	×利用，更生の力をねる ×科學心を高める		
10	稻刈り		○繪具箱(4)	○木工を中心として自分の使う繪具箱をつくる ○蓋と箱と一つに作つて切斷して蓋をつくる ○中の仕切りをしてから金具をつける ○ニスで塗裝して仕上げる	○木，竹工の單元 ×創造力をねる ×木工技術力を高める ×意匠の力をねる ×考案力を高める	○工業 スケツチ箱	記述尺度法
	運動會		○學校備品の修理と手入れ(2)	○體操具，机，腰掛ケその他の學校備品を修理する ○修理の要領と技術に基本的なものを習う ○釘の打ち方材料の使い方 ○ハンダ付けの仕方	○工具備品の取扱いの單元 ×修理の技術をねる ×まめに働く態度を養う ×工具を大切にする習慣を養う	○工業	
11	明治節 蓋足		○秋の景色(2)	○秋の紅葉を中心とした風景寫生 ○校庭の樹木，田畑，山などを中心として自由に描寫する ○構圖と色彩に特に注意する ○遠近による色彩の變化 ○清色と濁色の使いわけ	○寫生の單元 ×觀察力をねる ×描寫力を高める ×秋の色彩を理解する		記述尺度法
	紅葉 お祭り		○配色研究(2)	○季節による配色の關係について ○配色練習 ○色彩の三屬性から ○應用——ポスター（防火）	○色彩の單元 ×色彩感覺をねる ×配色の力をねる ×構成力を養う		色彩調査表
			○形の組み合	○基本的な形を組み合せて新しい形を造る	○形體	○家庭科	記述尺度法

			せ (2)	○家具 建築その他の造形物を圖案する ○人工物の形の基本形を分解する	×人工物の形の基本を理解する ×工夫考案力をつける ×形體の關心を高める		
			○機械 (2)	○機械類の分解組み立をする ○構造を理解する ○機能を研究する	○機械の單元 ×分解組立の力をねる ×構造を理解する ×關心を高める	○理科 機械	問題解答
12	防火デー 音樂會 多至 二學期終了 多休み		○製圖 (4)	○用器畫を中心とする ○立體圖法の正投影の基本 ○點線面の基本問題 ○立體の投影 ○製圖提出	○製圖の單元 ×畫法を理解する ×製圖の正確な表現力をねる ×立體の投影を理解する		記述尺度法
			○多の支度 (2)	○男女の特性に應じて多必要な物品防寒具などを作る ○男 電氣保溫器，こたつ ○女 袋，手袋，足袋，など ○編物などを中心として	○目的きまりの單元 ×計畫性を養う ×注意力をねる ×利用更生力を高める ×工夫考案力をねる	○家庭科 ○社會科	記述尺度法
1	正月 三學期開始 寒入り		○衣裝の研究 (2)	○洋裁のデザイン ○服型の研究 ○衣服と配色 ○圖案提出	○色彩，圖案の單元 ×衣裝に關心をもたせる ×考案力，美化力を高める	○家庭科	記述尺度法
	春祭 大寒		○各種の表現	○材料別による各種の繪畫表現をさせる ○墨（毛筆）水彩，パツセル，油繪，コンテー，木炭など ○材料に適した樣なものをかゝせる ○參考畫をたくさん用意する	○美術常識 ×材料別による各種の表現を理解する ×美術に關する關心をもたせる		○一對比較法
			○家庭用品	○お勝手道具，日用品など各家庭で使用する物をつくる ○木工，金工なんでもよい ○丈夫で工夫されたもの ○設計，製圖，製作	○目的きまりの單元 ×工夫考案の力をつける ×實用品製作の意慾を高める ×設計力，技術力を養う	○家庭科	○記述尺度法
2	立春 豆まき 紀元節 雪の季節 初午		○自由作	○自分で使用の目的を考えて設計する ○材料を集める ○材料をうまく活用する工夫をする ○役に立つ物を製作する ○技術的に優れたものと着想を重んずる	○綜合，目的きまりの單元 ×工夫，考案の力をねらせる ×創造力を高める ×技術力を高める	○工業	○記述尺度法
			○電氣工作（自由作）	○電氣を應用した自由製作 ○ラヂオ，スタンド，トランス，モーター，コンロなど ○設計，製作する ○電氣の各種の知識と技術を研究する	○材料ありの單元 ×電氣に關する理解を高める ×電氣應用の製作意慾を養う ×工夫，考案力をねる	○工業 『二年の電氣に』發展する	○記述尺度法
			○多の寫生	○雪景色，その他多の寫生をする ○多の寒い感じ，冷い感じが出るようにする ○色彩の研究 ○白い雪の色をよく研究する ○水彩又は墨繪	○寫生による描畫の單元 ×寫生の興味を養う ×多の色彩の研究をする ×觀察力をねらせる		○一對比較法

3	桃の節句 父兄會 展覽會 學藝會 彼岸 三學期終了 終了式		○家庭用具（あみものなど） ○道具の手入れ	○家庭で普通に使うような物品の製作又はあみもの ○家庭用具の修理でもよい ○はんだづけ，柄のすげかえなどでもよい ○鉋丁，はさみ，小刀等日用品を中心として研磨 ○手入れ保存法 ○砥石の使い方 ○研磨の仕方 ○片刀，兩刀 ○刀物の機能について	○材料ありの單元 ×工夫考案力をねらせる ×創造力を高める ×利用，更生の力をねる ○工具，備品の取扱い方の單元 ×道具に對する愛好の精神を養う ×道具の取扱いになれさせる ×手入れの技術をねらせる	○家庭科 ○工業	○記述尺度法 ○記述尺度法

職業科農業學習指導年次計畫

立案の趣旨

○第1學年では職業科農業というよりも，むしろ一般教育としての農耕作業の意味を強く考え作物の栽培を中心に子供の興味を喚起するよう配慮したつもりである。

○必修總時限140時の配當については郷土，學校の特殊性からとりわけ野菜の栽培に 50 時限以上を次にさつまいもとじやがいも豆類と雜穀，稻作などを重視した。

更に學校の設備の實情から實驗實習出來るものには比較的多くの時限を配當した。

○農業の特殊性にかんがみて6月 10 日の農繁期にも特別に時限配當を減らさなかつた。

○題目については興味感や必要感を喚起するため問題式作業式のものを適當にくみいれた。

○學習活動は必ずしも學習順序を意味しない，適當に順序を變更すること，もとより當然である。

○他教科とは全般的に關連が深いのであるが特に社會科，理科と全面的に密接な關係をもつている。しかし全部書くわけにはいかないので特別なものだけ書きこんでおいた。

○取扱いとしては各論的な仕事の中に一般論的な知識技能をおりこむようにしてあるが實習の出來ないようなものではしごとからきりはなして學んだ方が都合がよい場合にはそのようにやるようくふうできるようしたいものである

月	季節と行事	題目	學習活動	單元	他教科との關連
4	○育成の月 ○始業式入學式 ○春	今までの農業とこれからの農業（1）	・郷土農業の歴史しらべ ・生産と生活について話しあう ・家畜，作物，農具の實狀とその變遷研究話しあい ・これからの農業について話しあい	1.私たちは何を學ぶか	國語（中學生になつて）
	○つばめくる	農業は他の産業や職業とどんな關係があ	・村に入る食糧出る食糧についてその季節量について話しあう	1.私たちは何を學ぶか	

4	○櫻の花咲く	るか (1)	• 農業と工業，商業との關係しらべと話しあい		
		作物の栽培とんなある氣候とはがな關係か (1)	• 氣象觀測法の話しあい • 雨量の繼續的觀測 • 統計の作り方しらべ • 村の氣象と農業との關係を研究する • 氣候についての傳說しらべ	2. 作物の栽培とかんがりにることなら知ればかけないならない	• 理科（鄉土の氣象）
		作物の栽培とんなある土とはがな關係か (4)	• 田畑の土の濕度濕度しらべ，空氣の量，土の働らきしらべ • 地下水位をしらべ作物との關係を話しあう • 土の性質とくわの形，用途の話しあい • くわの正しい使い方實習 • 作物と肥料三要素について話しあう • 鄉土で使う肥料の性質成分しらべ • 自給肥料と配給肥料はついての話しあい	2. 作物の栽培とかんがりにることなら知ればかけないならない	• 理科（水のはたらき） • 理科（土）
		作物を栽培する大なのにこと最もは切なか (1)	• 篤農家の熱心な話を聞く • 作物，家畜の手入れ世話や觀察力，判斷力の大切なことについて話しあう	2. 作物の栽培かんがりにることなら知ればかけないならない	• 理科（草木）
		今年の計畫は立どのようにてるか (1)	• 一年の農業の見透しについて話しあい各自計畫をたてる	2. 作物の栽培かんがりにることなら知ればかけないならない	
	○苗代をつくる	よい種もみえらび (2)	• 鄉土で作られている稻の品種について調べ話しあう • 縣ですゝめている品種をしらべる	4. 丈夫な苗（稻作その二）	理科（草木）
	○天長節		• まく品種を決定し消毒し浸し方，浸し時間の研究		
		苗代のたねまき (2)	• 苗代田えらび • 苗代田つくり，こやしやり • よい苗つくりの話しあい • まく量と面積についての話しあい • まく時期の研究とたねまき	4. 丈夫な苗（稻作その二）	理科（草木）

5	○活動の月	苗代の手入れ (2)	• 芽ぼしと虫とり • 芽ぼしの方法，わけについて話しあう • 苗代のくさとり • 害蟲の種類や害のようすをしらべる • 防除法しらべと實習	4. 丈夫な苗（稻作その二）	
	○新憲法實施記念日	おかぼまき (2)	• 品種まき時期たね浸しなど村のようすをしらべる • 畑をつくり，こやしをやりたねをまく • 水稻とおかぼの比較研究 • 鄉土の栽培のようすを話しあう	4. 丈夫な苗（稻作その二）	
	○こいのぼり				
	○青葉となる	夏の野菜の植えつけ (6)	• 野菜の必要性について話あい • 鄉土の夏の野菜しらべ • 他から入る野菜他に出す野菜について話しあう • 鄉土での植付け時期しらべ • なす，きうり，トマトかぼちやの畑作りそれぞれのこやしについて話あい施す • かぶ間とうね幅と品種との關係を研究する • 仕立方のちがいを研究する • かぼちやのくらつくり仕立方品種などを研究し雜種作りについて話しあう苗うえ • 根づきの吟味と話しあい	5. 夏の野菜（野菜の栽培その一）	家庭科（季節と生活） 理科（草木）
	○遠足				
	○創立記念日				
	○健康週間	ごぼう，にんじんのたねまき (1)	• 畑の準備こやしやり • たねえらび，たねまき • ごぼうにんじんについての話しあい	5. 夏の野菜（野菜の栽培その一）	同上
	○傳染病豫防	もろこしのたうもろこしともろこねまき (2)	• 鄉土における作付と用途しらべ • 品種試驗をやる • こやし，病蟲害について話しあい • 交配，雜種作り研究	6. 豆と雜穀	理科（草木）
		だいずまき (4)	• 鄉土の作付面積，品種用途についてしらべ話しあう • だいず作りの重要性についてしらべ話しあう • 品種えらび • 空地，畑周圍えのたね • 鄉土の間作，混作しらべと實習	6. 豆と雜穀	理科（草木）

			• だいずの根粒菌の觀察と研究 • だいずと窒素質肥料について話あう • 畑を耕す意味の再吟味と話あい • 豆科植物と綠肥について話しあい		
6	○蚕開の月 ○小運動會 ○田うえ ○時の記念日 ○入梅 ○夏至 ○麥刈り ○野菜の害蟲が現れはじめる	桃の袋かけと蟲防ぎ (2) 田うえ (5) (おかぼの手入れ) 野菜の追い肥と手入れ (2) トマトの仕立方 (1) 野菜の虫退治 (2)	• 桃の手入れについて話あう實習する • 病虫害防除の研究 • 袋かけの方法意味について話しあい實習する • 梅，柿の落果防止の方法しらべと話あい家庭實習 • 藥劑の調製實習 • 畑のうち起し • すき床や作り土の深さしらべ • すき床，作り土の意味働らきの研究話しあい • 乾土效果の實驗と繼續的觀察 • こやし施しと代かき實習と話あい • 用水設備しらべ • 田うえの計畫 • 植え方，本數，正常植えの長所，能率などしらべ實習する • 田うえの方法能率について吟味する • 田のいねの繼續的觀察と水まわりの當番つとめ • 郷土における追い肥の時期方法，回數についてしらべ話しあい實習する • なす，きうり，トマトかぼちやの追い肥 • くさとり，きうり支柱たて • トマト，なすの芽かきの意味方法について話あい實習する • 二本仕立て一本仕立ての特徴の實驗觀察 • かぼちやのしんのとめ方の實習と話しあい • トマトの花芽と枝芽との區別との話合い實習 • 虫の種類しらべ • 虫の生態觀察 • 退治方法の研究話しあい • 捕えて殺す	13. 果樹 7. 米の增產 (稻作その三) 5. 夏の野菜 (野菜の栽培その一) 同上 同上	

			• 藥劑，接觸劑のかけ方實習，ふんむきの取扱い • うりばいの幼虫の防ぎ方研究工夫する		
7	○手入れの月 ○七夕 ○公開研究會 ○雜草のはびこりはげしい ○作物の成長がいちじるしい ○土用	野菜の病氣豫防 (2) 土用あずきの種まき (1) 畑のくさとりと追い肥 (2) 田の手入れ (2) 穗肥 (1)	• トマト，きうり，なすの病氣の早期發見と原因しらべ • 防除法の研究 • ベト病，モザイク病の病狀と原因しらべ • ボルドー液の作り方と施し方の研究，實習 • 土地，氣候，季節作物の品種と病虫害の關係の研究とその發表話しあい • あずきの品種の性狀とたねまき時期の話しあい • 郷土のあずきの品種しらべ • 前後作の話しあい • うね幅，株間肥料の話しあい • たねまき • とうもろこし，もろこしの土よせ，くさとり，こやしやり • だいず土よせくさとり • おかぼくさとり，土よせこやしやり • 班別實習地全體のくさとり • 夏くさの種類特ちようしらべ • くさとりの用具方法能率の話しあい • なす，きうり，トマトの追い肥 • 田のくさとり • 郷土のくさとりの時期意味，回數，方法用具等をしらべ話しあいもつと能率をあげる工夫をする • 水かけの實習と話あい • めい虫，いもち病の發生に注意する • 天候と病虫害との關係をしらべる • 防除法の研究 • 穗肥の時期とその效果をしらべる • 郷土の穗肥のやり方をしらべる • 穗肥に使う肥料について話あい	5. 夏の野菜 (野菜の栽培その一) 6. 豆と雜穀 7. 米の增產 (稻作その三) 5. 夏の野菜 (やさいの種類その一) 6. 豆と雜穀 7. 米の增產 (稻作その三) 同上	理科 (郷土の氣象)

			• 穂肥やり（8月休中）		
		來年まく種はどんなにして取るか (1)	• よい種を得る工夫を研究考察する • 郷土の一代雑種の作り方をしらべる • 交配の目的と交配の方法について研究する，話しあい • なす，かぼちや，とうもろこしについて實驗する	5. 夏の野菜（野菜の栽培その一）	理科（草木）
	○終業式	菜やだいこんにはどんな種類があるか (1)	• 教科書をよむ • 郷土で作られている葉だいこんの品種，用途，播種期しらべ • だいこんの品種と作る時期との關係をしらべ話しあう	8. 葉とだいこん（野菜の栽培その三）	
		だいこんの種まき (1)	• みの早生だいこんのたねえらび • 夏休中のたねまきについて話しあう • 畑つくり，こやしやり • うねたて，たねまき	同上	
9	○作付けの月 管理の月	ねぎのたねまき (3)	• まき床作り • ねぎの作付面積と苗床面積とたねの量についてしらべ話しあう • 郷土のねぎ作の研究をする • ねぎの苗床えのこやしやり • 品種について吟味し話しあう • ひら床，かたか床か研究する • なねまき • ねぎの重要性と土地利用について簡單に話しあう	9. 秋まきの野菜（野菜の栽培その三）	
	○二百十日				
	○颱風の候で風水害が多い	菜，だいこんの間引き (2)	• 休中間引いた後をひきつづき間引きする • 菜の葉の形，色と結球の大小早晩との關係を觀察する • 何回目で一本にするか研究し話あう	8. 菜とだいこん（野菜の栽培その二）	
	○夏休み研究發表會	なす，かぼちや，とうもろこしのたねとり (1)	• どんなものがたねとしてよいか吟味してとりいれ乾燥する • たねの保存法について話あいよく乾燥し保存する	5. 夏の野菜（野菜の栽培その一）	
	○水泳大會	研究發表 (2)	• 夏休み中の研究發表會を開く	1. 私たちは何を學ぶか	

	○彼岸		• 發表　質疑應答話しあい • 批評		
		菜とだいこんの害蟲や病氣はどんなにして防ぐか (3)	• どんな蟲がつくかどんな病氣が出るか繼續的に觀察する • 郷土のようすをしらべる • 土質，品種，肥料，氣候，たねまき時期の病蟲害との關係を研究する • 夏の野菜の蟲と秋の野菜の蟲の運動の仕方，葉の食べ方の比較しらべ • 防除法の話しあい • 藥劑の調製研究 • 防除實習をする	8. 葉とだいこん（野菜の栽培その二）	
	○十五夜	追い肥 (1)	• 菜，だいこんの追い肥の種類，量，方法について話あい實習をする	同上	
		ほうれん草のたねまき (2)	• 郷土の土とほうれん草の栽培についてしらべ話しあう • 酸性の土とその由來，改良法について研究し話しあう • 他の作物と酸性の土との關係をしらべる，話しあう • 石灰施用と灰施用との比較實驗 • 長日性，短日性の作物の品種について實驗し繼續的に觀察する（3月頃から） • 秋まき種と春まき種とのちがいをしらべる	9. 秋まきの野菜（野菜の栽培その三）	
		畑のくさとり (2)	• もろこし畑，菜，だいこん畑のくさとり • かぼちや，なす，きうり畑の整理 • 春と夏と秋の草の時ちようをしらべる	8. 菜とだいこん（野菜の栽培その二）	
10	○收穫の月	私たちの田畑をはどんな麥を作つたらよいか (1)	• 麥の品種のえらび方 • 裏作と麥の品種について郷土のようすをしらべ話しあう • 後作と前作と品種との關係をしらべる • 土質，特に酸性の土，黒ボク土と品種との關係をしらべる • 郷土で作られている麥の品種系ですすめている品種をしらべ話しあ	11. 麥作	

			いまく品種を決定する			
○虫とり						
	麥の病氣はどんなにして防ぐか (1)		• 鄉土に出る麥の病氣の種類とその病狀，性質，原因しらべ • 病氣に強い品種について話しあう • 鄉土の豫防法の研究と話しあい • たねの消毒法と消毒藥劑についてしらべ實習する話しあう • ふんむきの取扱い練習	同　前		
○運動會						
	麥の秋料はどんなにしたらよいか (2)		• 麥の肥料作り • 麥の肥料の大切なわけをしらべる • 多越し作物の肥料を研究する • 肥料の配合について話しあい配合する • 自給肥料と配給肥料との配合研究	11. 麥　作		
○みのりの秋で穀物收穫の時期	麥まき (3)		• 麥畑の準備 • たねまき時期と氣候，品種との關係をしらべ話しあう • 裏作する田の有無を吟味する • たかうね，ひらうねの適否の話しあい • 鄉土のまき方をしらべる • かぶまき，すじまきの土質，氣候との關係を考察する • 鄉土のまき幅率をしらべて話しあう • 三要素の肥料試驗をやる • 後作との關係を考えてまく	同　前		
○稻刈り	稻刈り (2)		• 穗の數，もみの數をしらべ平年作と比べる • いねかり • 坪刈りと收穫豫想 • なまもみとほしあげたもみの重量比べ • 鄉土の稻の刈り方をしらべ能率をあげる工夫をする • 刈る時期と收量品質しらべ	10. 取り入れ（稻作その四）		
○十三夜	稻こき (3)		• 教科書をよむ • 稻扱き機械の掃除 • 構造と原理の研究 • 鄉土の稻扱き機械の歷史をしらべ種類，性能などを研究する	同　前		

			• 能率をあげる工夫を話しあう • あみすりの道具とその變遷についてしらべ話しあう • あみと玄米との割合しらべ			
		もろこし，だいず，あずきのとり入れ (3)	• もろこし，だいず，あずきのとりいれ • それぞれの脫穀の方法を話しあう • 乾燥，脫穀，實習 • 品種と收量しらべ • 用途の話しあい	6. 豆と雜穀		
○紅、葉						
11		麥踏み (2)	• 麥の手入の方法，時期しらべ	11. 麥　作		
			• 追い肥，中耕，土寄せ土入れ，麥ふみ，草とりなどの方法，目的，時期しらべ • 鄉土の麥ふみの方法，時期，回數しらべ • 土質，氣候と麥ふみとの關係について話しあう			
○調製の月		追い肥 (2)	• 麥の追い肥のやり方，やる肥料の性質と量についての話あい • うすい下肥をほどこす	11. 麥　作		
○一段と涼しく空氣さえ乾燥してくる		菜とだいこんの取入れ (4)	• 作がらの吟味反省 • ぬきとり • 收量と品質についての話あい • 貯藏するだいこんのぬきとりはあとまわしにする	8. 菜とだいこん（野菜の栽培その三）		
○明治節			• 白菜は漬物にする準備をする • だだいこんはたくあん漬にする • ほし方の工夫をする • だいこんの葉の利用くふう			
○部落のおまつり						
○霜		さつまいもの生の貯藏 (6)	• 鄉土の貯藏法しらべ • 貯藏の必要性についての話あい • 貯えられた所の溫度，濕度，品種といもの呼吸生活力との關係を繼續的に觀察研究する • 貯え方は班別に研究する • かび細菌のはびこる原因をしらべてみる • 收穫時期と天候との關係をしらべる • 定溫を保つのにどんな	12. 野菜の貯藏（野菜の栽培その四）	理科（たべもの） 家庭科（貯藏した食品）	

			工夫をしたらよいか研究する		
		稻作反省 (3)	• 學校の稻の栽培面積と收量との關係しらべ • 村の收量と平年作との比較 • 日本全國の收穫高しらべ • 學校の稻作の反省 • 今年の天候と品種栽培法との關係を考えてみる • 鄉土での豐作，凶作はどんな年に出來るかその理由をしらべてみる • 今後の研究點について考察する	10. とり入れ（稻作その四）	數學（主食の統計）
12	○反省整理の月 ○防火 ○音樂會 ○多至 ○終業式 ○クリスマス	生のまゝ貯えるにはどうしたらよいか (3)	• 貯える野菜のとり方をくふうし話しあう • 鄉土の貯え方をしらべ場所，溫度，濕度，深さについて考察し實驗してみる • にんじん，だいこん，ごぼうはくさいの貯えをする • 土のかぶせ方のしらべとくふうをする	12. 野菜の貯藏（野菜の栽培その四）	理科（たべもの） 家庭科（貯藏した食品）
		加工して貯えるにはどうしたらよいか (7)	• 加工して貯藏する法の研究 • 鄉土のやり方をしらべ原理をしらべる • だいこん，はくさいの澱物實習，その原理しらべ • 風味をよくする工夫の研究 • 防腐劑の種類と使い方のしらべと話しあい • だいこん，さつまいもの乾燥野菜つくり研究 • 溫度，濕度，時間の考察話しあい • 天日利用と火力利用による研究 • 新しい貯え方の研究 • さつまいもの飴つくり	同前	理科（たべもの） 家庭科（貯藏した食品）
		麥の手入れ (1)	• 麥踏み • 土いれ • 麥の生育觀察	11. 麥作	
		道具の手入れ (2)	• 道具の手入れ • 道具の整理 • 簡單な修理法の研究	2. 作物の栽培にとりかゝる前にどんなことを知らなければならないか	理科（きかい）

1	○計畫の月 ○元旦 ○寒入り ○始業式 ○おたりや ○大寒 ○多休み研究發表會	道具の手入れ (2)	• 前月に引きつゞき簡單な修理をする • 來年度の道具の準備をする	同前	理科（きかい）
		わが國の稻作 (5)	• 教科書を讀む • 參考書をしらべる，話しあう • 世界諸民族の食糧をしらべてみる • 米作地域の特質を研究する • わが國の稻作の特徵をしらべ話しあう • 氣候と稻作との關係しらべ • 栽培面積しらべ • 品種改良と栽培技術と收量についてしらべ話しあう • 外國の稻作と日本の稻作のちがい • わが國の稻作の傳わり方をしらべてみる • おかぼと水稻について話しあう	3. わが國の稻作（稻作その一）	理科（食べもの）
		麥の手入れ (3)	• 麥踏み，追い肥やり • 麥の生育觀察 • 土いれの用具方法について研究，工夫する • 麥作の重要性についてしらべ話あう	11. 麥作	
		研究發表 (2)	• 多休み中にまとめられた第2學期中の研究の發表會を開く • 發表，質疑應答 • 批評	1. 私達は何を學ぶか	
2	○準備の月 ○北風强く乾燥はげしい ○立春まめまき ○初午	どんな果樹を作つたらよいか (2)	• 果物の重要さについて教科書や參考書でしらべる • 果樹の栽培の歷史をしらべる（鄉土） • 果樹栽培と氣候土質との關係をしらべ話しあう	13. 果樹	
		どんな樹形に仕立てどこに實を結ぶようにしたらよいか (3)	• 今後どのような果樹を作つたらよいか研究する • 桃やなし，くり，かきについて樹形の仕立を實習する • 桃の剪定整枝さし杯狀に仕立てる • 果數と葉數との關係をしらべる • 花芽と葉芽の見分け方の觀察研究	同前	

			・不必要な枝の間引き			
○展覧會	果樹の手入れ (1)	・果樹の耕し方と肥料の施し方しらべ ・こやしやり ・病蟲害の研究，觀察と防除法しらべ ・手入れの仕方と手入の時期と收量との關係をしらべる	同前			
	苗床はなぜ必要か (1)	・鄉土の苗床の作り方しらべ ・鄉土の苗床で作られる苗にはどんなものがあるかしらべ話しあう ・露地まきと苗床まきの長短について話しあう	14. 苗床			
	温床はどんなにして作るか (4)	・苗床の必要性，作り方材料など鄉土の實情をしらべ材料を用意する ・保温の工夫を研究する ・電熱温床について研究する ・設計を圖にかいてみる ・氣候　氣温と材料についてしらべる ・まき床，移植床さつま床について作付面積と比較して苗床の面積をきめる ・ふみ込み材料の準備 ・床土の用意 ・ふみ込み ・床土の厚さ，ふみ込みの厚さと材料と床温との關係をしらべる ・床温の變化を毎日記錄する	同前			
○父兄會	さつまいもとじやがいも (4)	・教科書をよみさつまいもじやがいも栽培の歷史をしらべ話しあう ・他の穀物と面積當りの收穫物の發熱量を比べる ・含まれている養分の種類，分量，性質や貯藏，輸送，配給などに要する人件費や設備などについてしらべ話しあう ・いもの加工用途のしらべ ・じやしも，さつまいも，さといもの栽培上の性質のちがいを話しあう ・村の栽培面積と品種についてしらべ話しあう	15. さつまいもじやがいもさといも			
○公開研究會	一年の反省 (1)	・計畫と實際とについて話しあい反省し來年の計畫について話しあう	1. 私たちは何を學ぶか			

3	○蒔手の月	きうり，なすかぼちや，トマトのたねまき (2)	・鄉土で作つている品種しらべと話しあい ・畑の面積とまく量についてしらべる ・床温を繼續的にしらべる	14. 苗床		
	○ひなまつり		・床温が何度位の時にたねをまいたらよいか話しあいたねまきをする			
	○梅の花咲く	さつまいもの種いもふせ (3)	・鄉土で作られている品種しらべと緣ですゝめている品種しらべ ・いもふせ ・床温の高すぎる時，低すぎる時の調節について話しあい實習する ・いものきり方，伏せ方を話しあい實習する	15. さつまいもじやがいも		
	○學藝會	麥踏み (1)	・麥ふみ ・追い肥 ・土いれ，生育觀察 ・ほうれん草の實驗	11. 麥作		
		じやがいも作り (2)	・鄉土で作られている品種について話しあい ・氣候，土質，病蟲害との關係の話しあい ・まき時期と收量との關係を研究する ・たねいものきり方の話しあいと實習 ・たねの消毒法の研究 ・試作實驗（肥料とたねいも） ・肥料，うね幅，まき幅の話しあい ・地だねと高れい地からきたものと比べてまくつものとの比べ	15. さつまいもじやがいも		
	○終了式					
	○彼岸	さし木とつぎ木 (2)	・果樹のふやし方について話しあう ・さし木，株わけ，取木苗つぎ木などについて種類とそのやり方研究 ・つぎ木と臺木の良否の吟味と話しあい ・原理と技術についてよく身につける ・つぎ木さし木の實習（家庭學習に連絡）	13. 果樹	理科（草木）	

職業科工業學習指導年次計畫

立案の要旨

○中學校に於ては各教科の獨自性，教科目標が非常にはつきりとしているので單元の目標から學習素材が強く浮び出されるので，子供の生活を省略して學習內容を單元の目標に重點をおいた。

○指導が各教科の專門に移されるので季節と行事も特に重要な點をあげて學習活動との關連をはかつたがむりに連絡をつけようとしなかつた。

○夏季，冬季の特別目標をしない考えから一年間の授業を計算した。

○工業はまだ指導要領が出ていないのでわかつている範圍內で研究して簡單にその內容を記した。

○時間的な配當も獨自の考えで生徒の實情に應じて決定した。

○單元も大きく二つか三つになつているので學習素材は出來る限り土地の獨自性をあげた

○單元の順序も文部省案と必ずしも一致せず生徒の興味と實力に應じて順序を考えた。

○單元が非常に工作と近い密接な關連があるので工作の指導法と特に關連づけた。

○指導要領を見ていないので不安な點は省略した。

○工業は製作中心であるので一素材にたつぷりと時間をとつた。

○季節に應じて適合したやりよい單元を配當した。

○技術と知識とに指導內容がわかれるのであるが餘り內容を明示しないで簡略化した。

○工業の內容は今までとほとんどその內容を異にしているので他教科の關連を愼重にした。

○一年間を三十五週として時數を決定し實際に出來る各月の時數を行事によつて計算して配當した。

○工場見學，實習は出來る限り休日を利用しようと考えて餘り時間に配當しなかつた。

○製圖設計技術は各單元に何時でも行うように考えて特別な時間を餘り多くとらなかつた。

○各單元は文部省試案にもとづいて考えた，がその重點は獨自に考えて決定した。

月	季節と行事	子どもの生活	學習素材	學習活動	目標及び單元との關係	連絡と注意	效果判定
4	始業式		○工業とは何にか（どんな事を學ぶ）男（8）	○天然に產する物に物理的又は化學的變化をあたへて成品を作る技術と營利の仕事 ○工業の分類…製產工業，建造工業，電氣工業などに大別 ○工業と國家との關係を習う ○農村工業について研究する ○貿易と工業の振興について ○時局と工業について話し合う（經濟復興と工業）	○講話の單元 ×工業一般の理解を高める ×興味を喚起する ×研究心を高める	○二年の工業へ發展	問題解答
	入學式						
	櫻開く						
	花見						
	天長節		○製圖の描き方（12）	○製圖の實際を描いたり，讀圖したり，して習う ○第一角法，第三角法のあらわし方について ○線の引き方，鉛筆の使い方 ○線の種類と用法 ○製圖の順序 ○文字のかき方 ○寸法記入の方法 ○斷面圖示法，ハッチングのかき方 ○簡單な機械製圖を行う ○ボルト，ナット，工具，軸受接手などを中心として行う ○實測製圖も行う	○製圖の單元 ×製圖の基本的な技術力を高める ×各圖法の表し方について習う ×寸法記入について特に理解を深める ×日本標準規格について理解する	○圖畫工作『製圖』	記述尺度法
	遠足						
	創立記念日						
	後援會總會		○ちりとりの製作（8）	○ちりとりの製作を木工として行う ○設計，製圖，製作する ○ちりとりはどんな形が必要か改善の方法はないか	○○木工の單元 ×木工製作の興味をねらせる ×木工の基本的技術をねらせる	○工作『木工』	記述尺度法 問題解答
	健康週間						

月	季節と行事	子どもの生活	學習素材	學習活動	目標及び單元との關係	連絡と注意	效果判定
5	護齒日						
	新憲法記念行事						
	端午の節句						
	遠足						
	創立記念日						
	後援會總會						
	健康週間						

				○材料はどんなのが必要か丈夫な材料で手に入るもの ○自分で使う，ちりとりを考えて設計する ○材料をきちんと仕上げて組み立てる ○製品を反省して各方面から良否を檢討する	×材料についての研究態度をねらせる		
6	日 記念 の 時 梅 入 り 麥 刈 期 農 繁 植 田 休 農 至 夏		本立の製作 (8)	○本立の製作を木工として行う ○設計，製圖，製作 ○本立ての機能と形をよく研究する ○今までの本立てより合理的で美しい形と組み合せはないか ○本立，本箱どちらでもよい ○引出しをつけたり扉をつけたりする ○丈夫で經濟的な組み方みぞをほつて組む ○塗裝（ニス）して仕上げる ○各種のもようをほり又は切り抜く	○木工の單元 ×木工製作の興味をねらせる ×木工の基本的技術をねらせる ×意匠の考え方をねらせる	○工　作 『木工』	記述尺度法 問題解答
7	七 夕 く 土 用 終 業 式		○スケツチ箱の製作 (12)	○自分で使うスケツチ箱を製作する ○設計，製圖，製作 ○スケツチ箱の用途から形を機能的に考える ○溝をほつて組み手をつくつて組み立てる ○底と蓋を打ちつけて切斷する ○中の仕切りを筆，パレット其の他の用品の大きさに應じてつける ○蓋の開閉を考えて金具をつける	○木工の單元 ×木工製作の技術と知識をねらせる ×蓋付の箱製作の仕方を研究する ×意匠の考え方をねらせる ×工作圖の書き方をねらせる	○工　作 『スケツチ箱』と同一に	○記述尺度法 問題解答

	夏休み			○皮などで手に提げられるように造つたりひもで肩から背負えるようにつくる ○ニスで仕上げる ○各方面から良否を檢討して製品を反省する．			
9	二百十日 二學期開始 始業式		○夏休みの發表 (2)	○夏休みの工業に關する研究物や研究を發表し合う ○作品や研究物を展示したり話し合つたりし，互に研究し合う ○批評會を行う	○研究の單元 ×研究心を高める ×工業に關する關心を高める ×發表力をねらせる	○研究發表會と同一に ○全科目	○研究發表の內容檢討
	水泳大會 研究發表會		○額緣の製作 (8)	○額緣の設計，製圖を行う ○自分の設計にもとづいて製作する ○水彩の繪を入れる様なものか，油繪のようなものか，その他寫眞用などと用途に應じて自分の作る額の大きさ緣の幅厚さをきめる ○角の組み方は四十五度斜面で組む ○釘を斜に打つて後から板で四すみをとめて丈夫にする ○緣のもようも浮彫りかほり込みか石膏や紙などで固めてつくるか材料や用途に應じて考える ○べにがら，金粉，エナメルの塗料で仕上げるかぼしたりする	○木工の單元 ×木工の基本的技術をねらせる ×製作の興味を高める ×意匠の考え方をねらせる ×わくの留め方，組み立を習う	○工　作	○記述尺度法 問題解答
	彼岸 十五夜		○腰掛けの製作 (16)	○學校で使うような腰掛けや自分の家でつかうような腰掛けを各自由に作る	○木工の單元 ×角柱の製作技術みぞのほり方な	○工　作	○記述尺度法 問題解答

				○設計，製圖，製作 ○どんな機能をもつているか身體と目的によつて何にか特に改善するところはないか考える ○丈夫で安定して使いよい腰掛けよい形と大きさを研究する ○構造について……どんな組み方が最もよいか材料はどんなものか ○溝のほり方はどうするか ○組み立てはどんな順序か ○製品を反省して良否を檢討する	どの技術をねらせる ×木材に對する研究心をねらせる ×意匠の考え方をねらぜる		
10	稻刈り		○洋服かけの製作 (4)	○竹製による洋服かけの製作 ○眞竹，篠竹どちらでもよい ○眞竹の場合は割つて使用する ○洋服や着物の大きさを考えて設計する ○どんな形で，どんな構造が一番便利か ○わら灰や蒸氣で（又は湯）曲げる ○よく磨いてからひもをつける ○染料で着色して仕上げる ○竹の性質，害防，曲げ方，染色などを特に研究する	○竹工の單元 ×竹材に對する研究心をねらせる ×竹材に對する知識をねらせる ×竹工の基本的技術をねらせる ×意匠の考え方をねらせる	○工　作	○記述尺度法 問題解答
11	明治節 遠足 紅葉		○筆巻き (8)	○竹を細かく割つて編み筆巻きをつくる ○竹はどんな風に割つたら細かく割れるだらう（研究） ○割つたのを紙ヤスリで磨いて一本づつていねいに細い棒をつくる ○丈夫なひもで編む	○竹工の單元 ×竹材に對する研究心をねらせる ×竹材の剝方，削り方の基本的技術をねらせる ×糸で編む技術をねる	○工　作	○記述尺度法 問題解答
	お祭り		○かご (16)	○どんな編み方があるか ○巻いて抱むのにはどんな條件が必要か ○編む時に四角な板で編むに必要な機械をつくる ○編んだら染料で着色する	×竹材染色の力を高める		
12	防火デー 音樂會 多至 二學期終業式 冬休み		○工具の手入れ (2)	○竹を細かく割つて自分のすきなかごを編む ○竹の剝方を研究する（基本）幅や彈力を統一する ○皮の部と肉の部とを適宜混用する ○六ツ目かごの編方はどうすればよいか方法と技術を研究する ○丸編（放射形）の編方はどうすればよいか，細く長く剝ぐこと ○四ツ目編の編方はどうすればよいか市松形に竹を組み合せる内外に添竹する ○その他いろいろと混用してやつて見る ○竹の性質を利用して各種の編方を工夫，研究して新しいものをつくる	○竹工の單元 ×竹材に對する研究心を高める ×竹材の剝方の基本的技術をねらせる ×かごの編み方について基本技術をねらせる ×創作力をねる	○工　作	○記述尺度法 問題解答
				○工具の手入れ保存をして今後に備へる ○工具の中で特に鉋，鋸，なたのみなどは大切なものでこわれ易いから念を入れる ○どんな風に工具はふつう保たれればよいか ○研磨法と保存法 ○道具はどう取扱うことが必要か	○木竹工の單元 ×工具に對する取り扱いの態度をねらせる ×工具の手入れ法保存法を研究する ×工具に對する關心をねらせる	○工　作 『工具の手入れ』と同一に	○問題解答

1.	正月 三學期始業 寒入り 春渡祭 大寒		○テーブルの製作 (20)	○テーブルを共同して作る ○設計，製圖，製作 ○木工製圖の仕方について ○テーブルの機能と形の研究をする ○事務用テーブル，學習用テーブル，等用途によつて形や機能をよく研究する ○大きさ，高さなどよく使用目的と人體の大きさに合せて ○上面が反らないようにするにはどんな工夫が必要か ○組み方脚のつけ方，引き出しのつけ方などよく研究する ○組み手は全部蟻をほつて接合する ○釘は全部うめ釘にする ○ラックニスで仕上げる ○製品を反省して良否を檢討する	○木工の單元 ×木材に對ずる知識を高める ×木材に對する研究心を高める ×共同心を高める ×木工製品の力をねらせる ×みぞのほり方，引出しのつけ方などの木工技術力をねらせる ×意匠の考え方をねらせる ×塗裝の仕方を研究する	○工　作 『椅子』	○記述尺度法 ○問題解答
2	立春 冱まき 紀元節 初午		○染色 (6)	○染色一般について實習しながら研究する ○染法の種類について 浸染，引染，摺込染，描染，注込染墨流染などについて ○染料について——天然，人造染料 ○絞染について特に實習して研究する イ．鹿の子絞り，竹輪絞り，疋田絞り，捲上絞り，平縫絞り，板締絞り，共絞り，拔染絞り，部分染絞り，色替り絞りなど絞染について自由に實習する ○どんな方法がよいか比較して見る	○染色の單元 ×染色に對する興味と研究心を高める ×染色のしぼり染め技術をねらせる ×染料に對する知識を高める ×意匠の考え方をねらせる	○工　業 『三年』に發展する ○工　作 ○理　科 『織物の研究』	○問題解答
			○自由なもの (6)	○今まで習つた木，竹工を中心として自由にすきなものをつくる ○有用なもの ○材料をよく研究して ○どんな作品がよいか研究する	○木竹工の單元 ×製作の意慾を高める ×創作力をねらせる ×意匠の考え方をねらせる	○工　作 ○理　科 ○自由研究	○記述尺度法
3	句會 節會 桃の 學藝會 展覽會 父兄會 彼岸 式 修了		工業講話 (4)	○工業について實習出來ないようなものについて大切なことを話す ○材料學——工業用材料としてどんなものがよいか ○木材はどんな價値があるか ○金屬材料と比較してどうか ○加工の方法にどんなのがあるか ○木工品に於ける 意匠の考え方 製作の注意 組み立ての注意 加工上の注意	○講話の單元 ×研究心を高める ×工業材料に對する理解を高める ×工業に對する關心をもたせる	○工　作 ○理　科	○問題解答

職業科家庭學習指導年次計畫

立案の主旨

○中學校における家庭科は職業科の中から生徒の希望によつて選擇したものであり，大部分の女子が選擇したものと考えて立案した。どこまでも家事裁縫の合科でなく，新しく家庭建設する能力を養うために生れたのである，各學年の流れを考えてみると

1 年は健康にして，手まわしのよい家庭の整理，計畫的の家庭生活を中心としている。

2 年は季節と家庭生活が中心となる。

3 年は生活の改善が中心となる。

地方に應じて生徒の生活環境が異つているから作業單元學習活動はみずから異つて來るものである。

○教科書の用い方は從來の教科とちがい問題を發見する手引きとし，問題解決の手引として用いるのである，又教科書は學習張ともなり問題集ともなつているので，常に持つていてよい參考書となすべきである，計畫の中に關連事項の教一とあるのは教科書との關連を示したものである。

○效果判定の方法は技術的進歩と態度の進歩の狀況をみるのであるから繼續的な觀察の方法が必要である，季節的月毎などにしてみていくこともよいと思う，家庭科學習のうち效果判定は最も重要な問題ではないかと思う。

○中學校男子に課す家庭科は今年だけであると思うが，家庭生活を理解させる程度であるから女子と同じ要求をする必要はない，この場合男女共になすのもよいが男女別口にやつてもさしつかえない。

○時間數は1週4時間として，年次計畫を立案した。

計畫は計畫であるから學習しながら反省し實質のともなつたものにだんだん作り上げることが必要であると思う。

月	生活環境	作業單元（時間）	學習活動	目標と單元（文）との關係	效果判定の方法	關連事項
4	○中學に進級した喜びにみちみちている時である		○「たのしい家」という文について話し合う ・よい家庭とはどんな家庭か ・家庭のたのしみは何か ・家庭的に苦心された二宮先生の話 ・これからの私の家での態度をどうしたらよいか	單一 ○家庭生活にて自分の役割りを理解		體育（住居と衛生） 圖工（文化國家と藝術） 國語（中學生になつて） 社會科（三學年）（我々の家庭生活はどうなれば よい生活となるか） 教第一課
	○生活環境も改まり新しい第一歩がふみだされる	明るい家庭生活（12）	○家庭に於ける一ヶ年の行事を調べてみる ・季節と行事 ・行事の話 ・行事と獻立の關係について	○幸禮な家庭生活を理解する	○家庭に對する協力の面を今後繼續的に日記につけさせてみる	
	○自治會の活動も自主的となつてくる		○日本の家庭生活について反省する ・家族制度の話 ・農家の家庭の他の家庭とのちがい ・よい家庭生活をするには	○個人家庭の努力は國に貢獻することの理解		
	○氣候がよくなると共に家庭の仕事も增して來る		……○……			
5	○農家では苗代をつくり田植えの準備にいそがしい		○家族の健康法を話し合う ・健康體とはどんな體か どうしたら健康でいられるか ・家で特別の健康法をしていたならその話し合い	單四C ○自他の健康狀態によく氣がつくようにする	○友だちの間で病氣を早く發見し得るところをみる	體育 夏の傳染病 急救處置 急性傳染病 理科 水のはたらき 飲料水
	○季節的によくなつてきてスポーツが盛んになる遠足，運動會が行われる	病氣の豫防（12）	○普通の病氣について ・どんな病氣があるかしらべる 消化器系のもの 呼吸器系のもの 其の他	○日常的な衛生知識を實行する		教十を參考

	○入梅が近づきいやな氣候がつゞく，病氣の豫防が大切である		○傳染病と寄生蟲病について ・傳染病の種類 ・寄生蟲の種類と驅除法 ○消毒法の研究	○消毒法を知つて實行にうつす	○自分の健康にどのように氣を付けているかをみる ○よごれている所の消毒の實習狀態をみる	
			……○……			
6	○衣がえの時である ○梅雨期に入る ○保健衛生上の注意の肝要な時節となる ○田植えが盛んとなる ○入梅は明けて相當の暑さをおぼえる ○衣類整理，特に冬のものの整理に家庭はいそがしい	夏の着物 (12)	○夏の着物の特徴について話し合う ・布 ・色と模様 ・形 ○夏の服裝について ・長着，和服について ・洋服類について話し合う ○ワンピースの製作 ・形の研究，服飾について ・製作 ・型と布のたち方 ・ミシンの用い方 ・飾のつけ方 ・仕上げ ・きつけ方	單二C ○夏の衣類についての理解 ○活潑な生活活動に適する衣の構成を理解する ○自分のからだに似合うものを理解する ○裁縫技術の進歩	○夏の衣類についての理解の程度をみる ○仕上り品についての記述尺度法による考査	國語（涼み臺） 圖工（配色……10月 服飾圖案…12月） 理科（着物） 工業 三を參考
7	○春のとり入れで農家ではいそがしい ○土用に入る ○野菜類が相當出まわる	衣類の手入れ (10)	○衣類の手入れ ・手入れの方法 ・研　究 ○足袋，くつ下の手入れ ・工夫してつくる ・手入れの實習 ○虫干しについて	單四 B ○衣類の手入れ保存についての理解 ○目立たないめんどうな仕事をやる習慣をつくる	○毎日の服裝を繼續的にみることによつて考査	理科（着物） ㈣四を參考

			・時期と方法 ・衣類の害虫について	○虫干しの要領を理解する		
			……○……			
9	○一年を通して一番野菜の豊富な月である，みのりの秋である ○暑さがたんだん少くなりすみよくなる	榮養と調理 (28)	○日常の保健に食物の重要な意味を研究し話し合う ・健康と食物 ・榮養素についての研究 ○消化と吸收の條件 ・榮養素の分解と養分について ・消化する順序と消化液について	單三A ○榮養に關する知識を一層確實にする	○榮養に關する知識を記錄法にて考査	理科（からだ） ㈥六を參考 理科 食べものの貯藏 體育（衣服の衞生）
10	○夏休後不規則な生活になれやすい ○彼岸がある ○稻刈りが始る ○秋の衣替えの時 ○天高く馬肥ゆるの候であるスポーツのもつともさかんなときである		○食品のえらび方 ・野菜のえらび方 ・果實について ・魚類について ・肉類について ○調理の研究 ・汁もの，につけ ・むしもの，御飯のたき方 ○調理の反省と榮養分析 ・調理手順はどうであつたか ・調理法はうまく行つたかどうか ・榮養分析をしてみる ・分析の結果どんなであつたか反省してみる	○調理手順を科學的にする 單三 B ○簡單な基礎的調理手法を研究する ○材料として使用する榮養價の理解	○調理手法の考査 ○記述尺度法にて實習態度を考査	農業（葉，大根 ㈦七を參考
			……○……			
11	○寒のまきつけでいそがしい頃である		○健康と防疫の問題から幼い成長をたすける方法の研究 ○幼い兒の特徴を話し合う	單五 ○幼兒の早期指導の大切なわけの		敎二を參考

	○寒さを覺え始めて火がこいしくなる ○冬の支度にとりかゝる	幼い兒の世話 (16)	・身體的にみて ・精神的にみて ・あやし方 ・お話しの仕方 ・玩具について ○幼い兒のあそびの調査 ・乳兒について ・幼兒について ○幼い兒の食べ物について ・お八つにどんな種類があるか ・獻立を作つて實習する ・獻立の反省をする ○幼い兒の衣類についての話し合い ・足袋，帽子の作り方 ・衣類の研究 ○子守りについての注意事項	理解 ○幼兒を正正しく愛する態度 ○幼兒のお八つを作る技術を習得する ○幼兒の衣類の世話の出來るようにする ○姉として弟妹をみる態度を養う	○幼兒の特徴についてその扱い方を組合せ法にて考査する ○幼兒，下級生をみる態度を組織的にみる ○作品について記述尺度法による考査	社會科（二年）
12	○火の用心がさかばれる頃である ○年末でいろいろの災害のおこりやすい時である ○家の中は相當いそがしい時である	災害の豫防 (12)	○災害の種類について話し合う ・火事　・地震　・地くづれ ・盜難　・雷　・其の他 ○火事についての話し合い ・季節的な統計 ・火事の原因の調査 ・火事の豫防 ・經驗ある人の話をきく ○盜難の豫防 ・最近新聞に出ているようすを話し合う	單二 B ○平素の注意が非常に大切なことを理解する ○地方に於ける災害豫防について理解させる	○災害豫防についての理解を記述法によつて考査する	㊈九を參考 圖工（冬の支度） 理科（家庭燃料防火） 農業（農業工作） 社會科（二年）

			・年末の犯罪について ○其の他の災害と豫防について話し合う			農（炭やき）
1	○正月で心がうきうきしておちつかない ○小遣いをいただいてあそんでいる ○一家團樂の日がある ○一年の計畫をたてるにもつともよいときである	節約と貯金 (12)	○お正月の小遣について話し合う ・いくらいただいたか ・どのようにして遣つたか ・遣つたようすを圖に畫いてみる ○家庭生活の失調を防ぐための私たちの心がまえ ・節約の要領 ・貯金の方法と種類 ・銀行と郵便局 ・小遣い帳のつけ方 ○これからの私たちの家庭生活の協力するところについて話し合う	單二 A ○節約の習慣を養う ○貯金の增すことに興味をもたせる ○記帳の形式の理解	○家庭に於いて又日常の金錢の用い方をみる	社會科 ㊈十二を參考
2	○寒さのもつともはげしいときである ○食糧のたりない時で乾燥野菜をたべるときである ○立春，節分がある	貯藏した食品 (16)	○不自由の食糧事情をどうして防ぐか ・現在の配給量を調べる ・現在の配給量と標準の榮養との關係 ・不足分は何かどうして補つていくか ・月每の配給を圖表に現してみる ○秋農業で貯藏した野菜箱を出して研究してみる ・腐敗していないかどうか ・腐敗していたならどんなところか原因を考えてみる	單四 A ○食物の敗腐を防ぐ方法の理解 ○貯藏食品の調理法の習得	○食物の少い時の料理法等理解の程度をみる	圖工（家庭用具の作成） 理科（食物の中で大切なものは） 農業 ○（野菜のたくわえ方）10月 ○何故芋類の作付は大切か ㊈八を參考

			・調理法を研究して元と同じに食べられるかみる ・榮養素が破かいされていないか ・反　省 ○野菜物の少い時と健康との關係 ……○……			
3	○氣候も大分あたたかくなる ○ひなまつりがある ○農閑期である ○一年間の學習も終る	救急法と藥品(8)	○急病の手當法を學ぶ ・けがの場合 骨折，打撲傷，裂傷等 ・止血法，ほうたい法 ○家庭藥品の調査 ・必要な藥品 ・藥品の見分け方 ・藥品の保存 ・藥品の取扱い方	單四C ○日常的な衛生知識を作る ○器具の取扱い方を習得する	○器具の取扱い方について記述尺度法による考査 ○常備藥品についての知識を組合せして考査	體育（けがの豫防） ●十一を參考 體育（國土衛生）（家庭體育）

中學二年

國語科學習指導年次計畫

立案の趣旨

○國語科學習指導要領は，九月末に刊行されることになつているが，一部に傳えられたような文學樣式にならつた單元による學習區分は指定されないはずである。同指導要領で示されるものは一般編をおしひろめて，現代語の意義とその正しいつかみ方を主眼としたものと思われる。つまり，現代語の理解力と現代語による表現力を養成するのが目標であることには變りがない。

○教科書の目次に示された題目の一つ一つが單元だと考えることもできるし，類似のもの，比較できるもの，互に關連のあるものなどをまとめて單元とするのもよく，これらは學習するものの側の考えにまかされていると見てもよかろう。

○學習時間や學習要項は一つの試案であるから，教師の考えによつて自由に按配できるもので決して拘束されるものではない。

○漢文編の學習は一番問題が多いと思うが，反點訓讀を全面的に排撃したわけではなく，徐々に適當に慣れて行くことがよいのではないかと考えられる。

月	季節と行事	生徒の生活	題目	時	學習要項	備考
中等國語二（1）第一學期分 通常の年にはこの教科書は作文とともに毎週3時間　他に漢文毎週1時間 文法毎週1時間ずつ學習の豫定						
	春　みそ さざい さくら 麥		早春	2	○技巧の多い現代詩（自由詩） ○自由に連想を働かせ，意味をさぐり情景を思い浮べる ○自然物への話しかけ　間接的な云い表わし象徴的な表現の面白さを理解する	
		生徒の學友會文藝部のしごと	やさしいことばで	3	○讀みの後　內容の理解とその發展に努める ○はなしことばの効用　相互理解國際語のことなど	

					○言文一致，ラジオの言葉など ○現代語の目標，理想 ○このような態度で作文を書く		
			短歌と俳句		○和歌俳句は國民の文化遺産の一つで感情を表わすよい形式(韻文)であり昔から廣く行われたものだからこれを學ぶことは國語の理解力と表現力を養うのに役立つ	連絡社會科	
遠足	散歩，旅行		歌ごころ	3	○「寫生」「氣をかえる」「調子」の研究 ○作文短歌の試作		
		秋，夏の風物の想起	俳句への道	3	○「季節」「叙法」「調べ」の研究 ○作文　俳句の試作	文部省審査濟教育映畫「秋」「夏」16ミリ參考	
			文章について	3	○谷崎潤一郎の文章論 ○作文では更用的と藝術的の一致すること（現代語の考察） ○散文論は色々な生きた問題を含んでいるがここでは糸口を求める程度でよかろう ○散文で作文を書く		
		明治の事物の話を聞く	わがはいはねこである	4	○漱石の名著，冒頭よりかなり長文を取つたもの ○擬人法の小說だが隨筆的獨白の色彩がつよい ○教養のある人の考えや眼のつけどころの高い點を見て今尚多くの人々から愛讀されていることを知る ○この文の面白さはどこにあるかをしらべる		
		源平時代の風俗畫や繪卷物を見たい	一門の花	4	○平家物語の由來やどんな文學かをしらべる ○歷史的なづかい，當用漢字の使用に注意する ○この二つの話はいつどこでどういう場合の話か，人物間の關係を知る ○語句　語法にとらわれず大意がつかめて語り物の文の調子やあわれが感ぜられればよい		
	むばがつつひたかりきら 初夏 日光 ます		舞へまへかたつむり	2	○昔の童謠風の自由詩から現代の口語による自由詩までの變遷の見本		
		理研映畫「姫鏡」を見たいが，不可能ならば	カバチニツポ	5	○映畫のシナリオ，新しい教材これを基本にして映畫をつくるものだから實用的用途のつよいもの ○よく眼をはたらかせよく		

					映畫にを鑑賞の機會のとみる		頭でよく讀むながら十五年に及ぶ物語に第一目次の人物が登場なる變化をはたらかせよくはたらりべる ○前後か寄かを耳まとめ二年浮 ○登場人物の顏の變化が鮮かに必ず見えることが振りまつ身構情表つ ○物語背景なこのるむ ○映畫にと對れをる音を見ることを背景にしたら會話すのかの ○天山が色の見えることも知る
							中等國語二（2）未刊　第二學期分 中等國語二（3）未刊　第三學期分 中等國語二（4）漢文　月末配本 本年は例外でこの教科書は 10 月より每週 2 時間ずつ學習の豫定
春			北船北馬 詩五首 李白と杜甫 小話四題 神話と傳說 詩五首 桃花源の記 たゆまざる努力				連絡社會科
			秋風五丈原 孔子と子路 孔子とそのことば				

			○以上は國語の範圍又國語の延長として學習する ○歷史的に見て既に國民の教養となつている支那古典，漢文，思想，文化を取りあげる ○先ず國文でかかげ地名人名などの解說をなし最後に原文を示す　句讀點反點は記してあるが送りがなは付してない ○當用漢字はそのまま採用してある ○內容より親しんで學習してはいり漢文獨特の反點訓讀はいそがない
	中等文法國語		○新讀本との連絡なく獨立して編集された少し古い型の教科書であるから取扱いに苦心と注意を要する ○生徒の言語意識を明らかにし學習の興味をわかせるために，中等國語三(1)の「身振り語と言語」をしらべるのも一方法であろう ○新かなづかいと連絡して動詞形容詞の活用に注意する たとえば動詞の活用では未然形が二行にあらわれる，いわゆる，五段活用ではなく四段活用にしてあるところに注意する 又ある動詞はワ行とア行の二行にまたがつて活用する 又形容詞の連用形の語尾が音便でかわるだけでなく語幹にも變化を起すなどの點が從來の文法書と異なつている

國語	動詞の活用	第一學期
	形容詞の活用	第二學期
	助動詞の接續と活用	
	助詞の種類と用法	第三學期

社會科學習指導年次計畫

計畫の特色

(1) 基本的な特質

○中學校の計畫は，小學校の場合とよほど趣きを異とする。先づ生徒は，自然的な季節行事の影響も受けるがそれよりも時々刻々と生起する社會的な問題などの關心が增大して來る。したがつて生徒の生きた興味や欲求の中心は，豫測することが非常に困難となる。その上さうした生徒と教師との話合いが，學習の單元や學習活動が決められて行くとすると，指導計畫は非常な幅を持つたものでないと實際に利用されないことになろう。

○なお，第二に考えられることは，中學校社會科の教材の面からであるが小學校のそれにくらべて，學習內容は，相當にいわゆる知的な，すすんだものとなつている。したがつてあまり細かに斷ち切られて行くことは好ましくないこととなろう。

○そこで指導計畫は，生徒と教材のこのような實情の上に立つて當然大幅の機動性に富んだものが生まれて來ることになる。

(2) この計畫の要項について

(A) 單元の配當は，上のような趣旨から一應は七學年九學年の三箇年間にわたることも考えられるが實際問題として一年間を一期間として，その中に七學年分，八學年分，九學年分というようにしてあてはめることとしたしたがつて一年間の中に，どの單元が，どこで行われても差支えないわけである。

(B) 表の單元の欄には，學習指導要領の單元名のほかに，參考單元名と豫定時間とをあげた，教材の配列では，主題を學習豫定の順序に從つてあげ學習活動の例では豫定された代表的なものを出來るだけ敷少なく記すこととした。備考では，關係單元や關係教科と一應考えられる季節的，生活的な單元實施の時期などを參考までにあげてみたが，ここには，なお，將來調査された，學校や家庭，鄉土の學習參考となるような施設や備品，圖書などが記入されることがのぞましいと思われる。

(C) 更にこれが試案であるということやこれからの教育のあり方としての立場から反省欄がもうけられた。たえず案が更新されるようにされてほしいものである。

單元(時間)	教材の排列	學習活動の例	備考
單元一(20) 世界の農牧生産はどのように行われているか ○世界の食糧や衣料の生産はどのように行われているか	(一) 結社の自然環境と農業及び牧畜生活 (二) 世界の地勢環境と農牧生活 (三) 世界の氣候 環境の狀態 (四) 世界の開拓史と食糧の大供給地の移り變わり (五) 世界の諸大陸の農牧業 (六) 極地方は現在どの程度まで人類の活動を許しているか	(二) (四) (一三)(一四) (一八)(一九)(二一)(二二) (二六)(三二)(三五)(四二) (四五)(五〇)(五一)(五三) (五七)(五八)(六〇)(六一)	○連絡 七學年單元一,四,五,數學 理科 ○一應考へられる實施の時期 4.5 月頃
單元二(28) 天然資源を最有利に利用するにはどうすればよいか ○世界の天然資源はどのように利用されているか	(一) 緣土の天然資源とその利用 (二) 世界の鑛產資源 (三) 水力資源の利用 (四) 世界の林產資源 (五) 土じょう資源の大切なわけ (六) 水產資源の開發 (七) 自然美の利 (八) 天然資源保有についての協力	(四) (八) (一三)(一四) (一六)(一九)(二三)(二四) (二五)(三四)(四〇)(四二) (四九)(五二)(五五)(六一) (六五)(六八)(七一)(八五) (九〇)(九三)	○七學年單元四,五 理科 農業 ○5.6.7.月頃おこなう
單元三(28) 近代工業はどのように發展しやんなな影響を與えて來たか	(一) 近代工業の發展につれてわれわれの日常生活はどんなに豊かになつているか (二) 工業發展はどんな狀況のもとに行われているか (三) 世界の大工業地帶の工業 (四) 世界の工業の發展史 (五) 產業革命の社會組織に與える影響 (六) 近代工業の發展による悪い影響とこれを除く方法	(一) (三) (九) (一〇) (一二)(一六)(一九)(二六) (二八)(三〇)(三二)(三六) (四二)(四三)(四八)(五〇) (六二 (六六)(六七)(七四) (七六)	○七學年單元五 工業 理科 (九學年) ○10,11 月頃おこなう
單元四(24) 交通機關の發達はわれわれをどのように結びつけて來たか ○現在交通機關はどのように發達しているか又それによつて人類は	(一) 鄉土の交通機關の樣式 (二) わが國の昔の旅の苦勞 (三) 世界の交通の發達史 (四) 各國の交通通信の狀況 (五) 交通機關の發達は世界の人々をどのように結びつけているか (六) 交通・通信機關の發達はわれわれの社會生活をどのように變化させるか	(八) (一三)(一四) (一八) (一九)(二一 (二九)(三一) (三二)(三八)(三九) 四四) (四五)(四九)(五二)(五四) (五五)(六〇)(六九)(七二) (七九)(八三)(八六)	○七學年單元一.五 國語 理科 (九學年) ○12. 1 月頃おこなう

どんな利便を得ているか	(七) 將來の交通通信機關の發達の改善とそれへの協力		
單元五(16) 自然の災害をできるだけ輕減するにはどうすればよいか	(一) 鄉土の天災とわが國の天災 (二) 地震はわれわれをどんなに惱まして來たか (三) 火山噴火の災害 (四) 台風による損害 (五) 水害や雪害の種類 (六) そのほかの恐るべき天災 (七) 平常及び災害時に際しての心かけ	(一) (1) (二) (5) (17) (三) (1) (2) (四 (1) (2) (3) (8) (15) (16 (五) (3) (六 (3) (5) (12) (16) (七) (6) (八) (1) (3) (九) (3) (5) (8) (一〇) (1) (6) (9	○家庭 七學年災害の防理 科農業工 ○9 月頃おこなう
單元六(24) 社會や政府は生命財產の保護についてどういうことをしているだろうか	(一) 個人や社會集團の成員はわれわれの健康と生命の保護に對していかなる活動を行つているか (二) 不慮の災害や危險からわれわれの生命 財產を救うためにいかなる公共の努力がなされているか (三) われわれの生命, 財產をおびやかす犯罪行爲に對して政府や社會はどのような手段を講じているか (四 人的資源の保護に政府はどのような手段を講じているか	(三) (五) (九) (一〇) (一二)(一五)(二三)(三〇) (三一)(三二)(三四)(三七) (三八)(三九)(四五)(四九) (五一)(五二)(五五)(五六) (五八)(六二)(六六)(七二) (七八)(八〇)(八七)(九二)	○八學年單元五 體育 家庭科 理 ○2.3.月頃おこなう

數學科學習指導年次計畫

立案上の留意點及び使用について

○環境との相關作用によつて，個人の生活が發展する，そして教育の營みがその生活の擴充發展に根ざすものであるとすれば，私共は生徒の生活の中に時々刻々に進展する教育の生きた體系をみつめつつ，最も適切な環境を作り唯一無二の條件の構成に當らねばならない，この考えに立つて案を作つた。

○「季節と行事」について……子供の生活と相俟つて作業單元の生れてくる根據となるものについて記したが，中學は單なる環境的なものが多く直接關係少なし。

○「子供の生活」について……心理的要求と社會的要求の一體的觀點から生活を辿つてみた。

○「作業單元」について…… 季節と行事，子供の生活の二者と指示される單元（教材　指導內容）との相關から必然的に生れるもので，これには國定教科書の子供の生活，素材の取上げ方が重要な參考となり，鄉土色を生かしつつこれに做つた。表現については，低（生活題材）中（生活題材　文化題材）高（文化題材）の考えに從がつた。

○「時間」について……文部省の指定時數による。

○「學習活動要項」について……飽くまで要項である，然し活動を通して單元の目標が達せられるようできるだけ考えた。實施については除去，補充變更綜合適切な處理が望ましい計算練習は表現の都合上まとめたが反復練習するようくふうして使用する，學習指導要項と相俟つて教材の全學年系統を明かにしつつ運營することが望ましい。

（教材一覽表を點付する豫定であつたが落した）

○「指導目標及單元との關係」について……單元の內容を考えて觀念的なものと能力的なものとに便宜分けた。

○「連絡及び備考」について……更にこの上に運營上綜合された學年單元の生れるものもあるであろうことを豫想しつつ。

○二學期以降の配列及題材については教科書の發行を見ないので指導要領のみによる案である。（8.25 現在資料）

——（今日の　この生徒の　この生活が　最も充實するために）——

月	季節と行事	生徒の生活	業單元	時	學習活動要項	單元	指導の目標及び單元との關係 觀念的	能力的	學習效果の判定法	連絡及び備考
4	入學式	○關心の調査から見ると食糧不安社會不安に關する關心は大きい生徒の生活環境の中に社會的なものの強くなつて出ている，この時を摑んで社會事象に對する統計的觀察態度を養うことは大きな社會的要求である又生徒の生活を擴大充實させるものである	賃金の統計	8	○教科書の例を中心に研究する ・基本給の統計とグラフから考察して平均の賃金を調べる ・最頻値について調べる ・中央値について調べる ・累積分布圖表をかく 實數から，百分率から ・(3) の分布圖表を作つて考察する ○附近の工場について實地調査に入る	五の4 7 六の4	○社會事象を統計的に考察する態度 ○平均値 最頻値 中央値 ○累積分布表 度數分布表 累積分布圖表 度數分布圖表	○平均値，上 最頻値，中 央値の算出能力 ○分布表や分布圖表を作る技術 ○暗算による頁の數四則計算能力	○生活を統計的にしているか ○算出能力があるか ○グラフがかけるか ○各種グラフが讀めるか ○賃金に關する統計的考察の態度ができたか	
5	若葉	○常に力による活動をしていながら力についてのきまりも極めて認識されていない無關心な生活をしている ○平易な手近な機械や實驗によつて生徒の生活をより合理的科學的に高めてやることは極めて大事である	計算練習	4	○力だめし ○正の數，負の數の暗算の加減簡單な式の計算及び文字を使用せる式の作製	6 1	○見かけの運動の考え方 ○相對的な運動の觀方	○種々の關係圖のかき方 ○關係圖からの計算能力	○初步的な力と運動に對する理解が深まつたか ○關係圖にかき表わす力はどうか ○關係圖を使つての計算ができるか	三年理（機械）
			物の動き	2	○動いているものや動かないものについて相對的に調べる。體驗を中心に ・走る列車と落下する雨滴について調べる ・メリーゴーランドに於ける板上の位置と地面との關係 ・列車の進行（自轉車）と地面との關係 ・外接圓，內接圓の圓周上の點の回轉位置 ・水泳や舟の運動と水面 ○機械の發達について自由研究する	6				

					○物を動かす力の元になるもの及びその力の移り方について調べる往復運動，回運動，直線運動等を手近な機械について調べる	1	○機械の効用の理解 ○機械の構造の理解		○機械を見て力の移り方がわかるか	
			力とはたらき		○力の物に對する働き方を調べる	6				
					○ガリレー以前の見方とガリレー以後の見方について習う	1	○力の見方			
					○慣性の法則　力の初歩的概念		○萬有引力 ○重力			
					○物に一つだけの力がはたらく場合		○力の合力	○力の計算	○力に對する見方が深まつたか	
					○物に二つ以上の力がはたらく場合 ・同じ方向の時，反對方向の時 ・其の他の方向の時 ・同一直線に働く力の合力を計算で求める		○つり合つているの概念 ○摩擦係数の概念 ○大きさ，方向，作用點の概念	○力の合成や分解能力	○力の計算ができる ○日常生活に力の初歩的考え方を利用しているか	
					○力の三要素について習う					
	健康週間				○力の平行に働く場合(平行力)平行力の合力の計算		○平行力			
					○内分，外分，内分比，外分比について習い計算する		○内分外分の概念	○内分，外分についての計算	○力の種々のはたらきが理解されたか	
					○同じ大きさの力が反對方向に働く場合(偶力)について習う		○偶力			
		○日常生活のふれあいの中に現象を生ずる問題を考えよりも鋭いメスを入れて考えよい環境を作つて行く徒，と理的に高めら	物のすわり重心と		○身のまわりの品物について安定しているかどうかを調べてみる	6 1	○安定度の理解		○安定というえたり	
					○安定の理由や安定の破れる限界について研究してみる				○安定ことと物を見つたりするか	
					○重心についてならう		○重心の意味	○重心の位置の求め方		
					○重心の求め方について考える				○重心の位置を求めるどうか	
					○種々の形や物について重心を見出す		○回轉能		○能力は	

6	記念日 時の 運動會 農業休み	一學期の一應整理や纏めとして仕事の整理をすることも大事な生活である	重心と物のすわり(續き)	2	○物の安定についてまとめる ○重心を利用して遊ぶ道具を作る	6 1				
			斜面をどのように利用しているか	6	○斜面を使つて物を動かしたり力を利していることを話合う ○斜面を使つた機械について調べる ○斜面と力について合力を求める方法から研究してみる ○斜面と力についての計算をする	6 1	○斜面の働きの理解	○斜面と力についての計算	○斜面やねじの働きを理解しているか ○仕事の量について計算できるか	
7	夏休み		種々の問題	7	海里・氣温 ○力と運動について問題を解く	6			○文字を含んだ式が取扱えるか	
			計算練習	4	○正の數と負の數の四則 ○文字を含んだ式の計算 ○等式について公式のまとめ	1		○計算力の向上 ○文字を含んだ式の取扱い方	○計算力 確度 速度	
			夏休みの研究	1	○夏休みの研究について計畫する					
8	夏休み		夏休みの研究		○天候，氣温，風速，方向，雨量天氣圖の研究 ○計算練習					二年社單元五理(空氣)
9	二百十日 後岸	○直接に計器を使つて測量する方法については今まで大體習つてきたので一應整理し更に高い測量の方法について學ぶことは非常な興味であろ	種々の測量	16	○高さ，長さ，面積，體積，重さ等を計算等により間接に測ることを習う ・種々の數え方測量の仕方について話合う ・三角形の測量を基にした測量について習う ・長さ，角の使用による測量について研究する	4 5 1	○間接測量の觀念と理解 ○比重，密度の意味 ○副尺について	○間接測量の方法と技術 ○面積を求めること ○體積を重さや計算で求めること ○重さを體積で求めること	○量の大きさの測り方を工夫しているか ○比重密度の取扱いはどうか ○雜體の體積目方の計算	

		う 中學生らしい研究			○種々の問題を解く			と	能力はどうか	
10	運動會 農業休み		種々の測量 (續き) 種々の問題	10 2	・三平方の定理を見出す ・直角三角形を解く ・平方根について習う　表の理解 ・二邊と夾角から三角形を決定する ・三角比について習う，表の理解 ・三角比を使用して長さ角を計算する ○間接測量についての問題を解く	4 5 1	○平方數 平方根數の意味 ○三角比の意味 ○正弦，餘弦 正接の意味	○三平方の定理 ○直角三角形の解き方 ○平方根表からの計算 ○二邊と夾角から三角形の解法 ○三角比からの計算	○三平方の定理を使えるか ○直角三角形の解法ができるか ○二邊と夾角から三角形の面積を求めるか ○三角比の取扱い方はどうか	
11	麥まき 遠足	知的な欲求のぐんぐん進んでいる今日此頃純粹の式についての解法さえも喜びである	文字のある式	12	○文字の含まれている式について習う ・種々の量の間の關係を文字を用いて表わす關係式を作る ・單項式の計算をする ・簡單な因數分解について習う ・簡單な多項式の計算を習う	1	○關係式に表わす ○因類項の意味 ○因數の意味	○關係式を作る能力 ○因數分解をする能力	○日常生活に式を用いて關係を表わしているか ○簡單な公式りを作つたり用いたりする能力 ○單項式の四則計算能力について ○因數分解の能力について	
12	防火 多休み		一次方程式	12	○簡單な關係を文字で表わす ○方程式の意味の理解 ○方程式の解き方を習う 變形，移項，根の理解 ○簡單な分數の形をした分數方程式を解く	2 1	○方程式の意味 ○根の意味	○文字の使用法 ○關係式を作ること ○方程式の解き方 ○移項變形の能力	○文字を使つて關係式がかわるか ○方程式を解く能力はどうか	
1	正月 寒入り		一次方程式 (續き) 一次不等式 計算練習	5 5 2	○連立方程式について ・連立方程式の意味，解法 ・根について ○一次不等式の意味の理解 ・不等式の取扱い方 ・不等式の解き方 ○方程式不等式の解法練習	2 2	○連立方程式の意味 ○不等式の意味	○連立方程式の解き方 ○不等式の解き方	○連立方程式を解く能力はどうか ○不等式を解く能力はどうか ○日常生活に考えている方程式の考えを用いているか	
2	立春 舊正月	○小學校以來概念的に物の位置について習つてきたが，これを數學的に表わし方について學習することは高等學校の數學に於ける更に重要なことである	位置の表わし方	16	○種々の物の位置の表わし方について話しあう ○點の位置の表わし方について習う ○座標について習う ○ダイヤグラフの考察をする ○一次函數のグラフを作る ○直線の式をかくことを習う	3 2 1	○座標の觀念 ○原點　軸の意味 ○一次函數のグラフの特徴 ○直線の式の理解	○座標を使つて位置を表わすこと ○點の位置 ○ダイヤグラフを讀む力 ○一次函數のグラフの作製能力	○座標による位置の表わし方ができるか ○點の位置が圖に表めされるか ○ダイヤグラフが讀めるか ○グラフの作製能力はどうか	

3	芽生え		位置の表わし方（續き）	4	○一次方程式をグラフで解く ○連立方程式をグラフで解く ○一次不等式をグラフで解く ○直線の勾配と係數との關係について考察する ○種々の問題を解く	3 2 1	○一次方程式のグラフに依る解法能力 ○連立方程式の解法 ○一次不等式の解法	○方程式不等式のグラフによる解法ができるか ○種々の問題をグラフで解けるか
	彼岸	樂しかつた一年間も終る，何事につけまとめたり記念にしたりしたい						
	修了式		計算練習	4	○綜合計算練習 ○力だめし		○直線の勾配と係數との關係理解	

理科學習年次計畫

指導計畫をどのようにたてたか

○問題形式の小單元は，必要と關心との焦點を拾いあげ，學習の第一段階を主體的に展開しようとした。

○單元の配列は，季節に關連づけていつたが，小單元においては季節に適つていないものもあるが，他教科の學習と密接に連絡して進めるようにした。

○學習活動については，學習指導要領による一學年間六單元の學習活動內容は豐富で，今の生徒たちには困難と思われる點もある。そこでこれを組みかえることも考えられるが，參考書が少なく教科書が唯一のものである現狀として與えられた教科書を最高度に活用するようにしてできるだけ教科書の順序や內容とタイアツプするようにした。なお教材の多いための時間の不足は生徒の實力に應じて取捨選擇して負擔過重にならないようにしたい。

○時間の配當は，上に述べたような事情と主旨に基づいてわりだした。

○指導の目標重點は，效果の判定その活用の材料ともなるようにした。

○備考は指導上の注意，連絡事項，參考圖書，映畫等の一部をあげた。

——(參)は參考書　(映)は視學教育案內映畫　(國)は國語　以下これにならう——

(八月二十日現在の資料による)

月	季節と行事	單元(時間)	學習活動	指導の目標重點	備考
4	始業式 入學式(一年生)	○理科學習をどのようにしたらいいか (1)	・一年の學習の反省と二年の學習計畫をどのように立てたらいゝか話しあいをする	・自主的學習に導く	・かえる(蛙)の關係で單元8と單元7と交換してやることも考えられる
	學級役員選擧	7 着物(25) ○植物の纖維をどのように利用しているか	・着物はどのように發達してきたか話しあう ・せんいの種類や性質について調べて話しあいをする ・細胞はどのようにつくられているか調べる	・織物の纖維の種類と植物細胞について理解する ・實驗觀察實習の態度を養う	・着物 小學六年 ・化學(3) 高等學校用
	お祭	○人造絹糸はどうして作るか (3)	・植物纖維のどんなところを利用しているか調べて話しあう ・どんな製法があるか	・人造絹糸の製法の概要を理解する	・工業に連絡 ・農業に連絡 ・家庭に連絡
	遠足	○紙は何からどのように作るか (1)	・紙の作り方はどのように進んできたか話しあう ・日本紙と西洋紙の比較をする	・紙の製法を理解する	・圖工と連絡

	苗代 かえる 小運動會	9 海（20） ○海と私たち（1） ○海岸とはどんなものか（3）	・海の話（映） ・農業業暨に連絡 ・なめし皮，毛皮の作り方については多研究する	・チックスを作つている工場を見學し作り方を聞いたりして調べる ・生糸はどのようにして作られるか ・生糸の性質について調べてみる ・羊毛はどのように利用されているか話しあう ・ホームスパンの作り方について話をきく ・羊毛の性質について調べてみる ・なめし皮，毛皮の作り方について調べて理解する ・纖物性纖維にどんなものがあるか話しあう ・いろいろな纖維の特徴についてしらべてまとめる ・纖維工業と日本の産業について話しあいする	・生糸はできるまでの作業を性質方法的に分解的に覺えて直斷でいけ的に理解する ・纖維工業の重要性を理解する	・ようにいたらいいか經驗を發表しあつて研究する ・「纖維工業と日本」という題で話しあい論文をかく ・海について經驗を發表し話しあいをする ・どのように研究するか計畫する ・海と陸の成因，深さ廣さ分布等世界地圖や書籍によつて調べ話しあう	・料衣今のとあわせ現代考える ・社會に連絡 ・七月下旬の海の見學を學習し海と人間のつかむようにする
6	芒種 時の記念日 衣服の虫干 食器の貯藏 入梅 麥刈 多忙 植田 夏至 農休み	・波はどうしておこるか（1） ・潮の滿ち干はどうして起るか（4） ・海流はどうして起るか（2）	・海の底のありさまについて書物や地圖によつてしらべる ・海水の透明度色等をしらべて話しあう ・池等の波によつて觀察調査し話しあう ・海のいろいろな波について話しあいをする ・滿の干滿はどうして起るか ・月の位置と潮せき時刻の關係等についてしらべ話しあいをする ・滿ち干をどのように利用しているか調べ話しあいをする ・潮流とはどんなか調べる ・世界地圖によつて海流を調べる ・海水の溫度について調べる	・參考書をで與きえる ・波の起り方について理解する ・潮の滿ち干の理由を理解する ・海流と氣候について研究する	・山と水（理）小學六年 ・海と船（理）小學六年 ・海と魚（參）岩波叢書 ・海（參）岩波新書 ・魚（參）岩波叢書
7	雷 か（蚊） たなばた 自由研究發表會 夏休み	・海水はどうなはたらきをするか（2） ・海水の中にはどんなものがとけているか ・海の動物はどんな生き方をしてい	・海流と氣候について調べ話しあいをする ・海の侵蝕堆積作用について寫眞等により調べ話しあいをする ・磯濱砂濱の特徵を調べる ・海水の鹽分はどうしてできたか調べて話しあう ・製鹽はどんな方法でどのようにするか調べる ・食鹽の用途について調べ系統圖を作る ・食鹽水の電氣分解をする ・海水の中に溶けているものについて調べ話しあう ・魚はどんな所に多くすみどんな生き方をしているか研究する	・海水や水の力を理解する ・製鹽法を理解する ・自然の調和の美しさを知る ・食鹽の用途を理解する ・魚の生態について理解する	・海へ行つてした經驗を發表しあいながら學習をすすめるようにしたい ・海の化學 壽陽堂 ・鹽（映） ・海と魚（參）岩波叢書 ・魚（參）岩波叢書

5	八十八夜 たんごの節句 創立記念日 大掃除 立夏 ひよう（雹） 小滿 單衣 春ごま（かいこ） ・播立	○纖維はどのように織るか（4） ○着物の模様のよう染めはどのようにしてするか（3） ○着物を長持ちさせるにはどのようにしたらいいか（4） ○着物と私たち（2）	・紡績工場の見學をして糸のできるまでについて話をきき又自分でしらべてみる ・いろいろな糸についてしらべてみる ・纖物工場を見學し纖物のできるまでについて見學し又話をきいてみる ・どんな織り方があるか調べて話しあう ・纖物と機械について調べる ・染色工場を見學していろいろ聞いたり又家庭でやつていることなどについて話しあう ・染色にはどんなことが必要か話しあう ・天然染料人造染料について調査研究する ・染め方についていろいろ話しあい又實習する ・石けんの洗滌作用について實驗する ・正しい洗たくの仕方又どんな水がいいか實驗し觀察する ・しみぬきについて經驗を話しあい又實驗する ・着物の手入れ保存などについて經驗を發表して話しあいをする ・私たちの着物としてはどんなものがいいか又どの	・計畫をたてつぎ記錄するレポートをたてそれに從つて觀察整理する ・纖物のできるまでの統圖をつくる ・染色の種類と染料の大要を學的根據により色方法を理解する ・染料の發達について理解する ・洗たくの科學的根據について調べる ・しみぬき等入手の上の方法をする ・實驗實習の操作順序等に注意する ・どんな着物をどのよう	・足利方面へいく豫定 ・理科機械 ・機械の構造傳達關係や力の興味を向け心を ・工場 ・化學（3）高等學校用 ・家庭と連絡 ・染色（工業）中學一年 ・體育と連絡 ・蟲干し（理）小學六年 ・實驗實習等よの始末をくする ・家庭と連絡	・着物と私たちの關係 ・着物の歷史 ・着物の手入れ保存 ・着物の染め方 ・着物の模様 ・着物の洗濯 ・着物の材料 ・着物の種類 ・着物の發達 ・着物の構造 ・着物の役目 ・着物の研究 ・着物の研究 ・着物の研究

	大掃除		・血液はどんな役目をするか研究する ・血液はどのようなでき方をしているか血を検鏡する ・鳥やうさぎの血液の沈降を實驗する	・血液のはたらきを理解	・目きる役らす	
	自由研究發表會	・たべものはどのように消化されるか (6)	・たべものはどんなところを通りどのように變つていくか調べる ・消化の消化管の構造を調べる	・消化について調べ表にまとめる	・つ又系か化を管に調べ	・消化の話 (映) ・實驗のあと研究整理をする始末や結果の注意をする
10	更衣 研究會 (社會科)		・人の消化系統圖をかき，かえるのと比較する ・どの化液について調べ表をかく			・家庭と連絡
	秋祭	・消化されたものはどうなるか	・消化されたものはどこにきどのやうに吸收されるか研究する ・血液と養分の受け洗しの仕組みについて研究する ・りんぱ管のはたらきについて調べる	・消化されたものの收理はどのやうに吸收されるかの解		・理科單元10と11の學習をして日光尾瀨にし所足方面旅行したい
	運動會	・どのように活動してするか (3)	・活動の力はどこからでるか調べて話しあいする ・不用になつたものはどのようにして捨てるかそのはたらきをしらべる ・からだはどうして動くかを骨と筋肉との機能構造を調べる	・骨と筋肉とはたらきについてのの解		・冬時くて旬るのるづつ初すすいえるの入近よ月習によかに眠期時は頃よの
	音樂祭					
	裁縫 刈り	・感覺とはどうか (5) ・神經器とはたらくか	・かえるの坐骨神經をとりかえるのはたらきについて觀察し研究する ・人體の神經系を調べ表にあらわしてみる ・感じはどこで司るか感覺器について研究し發表する	・刺戟と收縮理について解する ・感覺器の構造機能を理解する		
	農事多忙		・感覺器の構造をしらべよ ・中樞神經はどのようにしてはたらくか刺げきの傳わりを方を研究して話しあいをする	・中樞神經と傳刺げきについて達理解する		・人間の神經が較
	農休み		・大腦小腦のはたらきを調べる ・知覺神經運動神經についてしらべる ・反射運動について調べ理解する	・反射運動を理解する		・福こ比と中どかことうる
		・からだはどのように調和しているか	・體の統一と協調とがどうされているか調べて話しあいをする	・自然の調和について理解する		・今後の生活にいきたいも

	水泳	るか (2)	・どんな動物がいるか ・潮目についてしらべる ・魚はどんな方法でとれるか調べて話しあう		・海の生物 (映) ・潮目 (圖) 中學一年	
	土用	・海の植物はどんなをしているか (1)	・海そうはどのように利用されているか調べよ ・いろいろの利用法を表にしてみる	・海の植物の生態について知る	・海苔 (映)	
	傳染病	・プランクトンとはどんなものか (1)	・河池等にいるプランクトンを採集してみる ・どんなものか顯鏡してみる	・プランクトンについて理解をする	・理科9 微生物	
	大暑	・海の研究旅行をどうしたらいいか (1)	・いろいろ今迄のことを復習して場所日時準備分擔等をきめる ・海そうや貝の標本を採集して整理する ・海へ行かないものはどんな自由研究をするかその計畫をたてる	・計畫性ある學習とする	・社會と連絡	
9	二學期始業 二百十日	・海の研究をどのようにしたか (2)	・海の研究(旅行)の發表會をする ・どんなことがわかつたかいろいろ話しあいをする ・海の利用について話しあいをする ・夏休みの自由研究の發表をする	・海のレポートの內容をみる	・作品を展覽するようにする	
	水泳大會	8 からだ (31)	・からだのことについて知つていることと疑問のことをお互に發表しあいを調べ今後の研究の方向を定める ・なぜからだのでき方やはたらきを調べるようにしたか今迄の經驗を調つたる ・心臟はどうなつているかかえるを解ぼうして鼓動のようす鼓動數，血管數構造等について觀察する ・人の心臟圖と比較する ・血液はどこを流れるか調べる ・べんのはたらきや血の循環の道すじをかえるのについて觀察し人間の比較檢討する ・血壓とはどんなものか研究する	・導入問題をつくり研究と調べかきを	・學月もの五のだの四るのからだ習を頃するいい	
	自由研究發表會	・心臟はなぜか鼓動する (5)	・心臟の鼓動について理解する	・心臟のたしかべの鼓動について	・私たちのからだ (理) 小學六年 ・實驗は準備つくにしたがよ手順にてする ・實驗はすべをていにかえるして實驗られるが用いかの動物について意する	・級 (映) ・體育と連絡
	彼岸秋分		・かえるの肺の構造を調べ人間のと比べてみる ・肺胞までいつた空氣のはたらきについて調べる ・呼吸はどんなはたらきをするか研究する	・肺は構造のらする	・人間として檢討し比較學かならいば	・常にれない
	名月 蟲の音	・どんなに呼吸していか (6)				

		か (2)	・ホルモンの作用を調べる ・健康なからだという題で話しあいする	・健康なからだについて検討する	
11	明治節 多重 霜 紅葉 落葉 新嘗祭 體力測定 氷がはる	10 土 (19) ・郷土の山や川はどんなだろうか (5) ・土はどのようにしてできるか (2) ・水はどのように循環しているか (1) ・山や川はどのようにできたか (3)	・郷土の山や川等について知っていることを話しあいする ・お互の疑問や研究方法等について話しあい計畫をたてる ・見學旅行計畫をたてそれにもとづいて那須山等見學旅行をして火山，溫泉水の働きについて觀察研究しレポートを作る ・近邊の山へ遠足して山川の位置について觀察し地形圖と照合してみる ・岩石鑛物の採集をして標本をつくる ・村の岩石分布圖や地質圖をつくる ・近在の土壤の分析をしその種類及び郷土の地質をしらべる ・風化の成因について研究調査する ・雨水はどのように循環しているか調べて話しあいをする ・流水はどのような作用をするか觀察し話しあいをする ・雨水の蒸發について話しあいをする ・雨水，河の作用および風の作用についてしらべ話しあいをする	・見學旅行の計畫案をもつ ・見學採集の態度を養う ・作りながら學び最後まくやり救 ・土壤の分析法を理解する ・風化の成因を理解する ・雨水の循環を理解する ・河川の變遷について研究する	・山と水(理)小學六年 ・古賀志山，鹿挾山，八谷峠山，大谷採石場等行きたい ・農業と連絡 ・常日頃の注意が大切である ・順序を守つて實驗するようにする ・農業と連絡する ・地層の話(映) ・川の話(映) ・社會と連絡中學一年 ・日本の湖(映)
12	防火 綜合研究會	・地球の表面や内部はどうなつているか (3)	・川がつくるいろいろな地形について研究する ・山のできるまでについて調べ附近の山について考察し話しあいをする ・山がどのように侵蝕されているか調べる ・火山(噴火)溫泉について調べ話しあいをする ・火成岩の成因についてしらべる ・地震の原因作用についてしらべて話しあう ・わが國の地震について研究する ・地面の隆起沈降について調べる	・川のはたらきを理解する ・山の變遷について理解する ・火山の成因構造について理解する ・地震の災害と防止とを考える	・社會と連絡中學二年 ・社會家庭と連絡 ・かぜ(風邪)すあ意よがし(風やひきろで注のら防どか話しするなるいあう

			・災害防止について話しあいをする		
		・岩石はどのようにしてつくられたか (2)	・地球の地殻構造を調べる ・火成岩，水成岩，變成岩はどのようにしてできるか調べて話しあいをする ・採集した標本についてそれぞれどんな特徴があるか調べる	・火成岩，水成岩の成因を調べる	・鑛物採集に出かけるときは常に實驗道具を用意しておくようにする
	自由研究發表會	・土質とどんな作物とが關係があるか (4)	・土と微生物について調べ話しあいをする ・腐植土とはどんなものか又その成分についてしらべる	・土と微生物とについて理解する ・どのような作物が土に適するかを理解する	・地質と土壤と農業と化學 ・社會と連絡 ・農業と連絡 ・高等學校用
	多重 多休み		・土粒組織について調べ作物の生育との關係について考察する ・土壤改良はどのようにすればいいか ・土の分析實驗をし考察する ・岩石，地質分布圖を作りあげる	・通氣，保水，排水の方法を考えるようにする ・土壤改良について理解する	・研究もはやう強なりめ度仕まくるばじ態て後ぬすねま究つ最りに
		11 地下資源 (16)	・地下資源について知つていることを話しあいする	・導經出を心し調計をすて研究とをさた	・鑛物採集み休標本するみにだけ山多のを多きんがんする學
1	正月 小雪 雪	・鑛物はどのようにしてできたか (4) ・鑛物をどのように利用しているか (7)	・地下資源をどのようにしたらいいか話しあい計畫をたてる ・地球の歷史について研究して話しあいをする ・鑛床とその成因を圖などによつて研究し話しあいをする ・鑛物標本について觀察しそれぞれの性質について話しあう ・鑛物の結晶形硬さへき開(劈開)條こん(條痕)密度色，透明度，光澤などについて調べて鑛物を識別してみる ・地下の有用鑛物を見つけ出す方法について研究する ・還鑛や，や金(冶金)の進歩について研究し話しあいをする ・金屬鑛物非金屬鑛物について研究調査する	・鑛物の識別法を理解する ・研究する態度をもつ ・還元について理解する ・有用鑛物と用途とを關係を理解する	・あ鑛す山見學の集つすす鑛記錄や採あ習にめるるでら山る ・きればめてため見學をる ・化學(2)高等學校用 ・日頃自分のもつている本を手に習うとできるようたい ・金物(理)小學六年 ・メッキ小學六年 ・化學(3)高等學校用

						毛してにばめつうれな作よやをるるき皮皮みす	現生に作擔を後とにだ製分任最りうのにうるのんあるち活よるのく責てやよき土どがべた生すめ型よてつでるで鄉にの調私實か紹槪はしもまげす
						料にのら材物明るす作を製力能	家どがよいにの研究件もかす
						築る質に型能	建よ特か槪るう住のんあ線
							公開研究會
							家な住みよいどんは家か
							計製型模討設案を分擔して理想する 家と氣候について調べこい土地に適する形について調べてみる 部屋の向きや間取りはど家べしたらいいか自分の調にについて圖にかいて話しあいをする
							切口ようか調べる 柱合る 建物はどんな形がいいか屋根のふき方や形について調査研究する 梁や柱の補強はどうしたらいいか調べ話しあいをする 木造，石造，鐵筋コンクリート造はどうするか調査研究し發表しあう
3	桃の節句						色彩と生活（圖工）中學二年
	父兄會						
	展覽會						
	學藝會						科と火と連絡する3
	春雨					火つい理し	火，防造に檢討する解す
	草花の播種						
	彼岸						生ぐくうく年組よよおき二はるて次のかしにもわに
	春分					省と反する	
	式						
	卒業式					整理をす	
	終業式						

							研究會 自由發表會 大掃除
							石油（映） 化學（3）高等學校用
							石炭にはどんな種類があるか調べる 石炭からとれるものについてその系統圖を作ってみる 石油はどのようにしてできたか調べる 油井はどのようにして發見されどのようにして發掘されているか調査研究みする
							石炭の系統を理解する圖る
							石油はどの用いるようにされているか
2	立春						
	節分						
	時計						石油からとれるものについてその系統圖を作ってみる 石油はどのように用いられているか調査研究する いろいろな燃料について比較し話しあいをする また發熱量について研究
							とのからもの油れる系統圖をかく
							資源をどの開發したらいいか（2）
							地下資源の認識を特日の資性する後開發に理的な物を態度とする養う 地重識今のめ合用約を
							重要さ考慮，運利用について 常生活，設備や燃料など日の資源が下交通などの業の資材や燃料されている意義について話しあいをする 日本の地下資源についてその分布圖をかいて調べ解する 新しい資源開發をどのようにしたらいいか考えてめる
							現今の住宅問題を調べ話しあいをし後論文をかく 家の學習をどうしていつたらいいか調べ計畫をたてる
							理科（18） 生活 家庭科と連絡 農業と連絡（工業） 建築（三年中學） 住居の衞生（體） （二年中學） 社會と連絡 古代の建築（幻）
							住宅問題のようにかつ焦點をむ
							住宅問題をに考えるか（2）
							建物にはどんな種類があるか（1）
							參考書によつていろいろの建物をひろいあげて設表しあう いろいろの建物の特徴を調べ話しあいをする 鄉土の建物を調査しその特徴を圖にかき發表する
							建築理を建な徴する特解
							種々の
							建物の材料もわれているか（2）
							建築材料の產地について調べる 材料はどう進歩してきたか歷史をしらべる 材料によつて強さ使い道をどうしたらいいか實驗觀察する
							建築材料のつ途を材用表一覽くる 建築地する 鄉土の建材の產す解を理
							農業（農業工作）
							セメント（映）
							丈夫な建物はどんな建物か（5）
							どんな形の柱と梁がいいか實驗觀察する 柱はどんなのがいいか 梁の斷面の形支持法によつてそのたわみはどうかしらべる
							丈夫な建物はどんなつくりをしているか構造を理解する
							兎の毛皮やでしるしをつけて注意して觀察するとよい

音樂科學習指導年次計畫

立案の趣旨

○音樂教育目標を達成するために兒童生徒の發達，環境，學習目標を考え合わせて立案することとした。

○學習目標の要項は文部省で單元として發表されているのでこれにならつた。

○題目のとり方は單元の項目をとると系統的學習は出來るが兒童，生徒の心情に合わない活動が多くなるので主として歌唱教材の題目をとつた。そして學習の場では目標達成のための種々な活動が行われるようにした。

○學習活動の內容は歌唱，鑑賞，器樂，作曲を中心としその特記すべき要項だけあげた。

○單元との關係とは學習活動の目標が單元のどれになつているかということをかいた。

○他教科との連絡は備考欄にあげた。

○學習結果の考査は音樂學習の特質から毎時行われているので特別あげなかつた。

○この計畫の他に音樂科單元各項目の學習系統案ともいうべきものがある。例えばリズム，メロデイ，ハーモニー等の學習系統案，鑑賞の學習系統案，器樂學習系統案，創作學習系統案，音樂の形式，構成，音樂史等の系統案等この系統案がいつも年次計畫の基本となつている。

月	季節と行事	題目	時間	學習活動	單元の關係	備考
4	始業式	岸の櫻	4	○「岸の櫻」歌唱 F. $\frac{3}{4}$ ・視唱による ・跳躍音程を十分練習する ・rit atempo の歌い方	1の(1)歌唱及び演奏技術の向上，特に合唱合奏の技術を向上させる	
	入學式					
	櫻の花					
	すみれ たんぽぽの花			○「バイオリン協奏曲ホ短調(メンデルスゾーン)」鑑賞(レコード) ・メンデルスゾーンについて ・協奏曲について	1の(2)表情的技術を向上させる 3の(1)音を感覺的にとらえることを通してれの意味する內容及びそれの持つ情操を理解させる 2の(3)音樂の歷史的發展についての理解をもたせる	
	ちようちよがとぶ					
	日毎に暖かくなる			○器樂 ピアノ，オルガンを中心として各自が樂器一つづつ習う	2の(2)音樂の要素，形式，構成に對する知的理解を高める	
	天長節			○作曲 ・和聲學の初步を實習する（和音の進行）	1の(1) 1の(5)創作の興味を增大させ次第にまとまりを持つた曲をつくらせる	
5	新憲法實施記念日	サンタルチヤ	5	○「サンタルチヤ」歌唱 C. $\frac{3}{8}$ 3合 ・リズムを正しく視唱する ・視唱で合唱する ・美しい發音で合唱する	1の(1) 2の(1)リズム旋律，和聲及形式を綜合的にとらえる力を高める 3の(2)人間的土臺の上に立つて各國の音樂の民族的特徴を理解させる	
	鯉のぼり			○「サンタルチヤ(ナポリ民謠)」鑑賞(レコード) ・合唱の美しさ	2の(1)	
	木の芽遠足			○器樂 各自の練習	1の(1)	
	創立記念日			○作曲 和音の進行について研究する	2の(1)	
	健康週間	五月の丘	5	○「五月の丘」歌唱 G. $\frac{4}{4}$ 2合 ・視唱で二部合唱をする 和聲に注意しながら歌う	1の(1) 1の(2)	
	晴天が續く			○「ソナタ嬰ハ短調月光(ベートーベン)」鑑賞(レコード)	3の(1) 2の(2)	

				・ソナタ形式について ・ベートーベンとピアノ	2の(3)
				○器樂　ピアノ中心の練習	1の(1)
				○作曲　器樂の作曲をしてみる	1の(5)
6	麥がみのる 日時の記念 入梅 田植 麥刈り 農業期 夏至	この道 露	2 4	○「この道」歌唱　E.$\frac{3}{4}$ ・調唱による ・發想に十分注意して歌う ・發音をきれいに美しく歌う ・部分的な拍子の變化に注意する ○ま王(シューベルト)鑑賞(レコード) ・シューベルトの歌曲について ・バリトンの歌い方 ・歌えるまでよく聽く ○歌詞に曲をつける練習 ○器樂　樂曲の獨奏や歌曲の伴奏を習う ○「露」歌唱　C.$\frac{4}{4}$ 3合 ・ハ長調終止形練習をする ・三部を視唱で合わせる ・他聲部をよくききながら歌う ・轉調の部分をよく認識して歌う ○「オラトリオ(救世主)パストラルシンホニー(ヘンデル)」鑑賞(レコード) ・ヘンデルとオラトリオ ○器樂　自由練習 ○作曲　和聲の進行	1の(1) 1の(3)詩の内容を音樂的に生かすことにつとめる 1の(2) 3の(1) 2の(3) 1の(5) 1の(4)音樂の内容及び形式に對する理解にもとづく演奏を行わしめる 1の(1) 2の(2) 1の(4) 3の(1) 2の(2)(3) 1の(1) 1の(5)
7	七夕 夏季日課開始 公開研究會	ほととぎす	4	○「ほととぎす」歌唱　F.$\frac{3}{4}$ ・視唱による ・轉調の部分をよく歌いわける ・發想を十分につけて歌う	1の(1) 1の(4)

	水泳 夏の旅行			○「樹」鑑賞(レコード)(ラスパハ) ・アルトの歌い方について ○器樂　批判しあう ○作曲　自由作曲したものをまとめて發表する ・他人のよいものを記錄しておく ・夏やすみ中の採譜作曲について	3の(1) 2の(1) 2の(1) 2の(2) 1の(5)
9	二百十日 自由研究發表會 展覽會 夏季日課修了 彼岸 十五夜	いその月	6	○「いその月」歌唱　B.$\frac{2}{4}$ 3合 ・單音の部分にあるカデンツ風の旋律をよく歌う ・單音の部分と三部合唱の部分とよく調和して歌う ・發想を十分に合唱する ○「吾妻八景(古謠)長歌」鑑賞 ・日本音樂について ・發聲と發音，西洋歌曲との比較 ○夏やすみ中採譜した民謠(童謠)の整理，發表 ○器樂　練習目標をきめる ○作曲　夏やすみ中作曲したものの整理，發表	1の(1) 1の(2)(3) 3の(1)(2) 2の(2)(3) 1の(5) 1の(1) 1の(5)
1	運動會 麥刈り 十三夜	運動會	5	○「運動會」歌唱　B.$\frac{2}{4}$ 3合 ・リズムに注意して視唱する ・輕快な力强い歌い方を練習する ○「カプリツチヨイタリアン(チヤイコフスキー)」鑑賞(レコード) ・管絃樂のきき方 ・チヤイコフスキーの樂風 ○器樂　自由練習する ○作曲　リズムの研究をする	1の(1) 1の(2) 3の(1) 2の(2)(3) 1の(1) 2の(1)

	木の實ひろい 紅葉 空は澄んでくる	しかられて	4	○「しかられて」歌唱 變ロ陽 $\frac{4}{4}$ ・日本的歌曲の歌い方 ・十分に設想をつけて歌う ○「江原道のアリラン」鑑賞(レコード) ・朝鮮民謡と東洋音樂 ○器樂 各樂器をもちよつて合奏をする ○作曲 歌詞に作曲する	1の(1) 1の(2) 1の(3) 3の(2) 2の(3) 1の(1) 1の(5)	
11	麥まき 明治節 部落祭 菊の花	里祭	4	○「里祭」歌唱 B. $\frac{3}{4}$ 2合 ・舞踏風なリズムの動きに注意して輕快に歌う ・第二聲部の半音的下行を正確に歌う ○「ワルツ藝術家の生涯(ストラウス)」鑑賞(レコード) ・悦樂 ○器樂 ワルツ曲を彈いてみる ○作曲 ワルツの曲をつくつてみる	1の(1) 1の(3) 3の(1) 1の(1) 2の(1) 1の(5)	
	公開研究會	菊	3	○「菊」歌唱 D. $\frac{3}{4}$ 2合 ・テムポが遲いのでリズムが不正確になる ・設想を十分につけて歌う ○「菊」鑑賞(レコード) ・ソプラノ獨唱 ○器樂 ピアノ，オルガンを中心に練習する ○作曲 拍子とリズムを與へて作曲する	1の(1) 1の(4) 3の(1) 2の(1) 1の(1) 1の(5)	
12	炭火 冬季日課開始	Old black, Joe	4	○「Old black Joe」歌唱 C. $\frac{4}{4}$ 2合 ・はじめての英語唱歌であるからよく歌い方を指導する ・發音を正確にする ・一音符に數音づつつける歌い方になれさ	1の(1) 1の(2)	

				せる ○「動物の謝肉祭(サンサーンス)」鑑賞(レコード) ・サンサーンスについて ○器樂 音樂會の爲の練習 ○作曲 形式について研究する	3の(2の(3) 1の(1) 2の(2)	
	自由研究發表會 寒くなり霜がおりる	いづこ行くか	3	○「いづこ行くか」歌唱 ES. $\frac{2}{4}$ ・視唱による ・發音に注意して正しく歌う ○「クリスマスの歌(ゴロツキー)」鑑賞(レコード) ・靜思 ○「絃樂四重奏曲 第一番ヘ長調(ベートーベン)」鑑賞(レコード) ・室內樂について ・ベートーベンの和聲美 ○器樂 音樂會のための練習 ○作曲 形式について研究する	1の(1) 1の(3) 3の(1) 3の(1) 2の(2) 2の(3) 1の(1) 1の(4) 2の(2)	
	音樂會 クリスマス	音樂會		○演奏 合唱 獨奏 ○鑑賞	1.2.3.4	
1	正月 寒入り 大寒	子守歌	3	○「子守歌」歌唱 D. $\frac{6}{8}$ 2合 (モツアルト) ・子守歌らしく歌う ・リズムを伴奏と一體によく合わせて歌う ○「子守歌(モツアルト)」鑑賞 ・ソプラノの歌い方 ○交響曲第四十一番ハ長調「ジュピター」の鑑賞(レコード) ・管絃樂についてのきき方 ○器樂 冬休み中習つたものを發表しあう	1の(1) 1の(4) 3の(1) 3の(1) 2の(1) 2の(2) 1の(1)	

	正月	老松	4	○作曲　正月にちなんだ作曲をする	1の(5)	
				○「老松」歌唱　C.$\frac{4}{4}$ 3合	1の(1)	
				・第二，第三聲部が樂器的な伴奏をしている合唱の面白さ		
				・合唱の表現力の豊富さ		
				・主旋律と第二，第三聲部との調和に注意して歌う	1の(2)	
				・伴奏部を交互に歌はせる	2の(1)	
				・リズム特に伴奏部を正確に		
				○「禿山の一夜(ムリルグスキー)」鑑賞（レコード）	3の(1) 2の(3)	
				・ムリルグスキーについて		
				○器樂　ピアノを中心として合奏する	1の(1)	
				○作曲　伴奏のつけ方を習う	2の(1)	
2	立春	故郷の廢家	3	○「故郷の廢家」歌唱　C.$\frac{4}{4}$	1の(1)	
				・よく知られている旋律であるが正しく歌うようにする		
	紀元節			・間奏の面白さ		
				・發想を十分にして歌う	2の(2)	
	先生と父母の會			○「故郷の廢家」鑑賞(レコード)	3の(1)	
				○器樂　個別練習をする	1の(1)	
				○作曲　伴奏のついた曲を研究する	2の(1)	
	公開研究會	かじやさん	4	○「かじやさん」歌唱　ES.$\frac{4}{4}$ 2合	1の(1)	
				・レコードと連絡して教える	1の(4)	
				・リズムを正しく歌う		
				・間奏の面白さ		
				○「歌劇トロバトーレのかじやさん」鑑賞（レコード）	3の(1)	
				・合唱の模範として		
				○器樂　リズム樂器の練習をする	2の(1)	
				○作曲　樂曲の解剖をする	2の(2)	

3	ひなまつり	ペチカ	2	○「ペチカ」歌唱　C.$\frac{4}{4}$	1の(1)	
	(學藝會)			・發想を十分につける	1の(2)	
				・獨唱的の練習をする	1の(3)	
	遠山の雪が段々消えてくる	たかね	4	○「たかね」歌唱　G.$\frac{4}{4}$，混 4 合	1の(1)	
				・親唱による合唱	2の(1)	
				・混聲による合唱のしかた		
				・和聲的なひびきに注意して歌う，合唱のほんとうの美しさ	1の(4)	
				○「賞をかち得て來たるを見き(ヘンデル)」鑑賞(レコード)	3の(1) 2の(1)	
				・混聲合唱の美		
				○「歌劇ローエングリン祝婚の合唱」鑑賞（レコード）	3の(1) 2の(1)	
				・合唱の美		
	彼岸			○器樂　各自の練習したものを發表する	1の(1)	
				○作曲　歌曲器樂曲を分けて批判し合う	1の(5)	
	修了式	學藝會		○演奏　器樂　合奏 ○鑑賞	1.2.3.4	

體育科學習指導年次計畫

立案の要旨

○四季を通して運動場に展開される子供の遊びから糸口を求め，運動の特質を考えて季節的に配當した。

○季節行事，設備，運動場の調子等や，子供の生活即ち子供の遊びと密接に關係を保ち，去年の體力測定の結果も題材選擇の上に考慮した。

○方法は子供の實狀に依つて考えられるのであるから全くの概略である民主的體育の方法について工夫して行きたい。

○目標となつている平均記錄は本年五月の測定の平均であるから，無理なく到達をめざしていいと思う。

○どこまでも當校を主に立案した試案である，實施した上での反省を備考にでも記しておいて，體育目的達成のための，よりよき來年度立案の素材ともなれば幸甚である。　22.9　鹽入生

月	季節と行事	子供の生活	題材	時間	學習活動	備考
4	始業式 入學式 天長節 花見 身體檢査 氣候よろし ほこり立つ		徒手體操	6	○基礎的な體力を養い，動作を輕快敏捷にし，スタイルを優美にするために必要なることを自覺する ○各運動を正確に行う	
			短距離走		○競走の時の作戰を練る ○時々タイムをとつてみる ○100mを 16秒（男）17秒（女）あたりを目ざして	
			ソフトボール		○壘間の距離約20m，人數10名を一チームとして行つてみる	
			ダンス		○表現技術の研究 ・自然運動によつて基礎的な身體をつくる	
			體育の目的		○身體的，精神的，健全を目的としていることを學ぶ	
			住居の衞生		○住居が衞生的になつているかどうかの檢討 ○より衞生的にする工夫	
			測定		○身長　體重　胸圍	

5	創立記念日 はなまつり 遠足 新綠 體力測定 運動場の調子よろし		徒手體操	12	○準備整理の運動としても大切であること，そして習慣的に行えるようにする ○緊張と弛緩のリズムの體得する	
			圍走		○走距離約 150m とする ○追い越す時のきまりを學ぶ ○團體の爲に力走する	
			ソフトボール		○ゲームに依つて得られる體育的効果について研究する	
			ベースボール		○能力等分のチームを作り個人の機會を均等にする ○打法，走法，投法の基礎を適格にする	
			ダンス		○表現技術の研究 ・自然な生活環境から取材したものを創作的表現にみちびく 例（よろこび，希望）	
			各種運動の解說と練習法		○主として徒手體操，器械體操について	
			病氣の豫防		○結核，近視，トラホームの豫防法を工夫研究する	
			測定		○體質檢診 ○體力測定 100m 幅跳 懸垂屈び 男 2000m 野球ボール投 女 1000m 排球ボール投	
			遠足			
6	小運動會 時の記念日 蓄の五月節句 農業期 さつま植え 麥刈 田植え 入梅 雨降り多く運動には適しない		脚懸け上がり	9	○高鐵棒で行う ○反動を巧みに利用する ○左右兩脚できるようにする ○兩脚懸けもやつて見る	
			幅跳び		○男は 410cm 女は 360cm をめざす	
			三段跳び		○跳ぶ調子が出たらそれぞれの全力を傾けてやる ○練習法を工夫する	
			ソフトボール ベースボール		○各パートを變更してみて最も適した場所を擔當する ○他級，他校との對抗試合をやつてみる	

	夏至 傳染病多し		ダンス 衛生 運動會	○作品の創作 ・表現，技術の研究の結果を作品として構成する ○病氣の豫防 むしば，傳染病，消毒 ○食物の衛生及國民榮養 ○體重及び體温の測定 ○短距離走 球技 ダンス		
7	梅雨あけて急に暑くなる 夏季特別時間劃 水泳 終業式		逆上がり ソフトボール ダンス 水泳 病氣の豫防 餘暇の利用	6 ○高鐵棒で行う ○一節，二節と區別してホームを考える ○懸け上がりと連續して行う ○チームワークについて工夫する ○作品創作 ・各自創作したものを鑑賞して創作に役立てる ○横泳，背泳，潛行飛込 ○救助法水泳心得 ○急性傳染病の豫防と手當 ○健全娯樂とスポーツについて	社會 農業 (六)家庭		
8	夏休み 七夕 お盆		水泳 旅行 測定	○友達と水泳する ○未熟者の指導にあたる 體重測定		
9	二百十日 始業式 展覽會 殘暑あり 夏季時間劃 彼岸 十五夜 氣候よくなる		懸け上がり 障害走 ハンドボール ダンス	○低鐵棒で長短兩懸垂でできるようにする ○高鐵棒でも習う 12 ○110mに，10個の障害物をおく ○踏切，着地，跳び方の工夫 ○障害物の數や種類は適宜に選擇する ○チームの標識を明らかにする ○正確なる判斷と果敢なる鬪志を養う ○生活環境から取材した題材にて表現技術の研究 ・(スポーツ　自然)		

			スポーツマンシップ 衛生	○實例について話しあう ○摩擦及び衣服の衛生について	理科…動物の生活 家庭…私の	
10	スポーツシーズン 運動會 快晴續き絶好の運動日和である 秋の農業期 さつま掘 稻刈 麥蒔		跳び上がり下がり 競走 高跳び スピートボール バレーボール ダンス 運動衛生 衛生 運動會	○高さ約 30cm の跳箱を用う ○空中の姿勢を工夫する ○各種の組分けを行う ○作戰をねらせる ○男は120cm　女は100cmをめざして. ○フライボールは手でグランドボールは足で處理する 12 ○人數を 9名にして行う ○作戰をねる ○作品創作の研究 ○叱られて ○障害防止　過勞，休養攝生について ○運動時の姿勢 ○體重呼吸の測定 ○100m 障害競走 ダンス　球技　リレー		
11	明治節 國民體育大會が開かれる 村祭 遠足 紅葉 體力測定 寒さ急速に加わる		跳び越し サッカー バレーボール ダンス 國際競技 衛生 遠足	○跳箱の高さは約120cm位にする ○腕を跳び上り下りを行う ○腕立跳び越しを行う ○ホームをきれいにする ○基礎練習と作戰を主とするゲームを行う ○ゲームを通しての基礎練習と連絡を工夫する 12 ○生活感情から取扱して創作の研究 ・想い出　愁い ○オリンピック競技會その他の國際競技會の概要と外交との關係等を考察する ○寄生蟲病の豫防と手當について ○體力測定	英語二ノ六	

	木枯しがほこり多し		跳び越し		○高さ約80cm の跳箱を横にして用う ○腕立て横跳び越しを行う ○腕立て開脚跳越しを行う ○遂次ホームをととのえる
	暮どけは校庭一面になる		バスケットボール		○ボールボールを準備として行う ○人數をへらして五人一組でやつてみる
12	多季時間割			12	○反則と罰則をきめる
	終業式		馬遊び		○數人組で跳乘りして遊ぶ
	多休み		ダンス		○作品の鑑賞 ・專門舞踊の鑑賞 ・舞踊者の態度
	多至		體育史		○世界體育史のの略を學ぶ
			看護法		○簡單な內科，外科の看護法
	正月		轉回		○腕立て背支持前方轉回を行う ○倒立姿勢より轉回を行う ○助走の後高さ約60cm の跳箱上で轉回する
	始業式				
	寒に入りな厳寒となる		バスケットボール		○シート，パス等を講學的に練習する ○作戰をねる
1	寒休み		なわ跳	6	○歌曲に合せて跳ぶ ○走りながら跳ぶ ○長くとびつづける
			押し合い		○すもうを行う ○團體で圓外に押し出し引き出しをする
			社會體育		○社會體育の施設の現狀とその重要性について學ぶ
			救急處置		○貧血，日射病，てんかん ○切傷，止血，骨折
	節分		倒立		○交互に輔助して倒立をする
	立春				○競爭 ・時間，姿勢，歩く距離
2	紀元節			9	
	音樂會		長距離走		○2000mを何分で走れるかを試みる ○女子は1000mを走る
	雪降り多し		雪遊び		○雪中の歩行，鬼事 ○雪投げ，雪あて ○スキー，スケート
	寒さまだ強し		ダンス		○創作の發表會

					・1ヶ年間やつた表現技術の創作の發表
			家庭體育		○家庭體育のありかたについて
			職業の衛生		○職業別疾患の傾向と對策について
	學藝會		年度末試合		○學級，班，紅白，通學區等の對抗ゲームを行う ○種目は既習題材の中から選ぶ ○全部の生徒に機械を均等にする
	初午			9	
3	修了式				
	寒さやわらぐ		體育的反省		○體育的効果の反省をする ・體格，體質，位力の向上 ・精神的方面への影響 ・衛生的習慣の形成
	彼岸				

圖畫工作科學習指導年次計畫

立案の趣旨

○子供の學習は季節と行事，子供自身の興味，生活の實態，各教科の目標などがうまく融合して始めて學習指導の效果があがる，さうした立場から各項目を圖工の特殊性によつて愼重に決定した。

○季節と行事は子供の學習意慾や興味の誘導に非常に大切なものであるから圖工の立場から特に重用な關連行事をあげた。

○季節と行事から子供の生活がどう進展し，どんな事に特別な關心をもつかどんな生活實態を展開するか子供の生活を素直にながめてその內容とした。

○中學校に於ては各教科の獨自性，各教科の目標が非常にはつきりとするので子供の生活からの出發より教科の目標からの出發が强いので子供の生活の項目を省いた。

○季節行事，子供の生活，圖工の目標からどんな學習素材によつて學習活動することが大切か，つまりどんな學習內容が生れるかをあらゆる點からながめて學習素材の項目にあげた，題目でなくどこまでも學習活動の內容から生れた一ツの素材であると考えた。

○學習活動は各單元のもつ目標を子供自身が達成するための自發的な活動と考えて，重要な生き生きとした實際活動を具體的に記した。

○單元は文部省試案の單元をとり，それに獨自の單元を少し考え，量的には試案に示された比率によつて決定した。

○學習目標は特に重要な點のみをあげて一般的な圖工の目標は出來る限り省略した。

○連絡注意は各教科と細部にわたつて再三打ち合せて系統的な縱と橫の關連をはかつた。

○考査の判定は大別された方法のみで細かい具體的な內容は省略した。

○行事とにらみあわせて時間的な增減と學習素材とは密接な關連をはかつた。

○一年間の細部にわたつて授業時數を綿密に計算して，それにもとづいて各學年共授業總時間數を考えた。

○寒，暑さを考えて單元の配當を愼重に決定した。

月	季節と行事	子どもの生活	學習素材	學習活動	目標及び單元との關係	連絡と注意	效果判定
4	始業式 入學式 花見 遠足 春の節句		○美術史と美術鑑賞 (6)	○日本美術史の大要と日本畫西洋畫の鑑賞について ○明治大正昭和の日本美術 ○東洋古來の建築物にみられる美術鑑賞 ○有名な繪畫について ○西洋の繪畫	○美術常識の單元 ×美術の常識を高める ×美術史について理解する ×美術について關心を高める		
5	憲法記念日 新緑感謝の行事 遠足 端午の節句 創立記念日 校外會讀書 夏休み		○石膏デッサン(幾何形) (2)	○アグリッパ ヴイナス アポロの半面像を鉛筆で寫生する ○白い石膏の感じ質感，量感をとり出すようにする ○顏の立體感一面で見ていく ○陰影をしつかりと把握する	○寫生による描寫の單元 ×寫生の基本の描寫力を高める ×觀察力をねらせる ×面的に描えていく力をねる	○順位決定法	
			○色立體について (2)	○色は大別すると有彩色と無彩色とになること ○無彩色の性質，明度差直線的配列 ○有彩色，あかいろいろ，きだいろいろ，あおいろいろ， ○無彩色と有彩色の關係性 有彩色の直線的配列，明度彩度の三屬性を合理的に一つにまとめると色立體になる	○色彩調査表	
6	時の記念日 入梅 蚊帳 灸刈り		○電氣の自由工作 (6)	○電氣を利用し應用した工作 ○ラヂオ，ヨンロ，モター，トランス 電車，汽車，扇風機等を自分で設計したりして作る ○電氣の知識的研究と技術を我に習らつくる ○實際に使用出來るようにつくる	○目的きまりの單元 ×電氣についての理解を深める ×電氣工作に興味をもたせる ×工夫，考案力を	○記述尺度法 ○理科 ○工業「電氣」	

					ねる ×科學力をねる		
	農繁期 田植 農休 夏至		○立體圖案（時計類）(4)	○時計，皿，どんぶり等の日常器具機械を中心として圖案する ○新鮮な美しい形と機能の研究 ○表現法は各自由なるも斜投影か姿圖法にする ○色彩をていねいにほどこす ○寸法は自由（記入しても記入しなくともよい）	○圖案の單元 ×圖案力をねらせる ×構成力をねらせる ×眼と手をねらせる ×創造力をねらせる	○工業	○一對比較法
7	七夕 土用		○簡易謄寫機 (6)	○名刺板にすつたり，はがき板にすつたりする位の謄寫板をつくらせる ○臺，わくを別々につくつて金具でとりつける ○とりつけ方は自由に工夫する ○ローラーは小さいのを買う ○實際に印刷して使用する ○工夫して新しいものをつくる	○木工の單元 ×簡易の器具類の制作をねる ×木工製作技術を高める ×正確な製作態度を養う ×實用品製作の興味をねらせる	○工業	○記述尺度法
			○靜物 (2)	○靜物を自由に組み合せて寫生する ○野菜，果物，器物，びん，かご類などを中心として自由に考えてモデルをつくる ○全體の感じ面の把握，質感を研究しながら描寫する ○水彩畫として仕上げる	○寫生による描畫の單元 ×觀察力をねらせる ×寫生の態度をねらせる ×構圖力を養う		一對比較法
	終業式 夏休み		○表紙圖案 (2)	○夏休みの友や，學習帳を中心として表紙圖案を考える ○便化の方法文字圖案の方法をしつかりと行う ○中の文にあつたように表紙を圖案する ○クレヨン，クレパス，水彩などで仕上げる	○圖案の單元 ×創造力をねらせる ×構成力をねらせる ×色彩配合になれさせる ×表紙に對する理解を深める		記述尺度法

9	二百十日 二學期開始 始業式 水泳大會 研究發表會 後岸 十五夜		○夏休みの作品發表會 (2)	○夏休み中の繪畫の作品，工作品研究物を中心として作品の發表會を行う ○作品を中心として研究の要點，製作上の苦，心一番大切なところ等を中心として ○反省とデスカツシヨン	○鑑賞の單元 ×鑑賞力を養う ×計畫力を養う ×發表力をねる	○社會科 理科 工業	
			○開展椅子の製作 (6)	○開展椅子の設計，製圖，製作を行う ○開展の仕組み，材料，組み立ての要領などをよく研究する ○木，竹を中心として組み立てに，ねぢを用う ○材料を少く丈夫に作る工夫をする ○足が四本にても自由に持ちあるき出來るように	○木工の單元 ×考案力をねる ×木工技術をねらせる ×設計力をねる ×材料についての研究を高める	○工業	記述尺度法
10	稻刈り 運動會		○材料利用の自由作 (4)	○各自空罐や木材，竹材，金物等にある材料を見つけて自由なものを作る ○材料を生かすように工夫して有用なものを作る ○工具の使用法，材料の價値などをよく研究しながら	○材料ありの單元 ×工夫，考案力をねる ×材料利用の態度を養う ×利用更生の力をねる		記述尺度法
			○秋の景色 (2)	○秋の紅葉した景色を寫生する ○校庭，山林，田畑などでよく構圖を研究して行う ○遠近法と遠近による色彩の變化形の變化について ○紅葉した美しさの表現法	○寫生による描寫の單元 ×觀察力をねる ×風景寫生になれさせる ×描寫力を高める		一對比較法
11	明治節 遠足 紅葉		○配色と生活 (2)	○生活上に特に使われている配色例 ○かべの色とカーテン，服裝と調度品 ○建物の樹木 ○街の色と田舍の色 ○色の最も注意されて使用されているところ	○色彩の單元 ×色彩應用力をねらせる ×構成力を高める ×生活美化の態度をねる	○家庭科	記述尺度法

			○空氣利用の工作 (4)	○紙鳶その他の空氣を利用して自由なものを作る ○變形，展開，切斷によつてそのまゝの形を生かしたり，全然違つたりして作る ○モーター，トランス，電車，汽車，自動車などもつくつて見る ○金工として折り曲げ，切斷ハンダ付けなどを特に研究する ○設計し製圖して行う	○材料ありの單元 ×材料活用の態度を養う ×工夫考案力をねらせる ×金工の技術を高める ×意匠の力をねらせる	○工業	記述尺度法
	お祭り		○器物の機能研究 (2)	○日常使用されている器物や器具類の多くはその使用目的の上から將來改良すべきところはないかどうか研究する ○火ばちはどんな目的で作られたのか ○火ばちはどんな形のものがあるか ○火ばちはどんな材料で作つてあるか ○椅子，戸だな，きゆうすその他の工具，自動車，船など ○自分で研究して報告し合いデスカッションする	○形體の單元 ×形と機能の關係を理解する ×形の合理化の工夫する ×科學的合理的な力をつける ×美的感覺をねる	○家庭科	記述尺度法
12	防火デー 音樂會 多至 二學期終業式 冬休み		○用器畫 (4)	○立體圖法の中で正投影圖法を行う ○立體の投影を行つて製圖する ○投影圖法の理論的なものと製圖（正多面體，角錐，圓柱） ○相貫體展開などを特によく研究する	○製圖の單元 ×製圖力を高める ×正確な描圖力をつける ×圖法の興味をねる ×圖法の理解をする		記述尺度法
			○冬に有用なもの (2)	○點線，面の基本をよく研究しながら ○自分又は自分の家で冬になつて必要なもの有用なものを作る ○自分でよく考えて使用目的，使用する時の便，不便などから設計する	○目的きまりの單元 ×工夫考案力をねる ×設計用をつける ×實力品製作の興味をねる ×計畫性を養う	○家庭科	○　○
1	正月 冬休み 三學期始業式 春の渡り鳥 大寒		○製圖 (2)	○機械製圖の簡單なものを行う ○回轉體，キー，キーみぞ，ハンドル，ボルト，ナット，軸接手調べ車など ○トレースによつて製圖や機械製圖の初歩をする ○又は簡單な實物によつて實測製圖を行う ○又は工具類の實測製圖など	○製圖の單元 ×機械，製圖の初歩的技術力を高める ×機械製圖の興味をねる ×規格を理解する	○工業	記述尺度法
			○彫刻盆 (4)	○形，圖案の單元と連絡を保ちながら彫刻盆の設計製作を行う ○自分の任意な大きさで圖案して設計する ○彫刻刀の使い方，ほり方などをよく注意して練習する ○模様をほつてから塗裝したり塗製してから彫刻したり，いろいろ研究する ○自分の勞作によつて作品を愛し他人の作品を尊重し使用能力や消費能力を研究する	○木工の單元 ×彫刻力をねる ×構成力をねる ×消費能力をねる ×工夫，考案力をねる ×意匠力をねる	○工業	記述尺度法
2	春立 豆まき 節分 初午		○ラヂオ部品の圖案 (2)	○ラヂオの部品を圖案する ○自分の描き易い圖法で描く ○使用目的からどんな形がよいかどんな形が美しいか ○新しい形と美しい模様 ○どんな材料がよいか研究する ○色彩をほどこして仕上げる ○作りたいものは自分で製作して見る	○圖案の單元 ×考案力をねる ×意匠力をねる ×科學的機能美を理解する ×合理的美に關心をもつ	○工業 ○理科	對比較法
			○有用なものの自由製作	○材料から目的を考えたり目的から材料を考えたりして自分で自由に役に	○目的きまりの單元	○工業	記述尺度法

			(男)(4) 女（手藝）	立つようなものをつくる ○ペン皿，さじ，おろしがね，がん具ねじまわし，ナイフ　小刀，本立，額縁など ○女は主として手藝的なものを行う， ○手提げ袋，ハンドバッタ，テーブルセンター，ぞうりの表などをよく研究する ○日本ししゆう，フランスししゆう，その他いろいろの縫い方を研究する	×工夫　考案力をねる ×創造力を高める ×實用品製作の意慾を高める ×日常生活の注意力をねる		
			○模型製作 (2)	○科學的な模型の製作を自由にする ○モーター，トランス，舟，汽車，汽船，自動車などを中心として研究する	○材料ありの單元 ×科學的態度をねる ×精密製作の意慾を高める ×模型技術力を高める ×工夫力をねらせる	○工　業 ○理　科	記述尺度法
3	句會 節會 桃の藝術會 展覽會 父兄會		○同 (2)	○動く模型として蒸汽電氣の應用されたもの ○材料は部分品を買つたり，自分で製作したりして完全なものを使う ○理論の勉强と技術とを共にしつかりと行う ○製作したら走らせたりする研究發表もする			
			○說明圖に於ける各種の表現 (2)	○立體を表現するのにどんな方法が工夫されているか ○直方體のようなものを見るとき…軸測投影圖法のようなもの，源氏物語繪巻 ○物の正面を原形どおりにかき，奥行を示すのに斜の平行線をかく…春日權現驗記繪巻 ○透視用法 ○その他の方法の描法をいろいろと研究する	○美術常識の單元 ×各種の表現法を理解する ×表現技法をねらせる ×考察力を高める		記述尺度法

	彼岸 修了式		○工具の手入れと修理 (1)	○鉋丁類，はさみ類，小刀類，のこぎりのみなどの工具を中心として研磨手入れを行う ○兩刃片刃のとぎ方各種 ○砥石の種類と使いわけ ○グラインダーを使用する ○工具の柄のつけ方を研究する ○保存の仕方を考える	○工具，備品の手入れ取扱いの單元 ×工具を大切にする態度をねらせる ×手入れ，修理の技術を高める ×合理的な手入れ法を理解する ×關心を高める	○工　業	記述尺度法

職業科農業學習指導年次計畫

立案の趣旨

○第2學年では「土地勞力資本はどんなにしたら合理的に使えるか」に指導の重點をおき，土地利用勞力の調整肥料の活用の面から指導をすすめるように計畫した。

○鄉土の實情から農業工作養畜經營と栽培技術土地利用の諸單元には多くの時間をかけ又養蚕山林の單元にはそれぞれ5％ほどの時間しか配當をしなかつた。

○社會科とは全般的に關係が深いので特別な場合だけ書いておいた。

○必修總時限140時を原則として計畫した。

○農業の特殊性をかんがえ6月および10月の農繁期にも特別配當時限をへらさなかつた。

○題目については興味感や必要感を喚起するために問題式作業式のものを適當にとりいれた。

○學習活動は必ずしも學習順序を意味しない，適當に變更することもとより當然である。

○鄉土の特色からみて教科書にはないが，さといも，ごま，とうがらし，うど，みつばなどを適當にとりいれた。

月	季節と行事	題目（配當時間）	學習活動	單元	科目との關連
4	○始業式 入學式 ○春 ○つばめくる ○櫻の花が咲く	どんな作物を作つたらよいか（2）	• わが國で作られている作物しらべ • 適地適作についてしらべ話しあう • 土地と氣候との關係をしらべる（みかん りんご さつまいも じやがいも さといもなどについて考察してみる） • 消費地と輸送貯藏について話しあいしらべる • 日本の食糧の不足の狀況と收量しらべ • 輸入農產物と輸出農產物についてしらべ話しあう	1. 土地を高度に利用するにはどうしたらよいか（土地利用その一）	理科（土）
		鄉土ではどんな作物を作つているか（3）	• 鄉土で作られている作物をしらべる • 面積，種類，品種，用途時期などをしらべ話しあう	同前	社會單元1.2.3 家庭科
		作付の近年になつてから增加したもの，減つたものについてしらべ原因を考察してみる • 鄉土の作物の歷史しらべ • 栽培面積のほぼ一定している作物と年々變る作物しらべ			
		作物はどんな順序で作付したらよいか（2）	• 鄉土の作物しらべと話しあい • 連作，輪作の研究 • 鄉土の土地利用の狀況をしらべる • 間作，混作のしらべと研究 • 土地利用を高める工夫	同前	
		草花のたねまき（1）	• 作つてみたい花の統計をとつてみる • 花の作り方と花の役割について話しあいたねまきをする • 手入れについての話あい • 繼續的に觀察する	3. 庭と花（土地利用その三）	理科（草木） 家庭（季節と生活）
	○苗代をつくる	分擔の畑の經營（2）	• 作物栽培種類品種の決定 • 栽培計畫表の作製と話しあい，吟味，批評 • 肥料，勞力の計畫と研究 • 販賣の方法，價格の話しあい	1. 土地を高度に利用するにはどうしたらよいか（土地利用その他）	
	○天長節	飼育當番（1）	• 山羊，兎，にわとりの世話の當番をきめ世話をする • 當番の注意事項の話しあい	7. 養蚕	
		さといも作り（1）	• さといも さつまいもの栽培上のちがい研究 • たねいもの見分け方の話しあいと實習 • 前後作しらべと一反歩必要種いも量しらべ • こやしいれたねまき	6. 經營と栽培技術とはどんな關係があるか	
5	○新憲法實施記念日	宅地はどんなように利用したらよいか（1）	• 各自の宅地の利用のようすをしらべ話しあう • どんなものがうえられているかしらべてみる • 庭の役割を話しあう	庭と花（土地利用その三）	
	○こいのぼり ○青葉となる	とうがらしうえとごまのたねまき（2）	• 嗜好料作物としてのとうがらしの作り方品種土質について話しあい苗をうえる • 鄉土のごまの栽培面積と收量用途しらべと話しあい • ごまのたねまき • 夏刈りとうもろこしのたねまき，栽培法，用途の話	2. 工藝作物（土地利用その二） 7. 養蚕	
	○遠足				

			しあい			
	○創立記念日	どんな場所にどんな庭が必要か (1)	• 洋式の庭と日本の古い庭の特ちようをしらべ話しあう • いろいろな草花や花木の性質，用途，作り方のあらましをしる • 草花の苗うえ • 手入れと話しあい	3. 庭と木（土地利用その三）	家庭科（季節と生活）	
		郷土にはどんな庭があるか (2)	• 春の庭の見學，話しあい • 簡單な垣根，生垣の作り方を研究する • 木の配置，木の形，枝ぶりの研究 • 教科書や參考書をよむ • 庭を持つ人の話をきく	同前	同前	
	○健康週間	肥料の計畫はどんなにしたらよいか (3)	• わが國の肥料の消費量と外國の消費量と比べどうしてわが國の消費量が多いかしらべ話しあう • 肥料の上手な使い方の研究と話しあい • 肥料の生產について話しあう • 肥料缺乏と土質作物の品種との關係しらべ • 肥料試驗中のようすを觀察する • 今年の肥料の計畫をする	5. 肥料を無駄なくするにはどうしたらよいか		
	○傳染病豫病	金肥の供給はどうなつているか (2)	• 昨年の家や學校えの肥料の配給量しらべ • 肥料の生產高しらべ • 化學肥料の性質をしらべ話しあう，施し方の研究 • 參考書をよむ	同前		
		ねぎの栽培と土地利用 (3)	• ねぎ苗の觀察と反省 • ねぎ栽培の研究，うね幅株間しらべ • 栽培期間，後作，前作の研究と話しあい • ねぎ作りと土地利用研究 • こやしやり，うえつけ • 白い所を多くし太くするくふうをする • 收量をあげる手入の研究 • ねぎのうえかえ • ねぎの間作の研究	6. 經營と栽培技術とはどんな關係があるか		
6	○小運動會 ○田うえ	さつまいもの苗うえ (2)	• よい苗の吟味 • 節數，太さ，葉の數，わきめの有無，重さしらべと收量の研究 • 苗のうえ方　時期と收量を研究し話しあう • 氣温と品種との特ちようしらべ • 苗きり實習，苗うえ • こやしについての話あい	6. 經營と栽培技術とはどんな關係があるか		

			• 一反歩の本數調べと話あい • くさとり，つるあげ			
	○時の記念日	麥刈り (3)	• 鄉土の麥刈り時期しらべ • 大麥と小麥の刈り時のちがいしらべ • 麥刈りの方法について話しあい實習 • 麥刈り，麥こきの能率をあげる工夫しらべ • 反當り收量しらべ • 貯藏法の話しあいと害蟲の防除法研究 • 藥劑を使つて防ぐ方法のしらべと話しあい實習	同前		
	○入梅					
	○麥刈り	農作の繁閑 (2)	• 作物の手入の忙しさ具合を折れ線グラフに表してみる • 忙しい仕事が重つた時の工夫を研究する • 季節と作物と仕事との關係しらべ • 勞力不足場合の能率化の話しあい • 一年間の勞力の繁閑しらべ畑，水田と比べる	4. 農業の繁閑を調節するにはどうしたらよいか		
	○夏至					
		農業はどんなようにして緩和するか (3)	• 作付面積と家畜の有無との關係しらべと話しあい • 作付面積と動力農具との關係しらべと話しあい • 近年になつて改良された仕事の研究 • 仕事の熟練のくふう • 草とりの時期と回數の研究 • 能力の高い農具をとり入れるくふうの話しあい • 共同作業の利益について研究し話しあう • 農業の調節の話しあい	同前		
7	○七夕	たい肥や綠肥はどんなにして作るか (4)	• 自然肥料と配給肥料との特徴をしらべ話しあう • 有機質肥料と微生物との關係しらべ • 自給肥料の作り方研究 • 鄉土での堆肥の作り方しらべと話しあい（材料時期） • 速成堆肥作り • 家畜の飼育と自給肥料の研究 • 綠肥作りとその効果研究	5. 肥料を無駄なくするにはどうしたらよいか	理科(土) 理科(微生物)	
	○公開研究會					
		肥料の成分 (3)	• 肥料の成分と効果との關係しらべ • 窒素，燐酸，加里の形態しらべ • 硝酸態窒素を含む肥料の使い方研究	5. 肥料を無駄なくするにはどうしたらよいか	理科(土)	

			・有機質肥料の効果しらべ ・肥料試験中の麥の育ち具合をみる			
	○土　用	肥料の使い方(2)	・郷土の肥料の施し方しらべと話しあい ・酸性，アルカリ性の土と酸性，アルカリ性の肥料についてしらべてみる ・酸性の土の改良を話しあう ・正しい肥料のまぜ方の科學的研究	同　前		理科(土)
	○終業式	穀物を貯藏するにはどうしたらよいか(1)	・郷土の穀物の貯藏方法をしらべてみる，話しあう ・麥や米の貯藏法の研究 ・虫害の時期しらべと話しあい ・燻蒸法の研究	6.經營と栽培などと技術とはどんな關係がある		家庭科(貯藏した食品)
		畑の手入れ(1)	・青刈とうもろこし，さといも，ごま，とうがらしの手入れ，追い肥，くさとり，かたぎり	2.工藝作物(土地利用その二)		
9	○始業式 ○二百十日 ○夏休み研究發表會 ○水泳大會	わが國の養蚕はどんなにして發達したか(2)	・昔の衣服しらべ話しあい ・わが國の養蚕發達の歴史について話あう，教科書や參考書を讀む ・生糸の輸出狀況しらべと養蚕業の將來について話あう ・郷土における養蚕業の實狀を話しあう ・氣候や土地と養蚕との關係をしらべる　話しあう	8.養　蚕		理科(きもの) 社會科
		桑の栽培はどんな點を改良したらよいか(2)	・郷土の桑の栽培しらべ ・桑の品種と收量との關係をしらべ話しあう ・桑の植えつけ苗の仕立方一反歩の本數などをしらべる ・桑の皮の利用法の研究 ・桑の栽培の研究 ・桑園の間作研究	8.養　蚕		理科(きもの)
		蚕の飼育の要點はどうか(3)	・蚕の系統，品種，選擇の條件しらべと話しあい ・蚕室の研究 ・勞力についてしらべ話しあう ・飼育の回數，消毒，掃立飼育の樣式，上蔟の仕方しらべと話しあい ・生糸の用途と副産物の利用 ・蚕病の研究 ・收繭の方法研究 ・蚕の選別法のしらべと話しあい ・製糸業の話しあい	同　前		理科(きもの)
	○彼　岸					

		庭の改造(2)	・秋の庭の觀察と手入れ話しあい ・家の庭にうえられている植物の吟味 ・秋の草花の苗うえ ・家の庭の設計，研究 ・庭の改造案作りと反省比判話しあい ・庭の改造	3.庭と木(土地利用その三)		家庭科(季節と家庭生活)
	○十五夜	庭木の植えつけと手入れ(3)	・庭木の手入と植え方實習 ・草花や花木の性質用途作り方の研究 ・かき根，生がきの作り方しらべ ・石組や水のとり入れ觀方案 ・木の配置，木の形，枝ぶりの研究	用　前		同　前
10	○蟲とり	わが國と養蚕(4)	・養蚕の歴史しらべ ・郷土の家蚕しらべと話しあい(品種，頭數，利用) ・農業經營と家蚕飼育の關係を研究する ・牛，馬の一日の勞働力一年に活動する日數をしらべ話しあう ・無蚕農家と有蚕農家との相違をしらべ話しあう ・馬と牛との特色の相違をしらべ話しあう	7.養　蚕		理科(動物)
		家蚕にはどんな種類があるか(2)	・家蚕の種類しらべ ・郷土の家蚕の種類と土地氣候，飼料との關係しらべ ・郷土から出している蚕産物入れている蚕産物について話しあう ・わが國の蚕産物をしらべ話しあう ・家蚕の飼育上の特性しらべと話しあい ・家蚕を飼育する上に問題となることについてしらべる ・家蚕の將來について話しあう	7.養　蚕		理科(動物)
	○みのりの刈	どんな飼料があるか(3)	・家蚕の飼料しらべ ・家蚕の購入飼料と自給飼料しらべ ・郷土で使われている飼料しらべと話しあい ・濃厚飼料を與える時期について話しあう ・自給飼料作り ・青刈とうもろこし作り ・千草　埋草作り ・飼料の養分しらべ	同　前		理科(動物)

	○稲刈り ○十三夜	畜力農具にはどんなものがあるか (3)	・教科書をよむ ・畜力農具の歴史をしらべる ・郷土で使われている畜力農具をしらべ話しあう ・畜力作業の能率をしらべ話しあう ・すきの研究 ・家畜の一年に於ける使用日數と耕地面積との關係を研究する	同　前	理科(動物)
	○運動會	養　魚 (1)	・わが國の養魚の種類しらべ ・郷土と養魚についてしらべる ・水田と養魚についてしらべ話しあう	同　前	理科(動物)
	○紅　葉	とうがらし ごまのとりいれ (3)	・熟れ方の見分けについて話しあう，とりいれ ・乾燥，貯藏法の研究 ・用途，販賣先の話しあい ・加工法の研究	2.工藝作物 (土地利用その二)	
11	○明治節 ○おまつり ○霜	工業作物とは何か (1)	・郷土で作られている工藝作物をしらべてみる，話しあう ・わが國で作られている工藝作物しらべ ・工藝作物の種類用途についての話しあい ・工藝作物見本園作り	2.工藝作物	
		繊維をとる作物にはどんなものがあるか (2)	・郷土に栽培されている大麻，桑の品種，用途，栽培法についてしらべ話しあう ・わが國に作られている繊維をとる作物についてしらべ話しあう ・大麻の栽培の歴史について研究する，話しあう ・輸出，輸入されるせんいをとる作物について話しあう	2.工藝作物	理科(きもの)
		嗜好料や薬用になる作物にはどんなものがあるか(2)	・郷土につくられてる嗜好料薬用になる作物をしらべ話しあう ・茶，しょうが　とうがらし，たばこ，からしなの栽培についてしらべ話しあう ・嗜好料作物の將來について話しあう ・除蟲菊，ヂキダリス，はつかりんどう，とうごまの栽培について研究し話しあう ・わが國の薬用作物の將來について話しあう	2.工藝作物	理科(きもの)

			・郷土の土地氣候からみて將來性のあるものについて研究する		
		油や蠟をとるものにはどんなものがあるか (2)	・郷土のごまのつくり，作付面積　收量などをしらべる話しあう ・ごま　なたね　から油をとる(家庭學習) ・郷土の作付の將來について話しあう ・わが國の油や蠟をとる作物についてしらべ話しあう	2.工藝作物	
		糊や糊粉や砂糖をとる作物にはどんなものがあるか (1)	・ゆり，じやがいも，わらび，くず，てんさい，さとうきびの栽培と用途の大要について話しあう ・郷土での將來性あるものを語りあう	2.工藝作物	
		工藝作物の今後の見透し (2)	・その他の工藝作物についてしらべ話しあう ・郷土の實情からみた工藝作物について研究する ・輸出品としてのわが國の工藝作物について研究し論文をかく ・將來の見透しの話しあい	2.工藝作物	
		農閑はどんなふうに利用するか (2)	・郷土での農閑の利用のようすをしらべ話しあう ・自給肥料(たい肥)作り開墾，竹細工，わらざいくについて話しあう ・利用の新しい工夫について話しあう	4.農業の繁閑を調節するにはどうしたらよいか	
		さといもの取入れ (2)	・品種と收量との比較吟味 ・いも穴作り，昨年の反省 ・貯藏法の研究	6.經營と栽培技術とはどんな關係があるか	理科(家) 家庭科(わが國の住居)
		コンクリート工 (2)	・コンクリートの型板作り ・コンクリートの練り方 ・コンクリートの持ち込み塗り方の研究と實習と話しあい ・コンクリート作業の調節についての話しあい	10. 農業工作	
12	○防　火	森林の手入れはどんなにしたらよいか (3)	・郷土の山林手入れの方法回數しらべ話しあい ・下刈り，技打ち，つなきり，間伐をするわけと方法について話しあい實習する ・どんな林地に雜草や雜木が多いか觀察する	9.森　林	
		森林はどんなに利用されているか (2)	・手入れをしてとれた原木の利用について話しあう ・山林と農業經營について	9.森　林	

			その關係をしらべる ・山林の効用研究 ・教科書をよむ參考書をよむ ・林産物についてしらべ話しあう（用途，種類） ・林樹の種類しらべ ・鄉土の森林面積調べ 共有林 官有林等の割合しらべ		
	○音樂會				
		炭燒き (1)	・炭材はとんなものがあるかしらべてみる ・鄉土の炭やきの方法について研究し話しあう ・原材の量と出來る炭の量とを比べてみる	・森 林	理科(火)
		どんなにして造林したらよいか (2)	・林樹はどの位になつたらきまるかしらべてみる ・用途の研究 ・いろいろな造林法を教科書や參考書でしらべ聞き話しあう	9.森 林	理科(植物)
	○多 至		・苗の仕立て方をしらべる觀察する ・山林の更新法しらべ ・山林の災害しらべとその防除の方法を研究する		
	○終業式	たけ切り(1)	・たけきりの時期について話しあいたけきりをする	10. 農業工作	
		わらざいく (3)	・鄉土わら工品とその用途しらべ ・なわない（太いなわ細いなわ） ・むしろ，こも作り ・わらし，ぞうり作り ・きかいでなわない ・なわない機の手入法の研究 ・仕掛けしらべ ・回轉軸，回轉方向研究 ・摩擦車と齒車の働らきの比較研究 ・捲きとり機の研究 ・荷作りの研究 ・結び方の實習	10. 農業工作	
	○クリスマス				
1	○元 旦 ○寒入り ○始業式 ○多休み研究發表會	うさぎ小屋作りと鉢だな作り (6)	・間伐材を使つて作る ・うさぎ小やの觀察と話しあい吟味 ・設計製圖 ・材料の準備と話しあい ・うさぎ小や作り ・鉢だなの設計と製作	10. 農業工作	
		とり小屋作り (4)	・とり小屋の觀察と話しあい	同 前	

	○おたりや		・とり小屋の設計製圖 ○製作(家庭) ・ぶた小屋，やぎ小屋の修堆		
	○大 寒	おちば集め (2)	・堆肥の材料について話しあう ・おちばあつめ ・おちばの肥料分について話しあう	4.肥料を無駄なく使うにはどうしたらよいか	
2	○立春まめまき	たけ細工 (6)	・たけぼうき作り ・たけの性質しらべ ・たけわり方，まげ方，さき方の實習と話しあい ・熊手，かご作り	10. 農業工作	
	○初 午 ○展覽會	フレーム作り (6)	・フレームの用途について話しあう ・フレームの材料についてわら，木材，煉瓦，コンクリート，大谷石などの特長をしらべ話しあう ・フレームの設計と批評 ・フレーム作り ・構造と性能について話しあう	10. 農業工作	
	○父兄會	みつば軟白とうど作り (3)	・みつばの軟白研究 ・軟白溝の設置 ・踏込み ・詰込み ・管 理 發芽までの溫度しらべ 發芽後の溫度しらべ ・うどの性狀の話しあい ・うどの利用，品種，栽培法の話しあい ・軟化圃場作り ・軟化盛土の目的方法についての話しあい	6.經營と栽培技術とはどんな關係があるか	
	○公開研究會				
3	○ひなまつり ○梅の花咲く ○學藝會	みつば軟白とうど作り (2)	・みつば軟白溝の管理 ・發芽後の溫度しらべと調節の方法の話しあい ・收穫と荷作りの方法實習 ・うどの圃場の管理收穫荷造り ・軟白法の原理研究と話しあい	9.經營と栽培技術とはどんな關係があるか	
		うさぎのはぐひ (2)	・うさぎの殺し方話しあい ・うさぎ殺し ・はくひ ・なめし方の原理方法のしらべと話しあい ・なめし方實習 ・用途加工の研究	7.養 畜	
	○終了式				
		二年生の反省 (2)		1.土地を高度に利用するにはどうし	

			たらよいか	
○彼岸			（土地勞力資本はどうしたら合理的に使えるか）。	
	來年度の計畫(2)		農業の經營はどんなにしたら堅實になるか	

職業科工業學習指導年次計畫

立案の要旨

○中學校に於ては各教科の獨自性，教科目標が非常にはつきりとしているので單元の目標から學習素材が强く浮び出されるので，子供の生活を省略して學習內容と單元の目標に重點をおいた。

○指導が各教科の專門に移されるので季節と行事も特に重要な點をあげて學習活動との關連をはかつたがむりに連絡をつけようとしなかつた。

○夏季冬季の特別日課をしない考えから一年間の授業を計算した。

○工業はまだ指導要領が出ていないのでわかつている範圍內で研究して簡單にその內容を記した。

○時間的な配當も獨自の考えで生徒の實情に應じて決定した。

○單元も大きく二ツか三ツになつているので學習素材は出來る限り土地の獨自性をあげた。

○單元の順序も文部省案と必ずしも一致せず生徒の興味と實力に應じて順序を考えた。

○單元が非常に工作と近いし密接な關連があるので工作の指導法と特に關連つけた。

○指導要領を見ていないので不安な點は省略した。

○工業は製作中心であるので一素材にたつぷりと時間をとつた。

○季節に應じて適合したやりよい單元を配當した。

○技術と知識とに指導內容がわかれるのであるが餘り內容を明示しないで簡略化した。

○工業の內容は今までとほとんどその內容を異にしてゐるので他數科との關連を愼重にした。

○一年間を三十五週として時數を決定し實際に出來る各月の時數を行事によつて計算して配當した。

○工場見學，實習は出來る限り休日を利用しようと考えて餘り時間に配當しなかつた。

○製圖設計技術は各單元に何時でも行うように考えて特別な時間を餘り多くとらなかつた。

○各單元は文部省試案にもとづいて考えたがその重點は獨自に考えて決定した

月	季節と行事	學習素材	學習活動	單元及び目標との關係	連絡と注意	效果判定
4	○入學式 始業式 櫻開く 花見 天長節 選擧	○工業講話(4)	○工業と日本のこれからについて特に農村工業，農村電化の問題について話し合う ○機械工業，纖維工業などの現況について話す ○化學工業について話す ○工業學習上の問題について計畫，態度など ○その他工業に關する問題	○講話の單元 ×工業についての大要を知る學習 ×工業の仕方自體のいしめるの關心を合理を ×農村にもたせる	○農業	
		○筆立(8)	○ブリキ板の廢品又は空繪を切り開いたのを用いて作る ○角筒と臺をつくり接合する ○ハンダ付をする ○各自由に塗裝する ○工作圖をかく ○けがきの仕方を習う ○折曲の仕方を習う ○製品を反省してしらべる ○問題を出してよく考察する(技術と知識)	○金工の單元 ×意匠の考えせ 方をねら ×工作圖のかめ 方をる ×板金の高本 技術を基高め ×塗料についてさせ 研究する	○考作	○記述尺度法
5	聽曲日 新意法記念事 午端の節句 遠足 創立記念日 後援會總會 健康週間	○金だらひ(8)	○ブリキ板，空繪でつくる ○工作圖をかいて設計する ○側面を折り曲げ四隅を鋏で接合する ○側面の上端は折り曲げてふちを作る ○適當な把手を考えてつくる ○各部を清淨にして塗裝を行う	○金工の單元 ×意匠の考えせ 方をねら ×工作圖のかきの 方がけ ×接合技術 基高めるによる ×鉄合のら方法せ力作を ×創意工夫を高める ×塗料の仕方	○工作	○記述尺度法
		○灯立(8)	○銅のうす板を用いる ○材料の手に入らない時は鐵板，ブリキ板，アルミニウム板などで試みる ○切斷した板を絞りによつて宛形にし別に把手をつくる ○銅の鋲でとりつける ○使う目的によつて各自由に考える ○製品を反省して良否を檢討する	○金工の單元 ×意匠の考えう 方を習 ×作圖，け斷技 き，栽本る作習 ×等術の基高めをり仕方 ×鉄合のうによる仕方 習	○工作	○記述尺度法

			○問題によつて考察する			
6	念記時の日 入梅 麥刈り 農業期 田植 農休 夏至	○ろうそく(8)	○ブリキ板でつくる ○とけた，らう，うけるむ四てしつの縁を折り曲付けで，四隅線をはめこんで，はんだ付する ○板金を折曲げつぎ合せて支柱をつくる ○ハンダ付して臺をつくる ○把手をつくりハンダ付する ○清淨して整裝する ○反省して良否を檢する ○問題を考察する	○金工の單元 ×意匠の考え 方 ×金工の技術 力をの高だめ付習る方 ×はん仕方にのう ×鉄合習料の種類 について	○工作	記述尺度法
7	七夕 土用	○盆(8)	○鐵のうす板又は適當なりきの板をまるくきりとの り絞りによつて盆の深さをつくる ○好みによつて銅板又ハは眞鍮板の把手をンダ付又は鉄でつける ○把手をのそいた他を塗料する ○問題を出して考察する ○絞りの注意について	○金工の單元 ×意匠の考え 方 ×金工の基本 技術 ×絞りの工作 技術 ×鉄による接合の仕方	○工作	記述尺度法
	終業式 夏休み	○製作の技術と意匠の考え(4)	○金工の意匠の考え方について ○匠作圖，けがきの仕方の要領 ○金工の一般的技術について特に大切なもの ○作品の例によつて考える	○金工の單元 ×金工の一般の考え方 ×基本技術を高める	○工作	問題解答
9	二百十日 二學期開始 始業式	○たばこセット(8)	○ぶりき板を用いて作る ○灰落しは波形の部分を絞りによつて作り側板は折り曲げおのつぎ目はんだ付する ○裝飾は透し彫りをし裏面に磨いた黃銅板のハンダ付をする ○マッチ立ては四邊を折り曲げ低い箱形に付して四隅をハンダ	○金工の單元 ×意匠の考えをねら ×工作圖，そ本め の他の基高 技術を ×絞り，鉄接方を 合習のう ×透し彫りのう方法を習	○工作	記述尺度法

				○理科（三年）	○電池をつかつた灯のつけ方（4）	○2個の乾電池を電源として豆電球に點燈する ○乾電池を直列に接續して次に並列に變へてみてこの二つの場合の豆電球の明るさの變化をしらべて觀察する ○細い電線をつかつてさしつかえない ○感電の危險はない ○電池の正（＋）と負（－）の極も電線でつなぐこと ○問題を觀察する
10	稲刈り					
	彼岸					
	十五夜					
	水泳大會				○知れないでけらと（8）こらばいなこと	○ブリキ板で黄銅板を作りその上にブリキ板をはんだ付して塗裝する ○ブリキ板で煙草入れを作りブリキ板を作りした透し板で煙草を彫つくる ○まき板で盆を作る ○材料の選擇、種類について ○けがきの仕方 金工用ものさし、金工用コンパス ○截斷の仕方 金鋏で截斷する ○折曲の仕方について 折曲線、折臺、拍子木、金敷 ○はんだ付の材料と工具　はんだ付の仕方 技術 ○鉄による接合の方法 ○折曲による接合の方法 ○絞りの工作の仕方 ○透し彫の方法 ○わが國の透し方 ○塗料の種類 ○塗裝の仕方 ×ラッカーの場合 ×エナメルの場合
	研究發表會					
				○工作科 理科	○金工作でけれない面知識を考へなければならない ×金工作で正の高い製作心を要する	○元製品的なら單なら各工の知ばらしい知識に考へ作心を要する ×元製品的なら單なら各工の知ばらしい知識に考へ作心を要する
				○理科 工作	○問題 解答	○元製品的なら單なら各工の知ばらしい知識に考へ作心を要する ×元製品的なら單なら各工の知ばらしい知識に考へ作心を要する

				○理科 三年	○配線の仕方（4）	○鉛直板の表面にコンセント板の取付けクギをうつ ○レセプタルは2個を直列に接續する ○電流計を測定できるように電源に接續する ○ねぢ類は固くとりつける ○被覆をはぐ時の注意
				○理科 三年	○電球をかつろい實驗（4）	○ソケットと電球の仕事でやつたまへの電線に點燈を行う ○コード吊りソケットと電球を點燈との關係をしらべる ○レセプタルの一つに電球を點燈するだけの方法を考へて點燈する ○ワットの異る2個の電球を點火し、その時の現象を觀察する ○2個のおなじ電球を點燈 ○艶消しガラスの電球に點火する透明ガラスの電球にも點火する
	運動會					
11	明治節			○工作 電氣スタンドをに	○電氣スタンド（8）	○木と竹と紙と針金でつくる ○各自由は型につくる ○臺、支柱を特に工夫する ○ソケットとコードをつけてコードの先にプラグをつける ○笠は針金でわをつくり紙をはる ○笠をおさえるには針金で二つの輪をつくり電球にはめる ○ニスを塗つて仕上げる ○問題 スタンドの笠はどんな効果があるか
	遠足					
	紅葉					
	お祭り					
				○理科 三年	○電氣コンロ（8）	○鐵板、又はジラルミン板で足のついた臺をつくり、その上に粟燒の熱板を取りつける
						記述尺度法

			○熱板の溝にはニクロム線を納めその兩方のはしはコンセントを通してコードにつなぐ ○つなぎ方はボルト・ナツトでかたくしめつける ○導體と不導體について研究する ○短絡について研究する ○實際に使つて見る	について研究する ×電流について習う ×電氣の興味を深める		
12	防火デー 音樂會 多至 二學期終業式 多休み	○ラヂオの製作（2）	○礦石ラヂオを基本として製作する ○單球、四球と各自の力に應じて製作する ○部品の名稱について ○配經圖の記號讀み方かき方について研究する ○ラヂオ理論について ○何故聞えるか ○電波の研究をする ○ハンダ付の仕方 ○組み立ての順序 ○修理と故障の發見について ○その他ラヂオ一般について習う	○電氣の單元 ×ラヂオの製作の興味を喚起する ×製作技術を養う ×ラヂオの關心を高める ×電波についての關心を高める	○理科三年	問題解答
1	正月 三學期始業 寒入り 春渡祭	○ベルを使つたいろいろな實驗（4）	○2個の電池を直列につないでベルを鳴らし次にこの電池を並列につないで鳴らしてみる ○この二つの場合の音の大小を比較して見る ○變壓器をつかつてベルを鳴らして音の大小を前の場合に比較して見る ○この三つの場合について實驗をよく研究して見て觀察する ○直流と交流について ○オームの法則 ○直列と並列 ○電流の磁氣作用 ○變壓器	○電氣の單元 ×電氣の研究心を高める ×直流と交流について研究する ×オームの法則について習う ×直列と並列について ×磁氣作用について研究する ×○變壓器について習う	○理科三年	○問題解答
	大寒	○こゝで知らなければならないこと（8）	○發電について 1. エボナイトなどをこすつた時 2. 科學的發電 3. 磁氣作用による發電 ○直流と交流について研究する ○導體と不導體について ○導體の形と抵抗の研究 ○オームの法則について ○直列と並列について研究する ○電池の直列接續について ○電池の並列接續について ○電燈の並列接續 ○電燈の直列接續 ○電　球 ○電流による發熱 ○電熱器 ○電線の安全電流 ○配線　短絡 ○電球　變壓器 ○製品を買うのに必要なこと ○學校に於ける製作と工業生產との關係 ○クリートの取りつけその他について	○電氣の單元 ×電氣の理論全般について理解を深める ×電氣に對する興味を養う ×研究を高める	○理科三年	○問題解答
2	立春 豆まき	○自由製作（12）	○電氣器具を利用した自由製作をする ○各自設計して今までの力を生かす ○工夫して新しいものをつくる ○パン燒器，ラヂオ，電氣樂器，電車など ○正確に作る	○電氣の單元 工夫考案力をねらせる ×電氣利用の技術をねる ×製作慾を高める	○工作	記述尺度法
	紀元節 初午	○時計の研究（4）	○時計の分解組み立てをする ○分解の仕方，技術について習う 打ち方，時報と別々に分解して見る ○圖にかいてしらべる ○力の傳り方，各部品の役目についてしらべる ○力をよくしらべて構造を明にする ○掃除して油をつけ組み立てる ○時計屋を參觀したり工場に行つたりする	○機械の單元 ×時計の構造を理解させる ×分解組立ての力をねる ×機械の關心を深める	○工作 理科	問題解答
3	桃の節句 學藝會 展覽會 父兄會	○製圖と讀圖（特殊曲線）（4）	○投影圖を立體的に讀む ○投影圖を姿圖法や斜投影でかく ○機械圖をどんな機械か立體的に描畫して見る ○特殊曲線について習	○製圖の單元 ×讀圖力をつける ×製圖力をつける ×興味を喚起する ×特殊曲線に	○工作 圖畫	○一對比較法

		う はい線，渦線などを製圖する	理解を深める		
彼岸	○工業講話 (2)	○工業の一般について話す ○學校の製作と工業生産の關係について ○工場と技術について ○近くの工場の作品について調査する ○村の工業實態を調査する	○講話 ×工業一般について關心を深める ×研究心を高める ×村の實態をつかむ	○農業	○調査報告
修了式	○工具の手入れ (2)	○工具の手入れ保存について習う ○研磨手入れ注油の仕方 ○工具の正しい取りあつかいについて習う ○實習する	○金工の工元 ×金工の單具の手入れの方法を習う ×工具を大切にする習慣をつける	○工作	○問題解答

職業科家庭學習指導年次計畫

立案の主旨

○中學校における家庭科は職業科の中から生徒の希望によつて選擇したものであり，大部分の女子が選擇したものと考えて立案した。どこまでも家事裁縫の合科でなく，新しく家庭建設する能力を養うために生れたのである，各學年の流れを考えてみると

1 年は健康にして，手まわしのよい家庭の整理，計畫的の家庭生活を中心としている。

2 年は季節と家庭生活が中心となる。

3 年は生活の改善が中心となる。

地方に應じて生徒の生活環境が異つているから作業單元學習活動はみづから異つて來るものである。

○教科書の用い方は從來の教科とちがい問題を發見する手引きとし，問題解決の手引として用いるのである，又教科書は學習張ともなり問題集ともなつているので常に持つていてよい參考書となすべきである，計畫の中の關連事項の教一とあるのは教科書との關連を示したものである。

○效果判定の方法は技術的進歩と態度の進歩の狀況をみるのであるから繼續的の觀察の方法が必要である，季節的月毎などにしてみていくこともよいと思う，家庭科學習のうち效果判定は最も重要な問題ではないかと思う。

○中學校男子に課す家庭科は今年だけであると思うが，家庭生活を理解させる程度であるから女子と同じ要求をする必要はない，この場合男女共になすのもよいが，男女別口にやつてもさしつかえはない。

○時間數は1週4時間として年次計畫を立案した。

計畫は計畫であるから學習しながら反省し實質のともなつたものにだんだん作り上げることが必要であると思う。

月	生活環境	作業単元（時間）	學習活動	目標と単元（文）との關係	効果判定の方法	關連事項
4	○進級した喜びにみちみちている時である ○生活環境も改まり新しい第一歩がふみだされる ○自治會の活動も自主的となつてくる ○氣候がよくなると共に家庭の仕事も增して來る	我が國の住居（12）	○今住んでいる家について作文をかく ・間取りようすはどうだろう ・他の家とどんなところがちがうか ・住みよいかどこか改善するところはないだろうか ・改善はどのようにするか ○作文について話し合いをする，其の後自分の家の間取り圖をかいて改めるところを研究してみる ○外國の家と日本の家について比較してみる ・材料と構造 ・生活樣式との關係 ・實用性から ・災害に對する危險 ・季節への適應 ○日本の住居について ・どんなところを改造するか ・衞生的に惡いところはないか ・建具で何か特徴はないか ○自分の最も理想としている家を工夫して設計圖をかく ・發表會，展覽會をする —○—	單一 ○わが國住居の得失に關する研究 ○たのしい生活を營むための住居の使い方の工夫	○理想な家の設計圖をみる ○たのしい家の工夫の狀態をみる	○社會科 ㊈十を參考 體　育 （住居と衞生） 理（家） 農（農業工作） 國工……3年 （我が國の住居の時代的機能，構成）
5	○農家では苗代をつくり田植えの準備にいそがしい	春の生活（16）	○春の特徴を考えてみる ・氣候　・全體としての感じ　・色 ○どんな生活が春に適しているか ・部屋の飾り ・服裝（配色） ・食べもの ・其の他 ○特に食品について考えてみる ・最近出ている食品を調べる ・配給量をしらべる ・獻立をつくる ・實　習 ・榮養の分析 ○春に適した生活を工夫する ・工夫した部屋の畫をかく ・服飾について繪を畫く —○—	單二E ○春の生活についての特徴を理解させる ○食品に對する常識をゆたかにする ○調理技術の發展	○獻立をつくることによつてどの位榮養的な計畫がたてられているかみる ○身なり服裝について繼續的にする	㊈一を參考 ㊈二 ㊈八 ㊈九 （農業科） たねまき
6	○衣替えのときである ○梅雨期に入る ○保健衞生の注意がもつとも肝要なときである ○田植えが盛んになる	保　健（8）	○健康體とはどんな體であろうか ・體格の上から ・精神的に ・榮養的な面から ・其の他 ○榮養素について研究する ・炭水化物 ・脂　肪 ・蛋白質 ・ビタミン ・無機質 ・榮養素と身體との關係 ○健康法について ・運動の方面から ・食物の上から ・睡眠の方面から ・其の他 ○食品の求め方を研究する —○—	單二 A ・B ・C ○榮養的な知識をひろめる ○健康法の理解	○保健上についての色々な知識を記錄法にて考査する	㊈七 ㊈十三 理科　からだ 理科　一年 （食物について）

			○夏を涼しくすごすのにどんな方法があるか ・住居の方面からみての工夫 ・服裝の方面からみての工夫 ・食物の方面からみての工夫 ・其の他の面から	單四 ○夏季に適する部屋の使い方のくふう		參三
7	○梅入はあけて本格的な暑さが來る ○暑いため腐敗する食品が多い ○傳染病が流行する ○とり入れがいそがしい ○土用に入る	夏の生活 (12)	○夏むきの獻立を考えてみる ・夏の野菜 ・飲料水 ・實習して春と比較してみる ○食品の防腐の方法 ・腐敗する食品はどんなものか ・防腐劑としてどんなものがあるか ・防腐をするときの家庭で行つている方法の話し合い ・實地にやつてみる ○夏の不潔になりやすいところをみて消毒する ○夏休みの計畫をしてみる ・食事の手傳い ・衣類整理について	單三 A. B. ○夏休の衞生智識をふかめる ○季節むきの獻立と調理法の習得	○身なりについての繼續的な觀察をする ○實習態度を記述尺度法にて考査する	參九
			—○—			
9	○夏休み後，不規則な生活にながれやすい ○休中他家の往復多くしているため他の家のようすをしる	家庭の美しさ (8)	○休中たのしかつた思い出を作文にかく ・何時頃でどのような時 ・誰と一緒にたのしんだろう ・どんな場所であつたか ○美しい家庭とはどんなところか ・部屋が美しいのか ・家の中の氣分がよいのか ・家全體が美しくて大きいのか ・小さい家せまい部屋でも美しくならないか	單五 ○衣食住と季節の感覺を生かす ○美を作り出す技術を會得する	○美しい家庭についての作文による考査	參十一

	○彼岸もありだんだんすずしくなる		○美しい家庭にする一つの手段心がまえについて話し合う ・季節と住居 ・生け花について 花と器　部屋と花	○よだんの手入れたしなみが常に發揮されるようにする	○學校，室の飾りに對する日頃のようすを觀察する	
			—○—			
10	○一年を通して野菜の豐富な月である	秋の生活 (20)	○秋と服裝について ・服の色（配色） ・形 ・模樣と布地 ○秋の景色を話し合う ・空の色と私たち ・木々のようすと私たち	單六 A ○自他の身なりに對する關心の發展	○身なりについて繼續的な觀察	參三 參九 圖工
11	○衣がえの時期である ○稻刈りが始まるみのりの月である ○月見等あり秋の行事がある ○スポーツの盛んなときである ○寒氣が加はりやゝ火をこいしくなる		○多の用意と共に袷の長着をつくる ・袷の特徵 ・各部の名稱 ・布地と色 ・裁ち方 ・縫い方 ・仕上げ ○袷のきつけ方を練習する ○秋むきの獻立を考える ・實習して春夏と比較してみる ・秋の食事について考えてみる	單六 B ○季節によつて異る被服の特色を理解させる ○袷類の長所短所の理解	○出來上り品について記述尺度法による考査	
			—○—			
			○寒さに向うため住宅はどのようにしたらよいか ・窓のやぶれのつくろい ・障子をはる ・穴をふせぐ	單八 A ○寒い氣候に處する家族の營みを理解する		

	○麥まき終る ○多の支度にとりかゝる	多をむかえる用意 (8)	・おこたつを出す ・火鉢をだす ・其の他 ○衣服について調べてみる ・毛類をきる ・厚い着物をきる，綿入袷， ・寒くなつてきるもの ・重ね着をするようになる	單八 A ○多の衛生の心得		◎六 ◎九 圖工 多の用意
12	○火の用心がさけばれる ○年末でいろいろの買いものにいそがしい ○年末で災害がおこりやすい ○年末の行事が多い	上手な買いもの (8)	○編みものをする ・セーターを作る ・あみ方を研究する ・出來上つたものを反省する —○— ○實用食品を求める ・どこの店で買い，何故その店で買つたか ・店の態度と買う人の態度 ・品物はどうであつたろう ○年末の買いものの手傳いをする ・必要なものを擧げてみる ・どこの店で買うか ・どんな品を買つたらよいか ・値段と品物の關係 ・買いだめは悪いか	單八 C ○防寒被服の裁縫あみもの技術の習得 單七 ○金を有効に使う心がけの養成 ○商品に對するぶだんの心がけ ○衣料や食品のえらび方の會得	○製作中の態度と作品を記述尺度法にて考査 ○買物をするときの態度，報告書による考査	社會科 (3年) ◎十四
1	○お正月で心がうきうきした日が多い ○寒さがきびしくなる		—○— ○寒中のようすを話し合う ・人の働きはどうか ・家の中のようすはどんなか ・衛生上よい點，悪い點 ・どんなあそびがあるか	單八 A ○冬季に特に必要な衛生心得の會得		◎一 ◎二

2	○風邪が流行して來る ○室内であそび，仕事をするのが多い ○食糧のもつともたりないときである ○立春節分がある ○氣候があたたかくなる ○ひなまつりがある ○農閑期である ○一年間の學習も終る	多の生活 (12) 病氣の手當 (20)	○こたつの研究 ・各人の家のこたつについて調べる ・火のもち具合 ・形 ・保　溫 ・危險率 ○多の衛生 ・風邪の豫防 ・耐寒のために ○多むきゝ献立を作る ・あたたかいもの ○病氣になつたことのある人，病氣についての經驗發表 ・發病のときはどんなであつたか ・病氣中の苦しかつたようす ・快ふくに向つた頃のようす ・すつかりよくなつたときのきもち ○早期の手當法 ・私たちがみて悪いところが分るか ・顏の色 ・唇の色 ・目の色 ・身體のようす ・常に心得ておかなければならな診斷法を學ぶ ・手當法の實習 脈の見方 體溫のとり方 ○健康表ゝ整理する ・毎月の體重測定の整理 ・どんなことが分つたか —○—	○多の食品の特別な献立技術の進歩 單元 ○自他の健康の異常に早く氣がつき早期手當法を會得する ○病狀に應じた手當法の能力の理解 ○衛生用品の取扱い方を發展させる	○こたつの改良圖により記述尺度法による考査 ○實習態度 ○組合せ法によつて症狀と手當法との理解の考査 ○健康表の整理の狀態をみる	◎八 ◎九 ◎十三 理科　からだ ◎十二 社會 (六)

中學三年

國語科學習指導年次計畫

立案の趣旨

●國語科學學習指導要領は九月末に刊行されることになつているが，一部に傳えられたような文學樣式にならつた單元による學習區分は指定されないはずである。同指導要領で示されるものは，一般編をおしひろめて現代語の意義とその正しいつかみ方を主眼としたものと思われる。つまり，現代語の理解力と現代語による表現力を養成するのが目標であることには變りがない。

●教科書の目次に示された題目の一つ一つが單元だと考えることもできるし，類似のもの，比較できるもの，互に關連のあるものなどをまとめて單元とするのもよく，これらは學習するものの側の考えにまかされていると見てもよかろう。

●學習時間や學習要項は一つの試案であるから，教師の考えによつて自由に按配できるもので決して拘束されるものではない。

○漢文編の學習は一番問題が多いと思うが，反點訓讀を全面的に排擊したわけではなく，徐々に適當に慣れて行くことがよいのではないかと考えられ

月	季節と行事	生徒の生活	題目	時	學習要項	備考
	中等國語三（1）第一學期分 通常の年にはこの教科書は作文とともに毎週 3 時間 他に漢文毎週 1 時間，文法毎週 1 時間ずつ學習の豫定					
			天の香具山	(3)	○新古今和歌集・古典の學習 ○中等國語二1の短歌と俳句と連絡 ○古典の美しい言葉の流れ幽玄とかあわれとかと呼ばれているものの感得 ○新古今の主な歌人たちの話	
		新聞を持ちよつて讀む	新聞の話	(3)	○民主的で知的な教材，社會科と連絡して學習 ○社會一般の人々が知識を習得するのに普通に出會う標準的な現代文だから，辭書を借りずに讀めるようになりたい ○新聞の起原ジャーナリズム，言論の自由，特權，ホットニュース，社會の公器などについて話しあう	連絡社會科理科
		アメリカ映畫「キューリー夫人」が見たい	キューリー夫人	(4)	○ラジウム，放射能の研究科學者，マリーキューリーの傳記の一部（飜譯文） ○新聞記事，日記，追憶を織りまぜ夫人の行動を浮彫にした感激に富んだ記述 ○新しい傳記の書き方を示したものでもある ○名譽，稱讚，人氣など世俗にとらわれない科學者の高邁な精神，ヒューマニズムといつたものがわかりたい	劇映畫「キューリー夫人」の鑑賞
晩春と梅雨			花より雨に	(4)	○永井荷風の名文の一つ，儘かな變化も見のがさない繊細な描寫	

				○中等國語二 (1) 文章についての中の志賀直哉「城の崎にて」と比較するのも面白かろう ○心境描寫の文章としてすぐれたもの	
春秋 イギリスの春 フランスの		山のかなた	(2)	○飜譯の自由詩，暴句，對句，句の切り方，行わけ，照應，連想の面白さを味わう ○自由な表現は得られているが散文に近づき詩の本質韻文のリズムを見失わぬように鑑賞のとき氣をつける	
	ガリバーの大人國旅行を讀むのも面白い	小人國	(4)	○英國作家スウイフトの「ガリバー旅行記」中の小人國 ○元來は政治的な諷刺小說であるが驚くべき想像力を働かせた寓話小說と見てよい ○冒險，空想，滑稽，ユーモアなどを味あう ○英國人が世界中の他民族，ちがつた風俗習慣に接して得た經驗や，それらと交わるために忍耐や妥協をつづけて來た英國人の國民性のことなどをうかがいたい	連絡中學英語二，の「ガリバー旅行」を參考
	近くに聾啞學校があるならば見學したい	身振り語と言語	(1)	○やさしい言語學の入門 ○言語意識を明瞭にし言語の面白さを知る ○中等國語二 (1)「やさしいことばで」を參照する ○學問の研究方法の一端も學びたい ○中等文法の學習とも連絡する	
	小泉八雲の短編を一つぐらい讀みたい	制作の方法	(4)	○小泉八雲即ちラフカヂオハーンの文學創作編 ○中等國語二(1)の「文章について」「短歌と俳句と比較すると面白い ○文學の心理學的美學的研究の一つであるそれゆえ，情緒，感覺，感情，印象，記憶，再生といつた言葉の意味をはつきりとつかんで讀まなくてはならない	

	萬葉集の話や良寛和尚の話を聞いたり，しらべたりする	長歌	(3)	○古典の一つである長歌の學習 ○萬葉の浦島と良寛和尚の月の兎の話 ○七五調の美しい話調を味わい，古典に親しむよすがとする	
		羽衣	(4)	○古典學習の發展として傳統的な約束の多い謠曲を取りあげる ○全體の氣分，言葉の歌うような流れ，リズムの古典的な美しさなどを知る	

中等國語三 (2) 未刊第二學期分

中等國語三 (3) 未刊第三學期分

中等國語三 (4) 漢文 9 月未配本

本年は例外でこの教科書は10月より毎週 2時間ずつ學習の豫定

		詩五首		
		和漢朗詠		
		白樂天の詩		
		螢雪の功		
		漢字の話		連絡社會科
		墨子の說		
		莊子と列子		
		日本における漢文		
		漢文漢學		連絡社會科
		詩五首		
		古都三景		
		雙十節の由來		連絡社會科
		孟子とその主張		

				○以上は國語の範圍又國語の延長として學習する ○歴史的に見て既に國民の教養となつている支那古典，漢文，思想，文化を取りあげる ○まず國文でかかげ地名人名などの解説をなし，最後に國文を示す句讀點，反點は記してあるが送りがなは付してない ○當用漢字はそのまま採用してある ○內容より親しんで學習にはいり，漢文獨特の反點訓讀はいそがない
中等文法文語				○新讀本との連絡なく，獨立して編集された少し古い型の教科書である から取扱いに苦心と注意を要する ○生徒の言語意識を明らかにし，學習の興味をわかせるために，中等國語三の「身振り語と言語」をしらべるのも一方法であろう ○新かなづかいと連絡して學習する中等文法口語のところを參照する ○文語は歴史的に形成されて基礎的法則となつたもので古典學習の鍵である
				文語とその文法 助動詞の接續(一) 第一學期 助動詞の接續(二) 助詞の種類と用法 第二學期 文節の構造 文の種類 第三學期

社會科學習指導年次計畫

◆中學校社會科學習指導計畫の特色

(1) 基本的な特質

○中學校の計畫は，小學校の場合とよほど趣きを異にする。先づ生徒は，自然的な季節行事の影響も受けるが，それよりも時々刻々に生起する社會的な問題などへの關心が增大して來る。したがつて，生徒の生きた興味や欲求の中心は，豫測することが非常に困難となる。その上，さうした生徒と教師との話合いから，學習の單元や學習活動が決められて行くとすると，指導計畫は，非常な幅を持つたものでないと，實際に利用されないことにならう。

○なお，第二に考えられることは，中學校社會科の教材の面からであるが，小學校のそれにくらべて，學習內容は相當にいわゆる知的なすすんだものとなつている。したがつて，あまり細かに斷ち切られて行くことは好ましくないこととなろう。

○そこで指導計畫は，生徒と教材のこのような實情の上に立つて，當然，大幅の機動性に富んだものが生まれて來ることになる。

(2) この計畫の要項について

(A) 單元の配當は，上のような趣旨から，一應は七學年の三箇年間にわたることも考えられるが，實際問題として一年間を一期間として，その中に七學年分，九學年分というようにしてあてはめることとした。したがつて一年間の中にどの單元がどこで行われても差支えないわけである。

(B) 表の單元の欄には，學習指導要領の單元名のほかに，參考單元名と豫定時間とをあげた。教材の排列では，主題を學習豫定の順序に從つてあげ學習活動の例では，豫定された代表的なものを，出來るだけ數少なく記すこととは備考では關係單元や關係教科と，一應考えられる季節的，生活的な單元實施の時期などを，參考までにあげてみたが，ここには，なお，將來調査された，學校や家庭鄉土の學習參考となるような施設や，備品圖書などが記入されることがのぞましいと思われる。

(C) 更にこれが試案であるということや，これからの教育のあり方としての立場から，反省欄がもうけられ，たえず案が更新されるようにされてほしいものである。

單　元（時間）	教材の排列	學習活動の例	備　　考
單元一　(20) われわれは過去の文化遺産をどのようにうけついで來ているであろうか ○單元一，二を一緒にして文化國家を作るにはどうしたらよいか	(一)　文化的遺産の種類 (二)　社會の慣習や傳統の社會生活に及ぼす影響 (三)　文化的遺産の成立 (四)　文化的遺産の變化 (五)　文化的遺産の傳承發展 (六)　文化的遺産の社會變化に伴う適合	(五)，(六)，(八)，(一四)，(一六)，(二〇)，(二三)，(二六)，(三一)，(四〇)，(五四)，	連　絡 單元，六，二， 國語一，羽衣 國語二，和漢朗詠集 國語四，漢字のはなし日本に於ける漢文漢字 算數 理科　交通機關 圖工　美術と生活 音樂 體育　體育史
單元二，(イ)(10) われわれの藝術的欲求を滿足させるために社會はどんな機會を與えているか ○樂しい豊かな生活をするために藝術はどんな役にたつであろうか	(一)　人間はどんな形で藝術的表現をするか (二)　藝術的表現の種類と社會生活に於けるその機會 (三)　われわれはどうして藝術文化を樂しみ生活を豊かにすることができるか	(二)，(六)，(一三)，(一五)，(一七)，(三〇)，(三五)，(四〇)，(四七)	連　絡 單元　六，三，一 音樂 圖工　應用美術と生活 工業　材料
(ロ)　(10) 宗教は社會生活に對してどんな影響を與えてきたか	(一)　宗教の種類 (二)　宗教の發展 (三)　宗教の個人及び社會に對する影響 (四)　宗教と民主主義との關係	(一)，(三)，(四)，(五)，(一〇)，(一一)，(一八)，(一九)	連　絡 單元　六，三，一
單元三　(25) われわれの政治はどのように行われているであらうか	(一)　なぜ政府は存在するか (二)　わが國の政治活動はどのように行われているか (三)　國民の政治生活の歷史的背景 (四)　われわれはどうして民主的な目的を，日常生活に具現したらよいか	(一)，(二)，(三)，(七)，(一二)，(一七)，(一九)，(二一)，(二六)，(三一)，(三二)，(三三)，(三五)，(三七～四七，(五一)，(五四)，(五八)，(六四)，(七八)	連　絡 單元　一，六 國語　双十節の由來 英　　foone ○この單元は議會開會のころ行うことがよいと思われる

單元四　(30) 職業の選擇に際しまた職業生活の能率をあげるためにどんな努力をしなくてはならないか ○私たちはどんな職業をいらんだらよいであろうか	(二)　日本人のいままでの職業生活及び其の將來 (三)　職業選擇のための配慮 (四)　職業人としての心得 (五)　就職後の問題 (一)　職業による社會奉仕	(一)　2，8，9，10 (二)　1，3，7 (三)　1，3，4，6，7 (五)　1 (六)　1，2，3 (七)　1 (八)　1 (九)　2，3，1 (一〇)　1，9 (一二)　3，8，13，18，19	連　絡 單元　三，六 音樂　音樂史 圖工　ショーウインドウ 體育　職業と疾患 農業　單元二，三，八 工業 ○この單元は學年のはじめに實施して學校生活に對してしつかりした目標をもたせたい
單元五　(20) 消費者の物資の選擇に際して社會の力はどういう影響を與えているであろうか ○物資不足や物價高に對して私たちはどんな工夫をしたらよいであろうか	(二)　商品の値段はどうしてきまるか (四)　消費の合理化支出を有效にする工夫 (三)　生活水準とはどういうことか (六)　社會や政府の消費者のためになすべき處置	(一)，(二)，(五)，(一四)，(一六)，(一九)，(二四)，(三六)，(三八)，(四一)，(四五)，(四六)，(四九)，	連　絡 單元　三，四 農業　單元一，六 家庭 ○この單元は食糧の問題がつよくさけばれる九月頃がよいと思われる
單元六　(25) 個人は共同生活にうまく適合してゆくにはどうしたらよいであろうか ○住みよい世の中を作つてゆくにはどうすればよいか	(四)　共同生活に參加する個人の責任 (一)　個人尊重の必要な理由 (二)　共同生活の理由 (三)　共同生活に對する貢獻	(三)，(六)，(一四)，(一九)，(二一)，(二三)，(二六)，(二八)，(三八)，(三九)，(四〇)，(四一)，(四三)，(四七)	連　絡 單元　一，二，三，四，五 理科 音樂 體育 農業 家庭　單元一，二，七，九 ○この單元は學年のはじめに實施し，最上級生として實踐させることはよい方法と考えられる

數學科學習指導年次計畫

立案上の留意點及び使用について

○環境との相關作用によつて個人の生活の發展がある，そして教育の營みが，この生活の擴充發展に根ざすものであるとすれば，私共は生徒の生活の中に時々刻々進展する教育の生きた體系を見つめつつ，最も良き環境を作り，唯一無二の條件の構成に當らねばならない，この考えに立つて案を作つた。

○「季節と行事」について……子供の生活と相俟つて作業單元の生れてくる根據となるものについて記したが，中學は單なる環境的なものが多く關係少なし。

○「子供の生活」について……心理的要求と社會的要求の一體的觀點から生活を辿つてみた。

○「作業單元」について……季節と行事，子供の生活の二者と指示される單元（教材指導内容）との相關から必然的に生れるもので，これには國定教科書の子供の生活，素材の取上げ方が重要な參考となり，鄉土色を生かしつつこれに做つた。表現については，低（生活題材）中（生活題材文化題材）高（文化題材）の考えに從がつた。

○「時間」について……文部省の指定時數による。

○「學習活動要項」について……飽くまで要項である，然し活動を通して單元の目標が達せられるようできるだけ考えた。實施については除去補充，綜合適切な處理が望ましい，計算練習は表現の都合上まとめたが，反復練習するようくふうして使用する，學習指導要項と相俟つて教材の全學年系統を明かにしつつ運營することが望ましい。（教材一覽表を貼付する豫定であつたが落した）

○「指導目標及單元との關係」について單元の内容を考えて觀念的なものと能力的なものとに便宜分けた。

○「連絡及び備考」について更にこの上に運營上綜合された學年單元の生れるものであろうことを豫想しつつ。

○二學期以降の題材及び配列については教科書の出版を見ないので全く指導要領のみによる案であつて後日の適切な變更補充のあることを豫想している。

（8. 25現在資料）——（今日のこの生徒のこの生活が最も充實發展するように）

月	季節と行事	生活の生活	作業單元	單元	指導の目標及び單元との關係 觀念的	指導の目標及び單元との關係 能力的	學習效果の判定法	連絡及び備考
4		小學校以來各種の數及びその表わし方について話しあつてきた一應終學年としての最終學年は各種の數について本學年は各種の分野にまとめつつある傾向が強くなつてくるし又それが必要とされる時期であると思う。その意味で正面から數と生活との關係を見出していくことは大切である	數はどのように發達してきたか。	1の a	○數え方の歷史 ○對應の考方の觀念。 ○計算が合理的にできるものであること の理解 ○整數の性質の理解	○十進法其の他 ○交換の法則 ○結合の法則 ○配方の法則 ○整數の性質 に關しての計算力	○采配立つた考え方で計算をしているか ○各種の數の個性の把握ができているか ○數の歷史について認識しているか	
5			數はどのように發達してきたか（續き）	1の a	○女性の數學史上の意義 ○小數の數學史上の意義	○一貫した計算法の理解と使用 ○數系列上の位置 ○計算の一貫性と使用の理解	○各種の數の數系列上の位置の認識はあるか	

月	時	學習活動要項
4	12	○今まで習つた種々の數について話しあつたりその特徴を調べたり ○どのように發達してきたか數の歷史について調べることにする ○數とその表わし方の歷史を調べる ○整數の發達について調べる ・記數法の歷史 ・位取りの歷史 ・整數の計算の法則について加法，減法，乘法，除法，指數計算等の性質とその一貫した考え方 ○整數の特質について調べて研究する奇數，偶數，倍數，約數
5	16	○分數の發達について調べる ・分數の誕生 ・記數法の歷史・單位分數 ・分數の計算の法則 加法，減法，乘法，除法，逆數 計算 ・分數の特質個性 ○小數の發達について調べる ・小數の誕生 ・記數法の歷史・數系列 ・小數計算の方法 ・無限小數，循環小數 ・小數の特質個性

					・形と機能について調べる 形と速さ，形態と用途 形と耐久力，形の組合せ等 力と物の形について調べる ・形の表わし方について纏めて研究する 投影圖，縮圖，地圖等について調べる，かく ○以上について實地見學をしたり構成，分解，製作したりしながら研究する		○圖形と生活とについての關心を深める	○圖形に對する數學的處理方法をまとめる	○數學的に形解かれの美を理しているか ○物のる形をきたは考えるのきているかめのらてきそ	
			問題		○計算練習，方程式解題，作圖等綜合問題について					
三學期 36		○社會のあらゆる分野に互つて極めて强い關心がなして社會の諸現象を能よりよく理解する力とあることで	數と社會生活		○數と生産，消費生活 ・數と生産・消費生活について話し合う ・物の生産から消費までの實際について調べ需要と供給の初步關係について考える ・資本物價指數，生産指數等について實際につき理解する ・いろいろの自然現象に對し統計をとり，現象を理解する ・いろいろの社會現象に對し統計をとり現象について理解する ・自然現象や社會現象を函數的に觀察してきまりを發見する，式	1bc	○數と生産，消費生活との關係についての關心を深くする	○自然，社會生活に對する數學的處理能力方法をまとめる	○生産から消費までの步關係の解程度 ○社會生活に對するまかい ○步合，利息，株式，指數，損益，保險，等に關する計算と理解能力	消初理に心つて高まる

6			數はどのようにして發達したか（續き）	8	○無理數の發達について調べる ・無理數の誕生 ・記數法の歷史 計算の方法と合理化	1oa	○無理數の意義と數學史上の位置	○計算方法の理解と使用 ○數系列上の位置		
7			數はどのようにして發達したか（續き） 計算練習 夏休みの研究	8 3 1	○正の數，負の數の發達について調べる ・正の數負，の數の誕生 ・記法數の歷史，數系列 ・正の數，負の數の計算法 ・零に關する計算法，數系列 ○計算法のまとめ ○整數，小數，分數，文字を含む式方程式等についての計算 ○夏休みの研究を立てる	1oa	○正の數，負の數の意義と數學史上の位置	○計算方法の理解と使用 ○數系列上の位置		
8			夏休みの研究		○夏休みの研究發表 ○自由研究					
二學期 46		○美的，學的に觀力を眺めるできる時環境にめ物からこの適切なること高えるこ益々與つてをよつてやりたい	形をどのようにつているか使る		○日常使つている品物，道具，建築其の他について形の美とその構成について調べてみる ・形の均合や安定について調べる ・對稱形，相似形の性質をどのように利用しているか調べる	1od				

		にかく ○數と社會生活，政治生活 ・數と社會生活，政治生活について調べる ・銀行，郵便局，株式會社等の組織について調べてみる ○利息，損益，利廻り等の計算をする ○いろいろの社會現象や自然現象に對して統計をとり函數的考察處理をする	○數と社會，政治生活との關係についての關心を深める	○數學的處理能力を高める	○統計表，圖表の理解やかき方 ○概數計算能力 ○比例，反比例等の函數關係を見出し式にしたり運用したりする能力	中一（數學）
	問題	○各種問題について綜合練習				
	力とはたらき	○力とそのはたらきについて調べる ○力と機械との關係について調べる ○力の基本的法則を理解しまとめる	○力のはたらきが生活とどんな關係を有しているかを認識する	○力の基本的法則の理解と運用能力	○機械と生活の合理化についての認識 ○力の基本的法則理解と使用	
	問題	○力に關する問題を解く ○各種雜題について研究する				

理科學習指導年次計畫

指導計畫をどのようにたてたか

○問題形式の小單元は，必要と關心との焦點を拾いあげ，學習の第一段階を主體的に展開しようとした。

○單元の配列は，季節に關連づけていつたが，小單元においては季節に適つていないものもあるが，他教科の學習と密接に連絡して，進めるようにした。

○學習活動については，學習指導要領による一學年間六單元の學習活動內容は豐富で，今の生徒たちには，困難と思われる點もある。そこでこれを組みかえることも考えられるが，參考書が少なく教科書が唯一のものである現狀として與えられた教科書を最高度に活用して，できるだけ教科書の順序や內容とタイアップするようにした。なお，教材の多いための時間の不足は生徒の實力に應じて取捨選擇して負擔過重にならないようにしたい。

○時間の配當は，上に述べたような事情と主旨に基づいてわりだした。

○指導の目標重點は，效果判定，その活用の材料ともなるようにした。

○備考は，指導上の注意，連絡事項，參考圖書，映畫等の一部をあげた。

——(參)は參考書　(映)は視覺教育案內映畫　(國)は國語　以下これにならう——

（八月二十日現在の資料による）

月	季節と行事	單元(時間)	學習活動	指導の目標重點	備考
4	始業式 入學式 (一年生)	○理科學習をどのようにしたらいいか (1)	○二年の學習の反省と三年の學習計畫について話しあいをしその計畫表を作り教室にはる ○生活經驗の發表をしあう	○研究心の導きとして探りを入れ問題を見る眼を養う ○計畫的學習をする ○前もつて參考書を與える	
	學級役員選擧	13 昼 (22) ○星はどのようにちりばめられているか (2)	○夜空を仰いで星をよくながめて星座のおもしろさや星の美しさを味わつてみる ○傳說神話等について調べ話しあう ○星のよび方や星座の見方について每夜觀察して帳面に記錄する	○宇宙の廣大さと星座の美しさを感得させる ○導きの段階であり興味や疑問を起すようにする	○單元1 (社) 中學三年 ○日記から(國) 中學一年 ○新星(國) 中學三年 ○多の星(理) 小學二年 ○涼み臺(國) 中學一年 ○理科年表(參) ○ダンネマン大自然科學史 ○天文と宇宙(參) ○四季の星座(參) ○大宇宙の旅(參) ○天文新話(參) 恒星社刊
	お祭				
	遠足	○空の神秘はどのようにさぐられてきたか (2)	○月や星はどの位役に立つてきたか，迷信や傳說を聞いたり讀んだりして發表しよう ○星の運行についてどのように考えられ研究されてきたか調べてみる，又その運動を圖にかいてみる(理科年表を參考) ○天文學の發達（太陽中心說）がどのような經路をたどつて明らかになつたか調べ話しあいをする	○太陽中心說がどのようにして科學的に理由づけられたかについて研究させる	
	播種期				
	保護者會總會	○望遠鏡はどんな仕組になつているか (4)	○簡單な望遠鏡を作つてみる ○レンズについての光の性質について實驗觀察する ○光源焦點像の關係について實驗し圖にかいてみてどのようにレンズを組み合わせればよいかくふうしてみる ○レンズの發達，望遠鏡の發達の經過について調べて話しあいをする	○望遠鏡の仕組を理解させる ○使用法，手入についても注意する	○科學雜誌 ○理科17 微生物 ○寫眞機(理)
	父兄會 天長節				小學五年 ○物理 (1) 文部省 ○望遠鏡(映) ○科學雜誌
	身體檢査	○太陽系はどのようにできているか (3)	○望遠鏡で夜空を觀察する ○太陽系の構造はどのようにして明らかになつてきたか調べる ○どのようにして星の大きさ質量距離などは明らかになつてきたかしらべる ○惑星と太陽との關係を比較して表にかいてみる ○長きの單位は何からきめたか調べる ○月や惑星の運行を夜空に觀察する	○太陽系の構造を明らかにする ○惑星についていろいろの本によつて調べる	○望遠鏡の發明改良があつて見える範圍が廣まつた ○獵者座(カペラ) 牡牛座(アルデバラン)等みるのにいい
5	八十八夜	○萬有引力とはどのようなものか (1)	○萬有引力はどのようにして明らかにされたか調べ話しあう ○萬有引力がどのように働いているか調べる ○引力の法則はどのように私たちの生活を豊かにしてきたか調べて話しあいをする	○萬有引力がどのようにはたらいているかについて理解させる	○ダンネマンの大自然科學史 ○調和を保とうとする傾向が大宇宙にみられる
	たんぽの節句	○太陽は私たちにどのようなはたらきをしているか (4)	○太陽の構造について參考書や人からきいて調べ話しあいをする ○太陽光線スペクトルについて實驗觀察を	○太陽の構造を調べる ○太陽の觀察は特に注意する	○望遠鏡での太陽觀測は特に注意する ○物理(1)高等學校用

		する		
日 創立記念 大掃除		○太陽熱はどのように私たちの生活を豊かにしたかについて調べ話しあいをする ○季節はどうしてできるか模型を作つていろいろ實驗し調べてみる ○地球の自轉公轉について理解する ○時間や時刻は何によつてききめるか眞太陽日平均太陽日恒星日とはどのようなものか調べる	○太陽熱の利用を學ぶ ○季節のできるわけについて研究する	○理科年表又は暦によつて四季の變化を調べておくといい
立夏		○日時計を作つて實驗し正確な時計と比べてみる ○暦の歴史について調べ話しあいをする	○暦のでき方について理解する	
小満	○日食と月食はどうして起るか (2)	○月の觀測をして月の形の變化や月の出の時刻などについて調べる ○月の滿ち缺けについて模型を作つて實驗する ○日食や月食はどのようにして起るか模型について調べる ○潮の滿干はどうして起るか調べる	○日食や月食のできるわけを調べる	○理科年表 ○黒い太陽(映) ○日蝕(映)
單衣	○大宇宙はどのようにしてできているか (3)	○宇宙の廣さについて調べ話しあいをする ○銀河系宇宙とはどんなものか調べて話しあいをする ○星雲や星團をみてこの大宇宙を想像する ○星の年週運動について調べる	○大宇宙のなりたちの概要をつかむ ○星の年週動運より約一晩で半年分の星をみることができる	

春ご(かいこ)の飼立		○明かるい星(一，二等星)をえらびだしそれで星圖をつくつてみる	○毎月同じ星空を見るためには約二時間宛早めればいい	
	○星と私たち (1)	○夜空の星を星座とくらべてみいろいろの疑問を發表しあい解決につとめる ○天空の事象とその利用について調べ話しあいをする ○星の觀察帳を整理する	○疑問を整理しこれからの問題とする	○まとめの段階ではあるがこの一年間繼續的に天空の觀察をするようにする
苗代	17傳染生物 (23) ○傳染病の本體はどのようにして明らかにされたか (3)	○私たちがかかつた病氣の經驗や見聞について話しあう ○傳染病にはどのようなものがありどのような手だてをつくして豫防しているか調べ話しあいをする ○傳染病が明かにされた道すじについて調べ話しあいをする ○パスツールコツホ野口英世等の傳記を調べグループで分擔して發表しあう	○導きの段階としてこの學習の必要性を感得させる ○學者の苦心と學問の發達について學ぶ	○自然の精緻(映) ○傳記物を與える ○理科13星 ○パスツール等の傳記 ○野口英世(映) ○科學雜誌(參) ○植物顯微鏡(參)
小運動會	○顯微鏡はどんな仕組になつているか (3)	○簡單な顯微鏡をつくつて見る ○どのようにレンズが組合わさつているのがいいか實驗してみる ○望遠鏡と比較してみてそれぞれの特徴をあげてみる ○顯微鏡の取扱いについて話しあいをする	○顯微鏡の取扱い方について實習しなれる	○顯微鏡寫眞摘要(參) ○生物實驗法(參) ○檢鏡生物學(參) ○臺數が少ないから準備をよくし先に各班のリーダーを作るのがいいと思う

6	芒種 時の記念日 衣服の虫干 食品の貯蔵 入梅 多忙な農事 麥刈 田植 農休み 夏至 蚊 〃		○細胞(たまねぎ，むらさきつゆくさ)や微生物(プランクトン，かびとうじ等)をのぞいて取り扱い手入れになれる ○一般の生物の分布の仕方をしらべる ○昆虫や植物の種子はどんな方法でその子孫をふやしているか ○以前は植物の全く生えてなかつた空地で今はどんな種類のものが生え又それがどんなに移つてきたか調べる ○微生物の發生についてどのように考えられてきたか調べて話しあいをする ○じやがいも菌，空中細菌の發生等について培養菌を作つて實驗觀察する	○生物は生物からということを明らかにする ○自然發生說とはどんなことが理解する ○各班で實驗する時にしんちようにするよう注意する ○病原體の特徴をつかむ	○生物學のひびき(參) ○種子の散布(映) ○時の記念日に時間のきめ方について話しあいをするといい ○蠅(映) ○蚊の一生(映)
		○微生物はどのようにして發生するか (5) ○病原體にはどのようなものがあるか (2)	○病院を見學して病原體を檢鏡しその特徴を觀察し又いろいろ病原體の話をきく ○細菌の形，種類，運動，繁殖，抵抗力等について調べて話しあいをする ○顯微鏡が病院でどのように利用されているか話をきく		

7	公開研究會 半夏至 小暑 たなばた 自由研究會 水泳 土用 傳染病	○病氣はどのような經路をたどつて移るか ○傳染病の豫防や治療はどのようにしたらよいか ○傳染病と私たち (3)	○病氣の移り方について經驗や見聞について話しあいをする ○潛伏期とはどんなものか調べる ○はえは衞生上どんな害をするかしらべてみる，又はえ退治をする ○私たちは病氣に對してどのような抵抗性をもつているか調べる ○傳染病豫防のために先人はどのような努力をつづけたか調べて話しあいをする ○ワクチン，血清について調べる ○消毒藥．治療藥の進步について調べて話しあいをする ○藥品の原料はどんなものかしらべる ○いろいろな特效藥をあげてみる ○病院を見學しわが國の傳染病と私たちの心構えについて衞生講話をききその後これらのことについて話しあいをする ○結核とその豫防について調べる ○法定傳染病とその心構えについて話しあいをする ○細菌の利用はどのようにされているか調べてみる ○傳染病のない明るい社會や丈夫なからだをつくるための心構えについて話しあい	○病氣はどんな場合に移るかについて研究させる ○病氣の豫防治療の方法について理解させる ○整理の段階としてよくまとめさせる ○結核については特によく指導する ○アメリカの衞生思想などと比較して向上をはかる	○はえやかもでてくる時期であるから適時指導する ○腕(映) ○蚊の一生 映) ○傳染病のおこりやすい時期である 話をきいたり調べたりするだけでなく豫防の方法を實踐する ○理科 8からだ ○夏の衞生 小學五年 ○私たちのからだ林間書 ○甘酒とアルコール(理) 小學五年

			をし作文する		
	大暑 夏休み	○夏休みをどのようにすごしたらよいか(2)	○自由研究，問題について話しあいをする ○夜空の星座の觀察の反省やこれからの準備をする ○傳染病にかからぬようにする ○なるべく機械の研究や電氣應用の工作品をつくることについて話しあいをする		○自主的研究とし案しめるようにしたい ○蝎(さそり)座織女，牽牛，天の川を見るのにいい ○星の觀測の好期
9	二學期始業 二百十日	○どのように研究してきたか(2)	○自由研究發表會をする ○自分の研究の成果や反省を發表し話しあいをする ○作品をならべて批評しあいどのようなところに苦心しているか話しあう	○完成への苦心を體得する ○整理をよくする態度を養う	○作品を尊重する態度に注意 ○九月下旬の自由研究發表の準備にとりかかる
		14機械(20)	○これからどのように研究していつたらいいか		
	水泳大會	○機械はどのようにできたか(1)	○機械的なはたらきを利用した道具や機械のことについて見聞したことを發表し話しあいをする	○機械の發達のみちすじを理解する	○歷　史 ○大自然科學史ダンネマン
	自由研究發表會	○道具はどのように使つてきたか(2)	○機械や道具がどのようにしてできたか知つていることを話しあう ○機械の種類をあげてみる ○どのように研究したらいいか話しあう	○參考書等によつて前もつて調べておく ○機械學習導きの段階であるからこの時間に全體のみとをしを與え計畫を立てる	○物理(2)　3) 高等學校用 ○工業と連絡
			○古代の人々はどのように道具を使つてきたか本をよんで調べて話しあいをする	○エネルギー保存の法則を理解させると共に道具の發達は如何に人類相互の	○農　業 中學二年 ○歷　史

9			○人類の偉さについて話しあう ○からだのする仕事と力學的な仕事とはどのようなものか調べる ○道具と仕事とはどういう關係があるか調べる ○道具の發達と人類の發達について調べ話しあいをする ○私たちの村の農業機械にはどのようなものがあるか調べて表にする	幸福を増してきたかを理解させる ○機械は仕事の能率を上げたり，新しい發明發見をする助けになつている	○世界の農業と牧畜(社) 中學二年 ○白鳥座の觀察にいい
	彼岸 秋分	○ひもや棒をどのように利用しているか	○ひもをどのように利用しているか經驗や見聞を話しあいする ○滑車はどのように利用されているか調べてみる ○滑車を使うとどのような得があるか實驗してみる ○棒はどのように利用されているか ○さおばかりの支點力點の關係についていろいろ實驗し釣合いについて研究する ○てこの理と偶力について調べる ○運動エネルギー打撃の效果は速度とどのような關係があるか調べる ○棒の彈性を利用したものはどのようなものがあるか調べてみる ○彈性利用をするのにどのようなことに留意しているか調べる	○機械の原理を理解させる ○定滑車動滑車のはたらきを理解させる ○釣り合いの原理を理解する ○彈性の利用面の理解をする	○力とその傳達(數) 中學一年 ○運動と安定(數) 中學二年 ○物理(2) 高等學校用 ○ベクトル圖表については數學で研究ずみ ○秋分に際し單元13星で學習した地球と太陽との關係について更に話しあいをする

	名月	○摩擦はどのようにはたらくか (3)	○エネルギーの種類をあげる ○斜面をどのように利用しているか經驗を發表しあう ○物の斜面に働く力について實驗してみる ○斜面と摩擦との關係をしらべる ○ねじはどのように利用されているか經驗や見聞を發表しあう ○ねじを使うとどのような得があるか調べる	○斜面と摩擦面との關係について理解する	○理科(16) 交通通信 ○月を觀察するのにいい時である ○運動と安定(數) 中學二年 ○物理(2) 高等學校用 ○實驗器具を作つて學習することが望ましい ○滑り摩擦については數學(二年)で學習してある
	虫の音		○双物の種類とその特徴をあげてみる ○双物のあつかい方道具の手入等について調べる ○ころや車はどんな所にどのように利用されているか調べて話しあいをする ○轉がり摩擦について實驗してみる	○双物のそれぞれの使い方について理解する ○轉がり摩擦について調べる	○力とその傳達(數) 中學一年 ○物理 (2) 高等學校用
	大掃除	○機械はどのように發達してきたか (5)	○車の發達利用について調べる ○火力を利用した機械にはどんなものがあるか調べてみる ○ボンズはどのようにして作られてきたか又できているか調べる ○紡績機械は私たちの仕事をどう助けているか ○蒸氣機關はどのようにして作られたか發達をしらべる	○パスカルの原理の理解をする ○紡績機械の發達と人類文明の進歩について理解する ○蒸氣機關の利用をその特質について理解する	○農業と連絡 ○自轉車(理) 小學六年 ○工業工作と連絡 ○理科 7 晴物 ○物理 高等學校用 ○産業革命についての讀書や話をするがいい
	自由研究發表會		○蒸氣機關の特徴を調べる ○機械を作る人や機械はどのように發達してきたかを調べる ○現在の工作機械のある工場を見學し工作機械にはどんなものがあり又その用途はどうか調べる		○理科16 交通通信 ○理科16交通通信のところでその原理は學習する
		○原動機はどのように進歩し將來はどうであろうか (2)	○内燃機關の發達について調べてみる ○ディーゼル機關はどんな特色をもつているか調べてみる ○將來の原動機としてどのようなものがあるか調べて話しあいをする	○將來の原動力をどのような面に求めたらいいか考える ○原動機は自然のエネルギーを利用するものである	○日頃觀察する機械の特徴その機械の力の傳達構造はどうか注意を向ける ○工業と連絡
10	更衣研究會(社會科)	○双物や機械はどのように使つたらいいか (1)	○双物や機械はどのように取り扱つたらいいか調べて話しあいをする ○機械の整備はどのようにしたらいいか學校にある機械について話しあう	○双物や機械の一般的な取り扱いや手入れを理解する	○工業園工と連絡
	秋祭	○私たちの生活を能率化するにはどうしたらいいか (2)	○生活の合理化能率化につとめるにはどのように機械を利用したらいいか調べて話しあいをする ○農業の機械化はどのようにすればいいかお互に研究し調べ話しあいをする	○生活の合理化と機械のはたらきについて理解する	○農業と連絡 ○アンドロメダの大星雲ペガスス星座の觀察にいい
		15電氣(26) ○電氣とはどんなものか (4)	○電氣についていろいろの經驗を思い出して發表しあいこの學習の計畫をたてる	○經驗の發表より兒童生活經驗の内容を探り興味と必要感を起す	○電磁氣學(參) ○少年技師の電氣學(參) 誠文堂新光社

	運動會 神嘗祭 稻刈 農事多忙 農休み		○電氣はどんなところにあるか知つていることを話しあいする ○電氣をいろいろな方法でつくつてみる ○電氣には靜電氣動電氣のあることを理解する ○電池の構造，はたらきについて調べ又實驗觀察する ○電池の種類を調べる ○簡單な電池を作つてみる ○ベンジヤミン，フランクリンの傳記を讀む ○電流電壓抵抗の關係をしらべてオームの法則を實驗によつて理解する ○電球の發達構造機能について調べる ○直列並列とはどのようなならびでどのような作用があるか實驗して理解する ○電氣パン燒きや水の電氣分解を實驗しその狀態をしらべる	○電池の構造，原理を理解する ○オームの法則を理解する ○電流のはたらきについて調べる ○實驗する上の班長の指導を前もつてして危險やまちがいのないようにする ○電氣パン燒きの使用については注意する	○物理（1） 高等學校用 ○かいちゆう電燈(理) 小學四年 ○科學雜誌(參) ○かみなりも靜電氣の一種であることに注意 ○フランクリン(參) ○電氣工作に興味をもつ生徒の作品を示しその學習の助長と興味かん起につとめる ○電球(理) 小學六年 ○電氣工事必携 ○理科 2 水 ○理科 9 海
		○電流はどのようなはたらきをするか (3)			
11	明治節	○モーターはどうしてまわるか (6)	○エヂソンの傳記をしらべる ○空罐を利用して三極モーターを製作してどうしてまわるか調べ理解する ○磁石についての經驗を發表しあう ○磁石の性質と極性について調べて話しあいをする	○電流の磁氣作用について理解する ○製作にあたつては生徒が必要な道具や部品を調べる態度を養う	○エヂソン(參) ○トランスとモーターの作り方(參) 誠文堂新光社 ○ハンダごてやはさみの使い方に注意する

	立多 霜 紅葉 蓄業 新嘗祭 體力測定		○電流の磁氣作用について實驗觀察する ○電流計電壓計の構造とその動作原理を理解する ○モーターは私たちの身のまわりにどのように利用されているか調べて話しあいをする ○發電機の實驗をしどのようにして發電されるか調べる ○交流の特質について更に深く調べる ○コイルの位置の誘導する起電力の大いさを圖にあらわしてみる ○水力發電火力發電はどのようにするか書物で調べたことや見聞したことについて話しあいし，その特質を理解する ○發電より配電までの系統圖を作つてみる ○電磁誘導作用についてしらべる ○トランスはどのような構造かしらべてみる ○誘導電動機はどのようにしてできているかしらべる ○積算電力計の働作原理をしらべる	○誘導起電力はどのようにして起るか理解する ○火力水力發電の原理について概要を理解する ○電磁誘導作用について理解する	○工具はこのような時各自購入しておくといい ○磁石と電磁石(理) 小學五年 ○モーター(理) 小學五年 ○物理(1) 高等學校用 ○教室内に配線工事して各班の机に電氣が送れるようにしたい ○交流理論書(參) ○電氣工作(工業) 中學一，二，三年 ○中學一，二年の見學の記錄等で研究する ○脫穀調整がいたるところに見られる頃である機械のはたらきに注意をむける ○トランスの製作は希望者の課外研究にしたい
		○電氣はどのようにして作られるか (5)			
		○ラヂオが鳴るのはどうしてか (5)	○コンデンサーの原理について調べて理解する ○コンデンサーにはどのような種類があるか知つているものをあげてみよ	○蓄電器の原理を理解する	○理科16交通通信 ○ラジオ(理) 小學六年 ○交流理論書 ○ラジオ技術教科書(參)

12	防火綜合研究會		○コイルはどのような働きをもつているか調べる ○交流に對するコイル自己誘導作用について水流の場合とたとえて考え理解する ○ラヂオの同調回路はどのような働きをしているか ○電波はどのように傳播するか調べる	○コイルの働きをまとめて研究する ○同調回路のはたらきを理解する	○小學生當時の作品について研究する ○ラジオ製作に興味を持たせるようにしたい
		○電氣をどのように利用したらいいか（1）	○私たちの生活にどのように利用されてきたか又今後の增產や生活の向上にどのように利用したらいいか調べ話しあいをする		○理科12家 ○理科16交通通信
	自由研究發表會	16交通通信(30) (30) ○交通通信機關はどのように進歩してきたか(3)	○教科書のまえがきを讀む ○交通通信機關はどのように大切なものであるか理解する ○この學習をどのように進めたらいいか話しあいして計畫をたてる ○通信機關發達の歷史について調べる ○音と光はどのように利用されてきたか調べる ○音の振動傳播について實驗觀察をする	○研究心の導きをする ○學習計畫のもとに見學するところ等には前から連絡をとつておく ○通信機關の發達史をかき理解する	○理科15電氣 ○商業1交通及び通信 ○電氣機關車(映) ○社會と連絡 ○放送局見學は一しよに新聞社の見學をする ○新聞の話(國) 中學三年 ○謎の音(映) ○音樂と連絡 ○物理(1)(2) 高等學校用
		○有線通信にはどのようなものがあるか（4）	○有線通信にはどのようなものがあるか見聞したことについて發表しあう ○郵便局を見學して通信機構を分擔しグループ學習をする ○簡單な電信機を製作してその原理の理解をすると共にその利點缺點について話しあいをする	○電信機の構造機能について調べ理解する ○郵便局の通信機構の概要を理解する	○郵便局見學の準備をよくする ○オリオン星座大犬座を觀察するのにいい時である ○電信機と電鈴(理) 小學六年

至多休み多			○電話器の說明はどのようにしてできたか先人の苦心について調べる ○電話の原理についてしらべる ○電話機はどのようにして一般に普及しているかしらべる ○電話交換臺を見學する ○電話交換はどのような機構かしらべる	○電話機の構造機能を調べ理解する ○實驗用電話機を使用する	○電話遊び(理) 小學四年 ○中學二年 ○Belland Tellephone(英) ○グラハムベルの傳記(參)
		○無線通信はどのようになされるか(10)	○無線通信にはどのようなものがありどう利用されているか話しあいをする ○放送局を見學しその施設放送の實況、放送のすじ道等を研究する ○單球受信機を製作し受信器の骨組みを確實に理解する	○放送から受信までの概略を理解する ○單球受信機の構造機能について理解する	○ラジオ(理) 小學六年 ○多休みの研究問題をつかむようにする
			○コイルはどんなところに使われどんなはたらきをしているかを調べる ○受信機各部のコイルはどんなはたらきをしているかしらべる ○コンデンサーはどんな性質がありどんなところにどのように使われているかしらべる ○抵抗はどんなものがどのように用いられているか又どんなはたらきをしているか調べる	○ラジオ受信機に利用されている面から研究しそのはたらきを理解する	○ラジオ技術教科書(參) ○僕らのラジオ(參) ○解說無線工學(參) ○共立出版株式會社 ○小學生の時に製作に鑛石受信機でも研究する

1	正月 小雪 自由研究會發表 大雪	○眞空管はどのように利用されているか（6）	○同調回路とはどんなものでどんなとき同調がとれるか又そのはたらきをしらべる ○電波光波音波を比較してみる ○電波を波長で分類してみる ○ラジオの電波は無線電信の電波とどう違うかしらべる ○音聲はどのように送信されどうして再現されるかしらべる ○受信機はどのように發達してきたかラジオの歷史について調べ話しあいをする ○熱電子管の動作原理について研究する ○眞空管はどのようにして進歩してきたかしらべる	○鑛石受信機で十分判れば同じである鑛石受信機を利用するのがよい ○變調について理解する ○眞空の働作原理とその働きについて理解させる	○電氣振動と電磁波の大略にふれたい ○物理（2）高等學校用 ○鑛石ラジオで十分よくわかるまで學習するようにしたい ○解說無線工學 共立出版株式會社 ○オールウェーブの話（映） ○物理（2）高等學校用
2	立春 節分		○二極三極四極等それぞれの構造機能をしらべる ○眞空管はどのようなはたらきをするか又それぞれのはたらきに適した球をあげ分類してみる ○受信機の配線圖の讀み方を練習し實物と照合する		○製品をあつめて內部を研究するといい ○實驗には注意し危險のないようにする ○研究準備の上實物にあたり機械を破損しないようにする
	酷寒時 紀元節	○交通機關にはどんなものがありどうはたらいているか（5）	○自分の家のラジオ受信學についている眞空管をしらべどのように動作しているか研究し話しあいをする ○交通機關にはどんなものがあるか見聞していることを發表しあう ○驛へ行つて蒸氣機關の見學をしその話をきく ○蒸氣機關はどうして廣くつかわれているかその機構特徵について研究する ○ピストンはどのように動いているか ○自動車はどのようにして起るか機關や各部の構造について觀察研究する ○ガソリン機關のピストンはどのように運動しているか模型や圖によつて研究する ○速さのレコードを調査する ○洗練型について話しあいをする ○蒸氣タービンはどんな構造でどんなに利用されているか研究する ○蒸氣タービンと蒸氣機關との差をしらべてみる ○燒玉機關とはどんなものでどのように利用されているか ○ジーゼル機關はどのようにでき，どんなものか研究する	○メーターの使用になれる ○蒸氣機關車のピストンの動きとこの機關の特質を理解する ○ガソリン機關の働作原理を理解する ○自動車の構造機能を理解する ○電氣タービンの構造の概要を會得する ○ジーゼル機關の特質を理解する	○調べて蓄別にリーダーを養成しておく ○酷寒時と多至について關心をむける ○研究は時間の關係上グループ學習として發展したい ○南船北馬（國）中學二年 ○運動と安定（數）中學三年 ○自由研究の指導をし三月の展覽會の準備をする ○理科16交通通信

			○蒸氣機關蒸氣タービン渦巻機關の利害得失を比較する		
		○今後の交通はどのように發達するだろうか(2)	○海上輸送の利害得失について檢討する ○航空機の發達とその特質を調べ話しあう ○近在のバス列車の輸送について調査をする ○近在の橋について調査研究する ○交通路はどのようになつていたら理想的か研究をし發表しあう ○今後の交通路はどう發達するか研究し話しあいをする	○交通機關の進歩は交通路の發達整備によらなければならないことを理解する	○たこあげ(理) 小學六年 ○物理 (3) 高等學校用
	公開研究會	18生活(12) ○家庭生活の改善(物に關した點)はどのようにしたらいいか(3)	○生活改善はどのような考えでなければならないか話しあう ○わが國の家庭生活(衣食住)で改善しなければならない點について調査し話しあいをする ○生活を更に能率的合理的にすることのできる面をあげその具體策をたて理想案をつくる ○電氣機械を家庭にどのように合理的に取入れたらいいか調べその理想案を作つてみる	○まとめの段階であり今後の私たちの生活を豊かにするよう導く ○研究心を導き科學的な考え方を理解する ○中學生になつての理科學習のまとめの研究であるから，あらゆる面から檢討し研究する	○理科12家 ○たこあげをするころであるそのあがる原理を考える ○理科單元から單元17までみな關係している綜合的單元とみることができる ○家庭2生活改善 ○家庭2住宅 ○社會連絡 ○燃料讀本(映) ○工業と連絡
		○學校生活の改善をどのようにしたらいいか、1)	○どんな面に學校生活の物に關した點での改善があるか話しあいをする	○校舍施設備品はどうなければならないか科學的考え方をする	○社會と連絡 ○小學校(映) ○よりよき明日(映)

			○校舍や學校施設で改善しなければならない點をあげ研究する ○衞生上よりどのような點を改善したらいいか調査し話しあいをする ○防火施設等について考察し備えある生活はどのようにしたらいいか研究する		
		○一般社會生活の改善をどのようにしたらいいか(3)	○社會生活の改善はどのようになされてきたか調べ話しあいをする	○社會生活の合理化はどうなければならないか檢討する	○わが國の地勢と氣候とはわれわれの生活樣式に大きな影響を與えている
3	桃の節句 父兄會 展覽會 學藝會	○國立公園はどのようにできているか	○慰安施設保健施設にはどのようなものがあるか又どうしなければならないか研究する ○温泉の分布調査泉質の調査，どんなきき目があるかの調査をする ○温泉の保健上の利用について調べ又その施設の改善意見などを發表しあい理想的な計畫案をたてる ○國立公園についての調査研究をする ○公園の地圖寫眞を集めて整理する ○日光國立公園について調査しその觀光計畫案をたてる	○保健施設はどうなければならないか檢討する ○二年の時行つた温泉についての記錄をしらべる ○國立公園の意味を理解する ○觀光日本という點から調べる	○體　育 ○理科11地下資源 ○社會と連絡 ○町の發達(映) ○尾瀬(映)

草花の栽培	○都市計畫はどのようにしたらいいか (2)	○宇都宮市の都市計畫案を檢討してみる ○宇都宮市の一區劃についてその家庭道路の分布を調べ考察する ○私たちの今後の生活はどうあるべきか話しあいをする	○都市計畫はどのようにして立てられるか理解する ○星の觀測の整理をする	○社會と連絡
雨				
音	○理科學習をどのようにしてきたか (1)	○いままでの研究をまとめる ○中學生になってどのような理科學習をしてきたか反省する ○私たちの學習をどのように活かしていったらいいか話しあいをする	○整理活用の段階であり科學的生活態度に導く	○天氣と連絡 ○實驗器具や研究の整理をして次の三年生に引き繼ぐ
岸分				
式				
業				
季				

音樂科學習指導年次計畫

立案の趣旨

○音樂教育目標を達成するために兒童生徒の發達，環境，學習目標を考え合わせて立案することとした。

○學習目標の要項は文部省で單元として發表されているのでこれにならつた。

○題目のとり方は單元の項目をとると系統的學習は出來るが兒童，生徒の心情に合わない活動が多くなるので主として歌唱教材の題目をとつた。そして學習の場では目標達成のための種々な活動が行われるようにした。

○學習活動の內容は歌唱，鑑賞，器樂，作曲を中心としその特記すべき要項だけあげた。

○單元との關係とは學習活動の目標が單元のどれになつているかということをかいた。

○他敎科との連絡は備考欄にあげた。

○學習結果の考査は音樂學習の特質から每時行われているので特別あげなかつた。

○この計畫の他に音樂科單元各項目の學習系統案ともいうべきものがある。例えばリズム，メロデイ，ハーモニー等の學習系統案，器樂學習系統案，創作學習系統案，音樂の形式，構成，音樂史等の系統案等この系統案がいつも年次計畫の基本となつている。